

Rotary Global Media Network

ロータリーの友 月間 68巻 第3号
令和2年3月1日発行(毎月1日発行) 通巻807号
昭和28年11月創刊 昭和48年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

ロータリーの友

3

2020
MARCH

VOL.68 NO.3



水と衛生月間
持続可能性のある
支援とは

ビジネスカジュアル

ホルガー・クナーケ
2020-21年度RI会長

Rotary



Rotary Global
Media Network

ロータリーと共に

変えていこう

世界中の地域社会で「よいこと」を行うために、会員が力を合わせるのがロータリー。私たちが住む街で、青少年の育成から起業家の支援まで、さまざまな活動を実施しています。「世界を変える行動人」である私たちが目指すのは、地域社会をもっと良くするために“ちから”をつなぐこと。Rotary.orgからあなたもご参加ください。

Rotary



世界を変える行動人

President's message

RI 会長メッセージ

ロータリアンとロータリー家族の皆さん

3月にはローターアクトを祝う月です。この1年は、奉仕の若きパートナーたちにとって大きな1年となりました。

昨春の規定審議会で、ローターアクトの地位が高められる決定がなされ、国際ロータリー（RI）にはロータリークラブだけでなくローターアクトクラブも加盟クラブに含まれることになりました。去る10月には、RI理事会がローターアクトの実情に即さなくなった年齢の上限を取り外し、また世界の一部でローターアクトの成長を阻害している障壁を取り払うためにいくつかの対策を取りました。

ローターアクトがロータリーの向かうべき未来を示していることを考えると、もっと早く行動すべきだったと言えます。私たちは若い仲間たちに門戸を開くだけでなく、彼らが夢中になれるようなロータリーの体験を敏感に察知していくべきです。そうすることが、ロータリーの有意義な成長をもたらす、最善の方法の一つなのです。

ロータリーの成長といっても、いろいろな意味があります。奉仕活動、そしてプロジェクトの影響力を育てていかなければなりません。しかし、何よりも大事なことは会員増強です。会員が増えれば達成できることも広がります。ローターアクターは、この好機を与えてくれます。彼らはしかるべきときにロータリーへと移行できるだけでなく、ロータリーの何が他の若者を引き付けるのかを理解しているからです。

これまでと同じようにしては、もはや立ち行かなくなります。退会者が出た分だけ新しい会員を入れる、という方法は解決にはなりません。それでは穴のあいたバケツに水をくみ入れるようなものです。世界各地で起こっている会員減少の根本原因、つまり、会員の積極的な参加が得られていないことと、会員の年齢層の上昇に対処しなくてはなりません。

今こそ、抜本的な改革を行うべきです。熱心で多様な会員への障壁が何かはすでに知っています。その知識を生かして行動するべきです。新たな会員の在り方を創出し、ロータリー入会への新たな道筋を切り開き、既存のクラブが今あるニーズに応えられていないところでは、新しいロータリークラブやローターアクトクラブを設立するべきです。

新しいクラブモデルは、従来のクラブには入会したくない、または入会できなかった人など、今まで以上に多様な人が集まり、つながる機会を生み出します。新しいクラブモデルはだいぶ前から出てきてはいましたが、それを現実のものとするのはガバナーの仕事です。今年1月の国際協議会で、ガバナーエレクトが独自のクラブモデルをつくる演習を行いました。この体験は役立ち、ガバナーエレクトも心の準備ができたことと思います。

しかし、次世代にとって最も意味のある新しいクラブモデルをつくれるかどうかは、最終的にはローターアクターと若いロータリアンにかかっています。今後若い世代がロータリークラブに何を求めるのか私たちは分かっているつもりでも、若い人々の意見にはきっと驚かされることになるでしょう。私たちの仕事は彼らの変革を助けることです。それが世界をつなぐロータリーの成長をもたらすのです。



MARK DANIEL MALONEY

2019-20年度 国際ロータリー（RI）会長



若い仲間たちに門戸を開くだけでなく、彼らが何よりも夢中になれるようなロータリーの体験を敏感に察知していくべきです。

ロータリーの友 
Home Page www.rotary-no-tomo.jp

原文（英語）はこちらから

RI RI 会長メッセージ 3

RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー

特集 水と衛生月間 7

持続可能性のある支援とは

データで見る世界の「水と衛生」の現状

アフリカの最新動向

ロータリー財団学友 宗像淳史

ロータリークラブの活動

広島北 R C ・広島陵北 R C / 神埼 R C ・佐賀南 R C ・
佐賀西 R C ・大村 R C / 鴨島 R C

世界ローターアクト週間 16

ロータリアンと共に奉仕する

ローターアクター

釧路北 R A C ・根室 R A C ・帯広 R A C /
日田中央 R A C / 大阪西南 R A C / 第 2530 地区 /
松本 R A C / 鶴岡 R A C

6 ● ロータリーとは

37 ● 写真でつづる 100 年 日本のロータリー ⑥

40 ● パズル de ロータリー / 詰め将棋

43 ● エバンストン便り

44 ● 国際大会へのカウントダウン **RI**
● 財団管理委員長からのメッセージ **RI**

45 ● お知らせ ロータリー衛星クラブ / 新 I A C / I A C 終結
/ 2020 - 21 年度版ロータリー手帳のご案内 / 地区別クラブ数・
会員数一覧表 / 『友』4 月号主要記事予定

46 ● 日本ロータリー分布図 / 奥付

47 ● パズルの答え / 内外よらず案内 / 詰め将棋の答え
/ 表紙について

50 ● 投稿規定 / 「侃侃諤諤」原稿募集!

RI ビジネスカジュアル 18

2020 - 21 年度 RI 会長 ホルガー・クナーケ

THE ROTARIAN 3 月号から

END POLIO NOW 24

パキスタンのポリオ根絶を支える旅

岡山南 R C 大和豊子

心は共に 東日本大震災 & 災害復興支援 26

ロータリアンの復興支援は続きます

仙台 R C 西條清和 / 川崎百合丘 R C 鈴木 清 /
岡山東 R C 富山直司 / 志木 R C 上原 実 /
美濃 R C 市原孝雄

視点 ガバナーのロータリー・モメント 28

第 2830 地区 沼田 廣 / 第 2570 地区 鈴木秀憲 /
第 2580 地区 新本博司 / 第 2590 地区 轟 淳次 /
第 2600 地区 古川静男 / 第 2610 地区 松本耕作 /
第 2620 地区 安間みち子 / 第 2750 地区 浅田豊久

よねやまだより 32

CLOSE UP! 学友会⑫ スリランカ米山学友会

People of action around the globe 34

世界中で活躍「世界を変える行動人」 THE ROTARIAN 3 月号から

地区大会略報 IV 36

第 2630 地区 / 第 2670 地区 / 第 2660 地区

NEW GENERATION 38

ローテックス 河田梨沙 / 米山奨学生 劉 文華

CLUB INNOVATION 39

フィリピン タグビララン R C THE ROTARIAN 3 月号から

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)

管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



3月は水と衛生月間です
3月9～15日は世界ローターアクト週間です



3月9～15日は世界ローターアクト週間です。第2530地区（福島県）では、地元をはじめ青森や岩手、宮城、山形のローターアクターが集い、福島県産の食材を使った東北各地の鍋を市民に食べてもらうイベント「東北復興鍋フェス」を開きました（関連記事 P16～17）。

ロータリーの友 委員会

委員長 片山 主水（名古屋東南）
副委員長 鈴木 宏（宇都宮北）
RI理事 三木 明（姫路）
RI選挙レク 辰野 克彦（東京西）

特別顧問 上野 孝（横浜）
安平 和彦（姫路）
片岡 信彦（土浦南）
橋本 長平（京都東）
清水 良夫（横浜）
顧問 田中 堯史（盛岡）
村井総一郎（豊橋）
櫻畑 直尚（和歌山）
野生司義光（東京小石川）
福原 有一（東京銀座）
相談役 神崎 正陳（茅ヶ崎湘南）

地区
代表委員
2500 伊貝 正志（釧路）
2510 尾野 教仁（千歳）
2520 渡邊 宏（仙台北）
2530 筋内 一典（福島中央）
2540 村越 正道（能代）
2550 佐山 知也（栃木）
2560 堀井 靖功（高田）
2800 谷口 義洋（山形南）
2830 石川佳共子（青森）
2570 岡部みゆき（坂戸さつき）
2580 豊村 良春（那覇西）
2590 今村 嘉男（横浜中）

2600 望月 新一（松本西南）
2610 大友 哲（金沢）
2620 望月 隆明（浜松ハーモニー）
2750 松村 信幸（東京府中）
2760 尾本 和弘（名古屋東南）
2770 中里 静博（越谷）
2780 小川 忠久（相模原グリーン）
2790 長原 正夫（成田）
2820 中井英一郎（東海那珂）
2840 廣瀬 雅美（高崎）
2630 神田 浩伸（津）
2640 初田 隆生（和歌山北）

2650 山下 尚治（京都）
2660 葉田いつの（大阪西南）
2670 佐野美佐子（徳島プリンス）
2680 中野 正徳（神戸）
2690 高橋 章（出雲中央）
2700 平川 猛展（福岡平成）
2710 佐藤 卓己（福山）
2720 赤川 治之（大分中央）
2730 深尾 兼好（鹿児島西）
2740 白倉 一男（諫早北）
編集長 野崎 恭子

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,907、会員総数1,204,996人（2020年1月15日R I公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

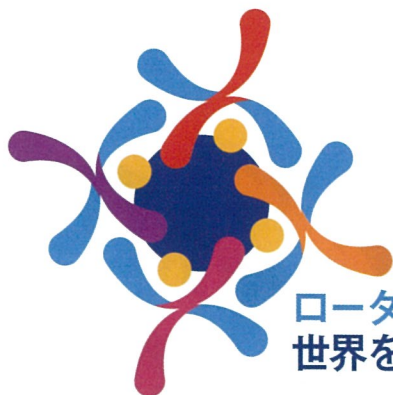
わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,250、会員数88,810人（2019年12月末現在）となっています。

2019 - 20年度 R I テーマ



**ROTARY
CONNECTS THE WORLD**

ロータリーの目的

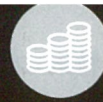
ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



水と衛生の重要性

特集 水と衛生月間

持続可能性 のある 支援とは

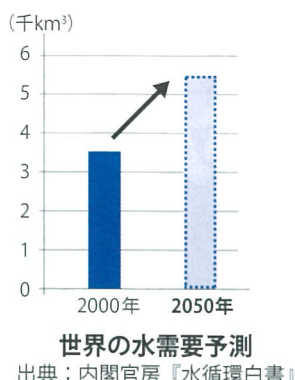
3月は「水と衛生月間」です。また国連では、3月22日を「世界水の日」としています。2020年に国連憲章調印75周年を迎えるに当たり、マーク・マローニーR I 会長は、国連が掲げる目標の共有や協調を呼び掛けています。国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）に併せて、ロータリーでもよりよい世界を目指す活動が各地で進められています。

① データで見る世界の「水と衛生」の現状

*内容は主に『Progress on household drinking water, sanitation and hygiene 2000-2017』を基に作成

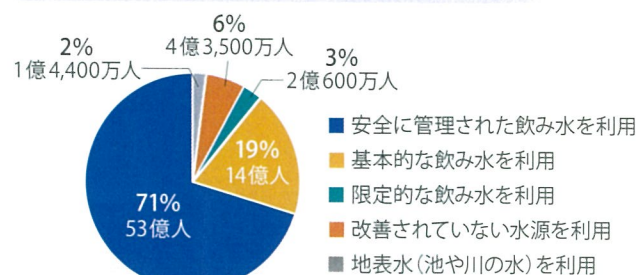
●世界人口の推移と水の需要予測

世界の人口は2000年から17年で約15億人増えたと推計(グラフ参照)。2050年に100億人に達した場合、水の需要は50年間で55%増加すると予測されます。



●22億人に安全な飲料水がない

世界人口76億人のうち、71%が安全に管理された水を飲める一方、2%は池や川の水を直接利用し、その半数以上がアフリカに居住している(右図参照)。



世界の人々の、飲み水へのアクセス状況
(※世界人口を76億人とした2017年時点でのデータ)

出典：『Progress on household drinking water, sanitation and hygiene 2000-2017』



② アフリカの最新動向

■宗像 淳史

ロータリー財団学友・ラフバラー大学大学院水工学修士

国連が打ち出した持続可能な開発目標

私はグローバル補助金奨学生として、イギリス・ラフバラー大学大学院水工学開発センターで開発途上国の水衛生分野を研究。修士号を取得後、現在は援助機関で開発途上国での水と衛生分野に携わっています。

「すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」。これは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」の水と衛生分野のターゲットです。1990年以降、新たに約21億人が改善された水と衛生にアクセスできるようになりましたが、糞便で汚染されている水を飲料水として利用せざるを得ない人がまだ約18億人いるといわれています。SDGsでは2030年までに、これらの人たちに安全で安価な飲料水のアクセスを達成することを目標としています。

機能しなくなったポンプたち

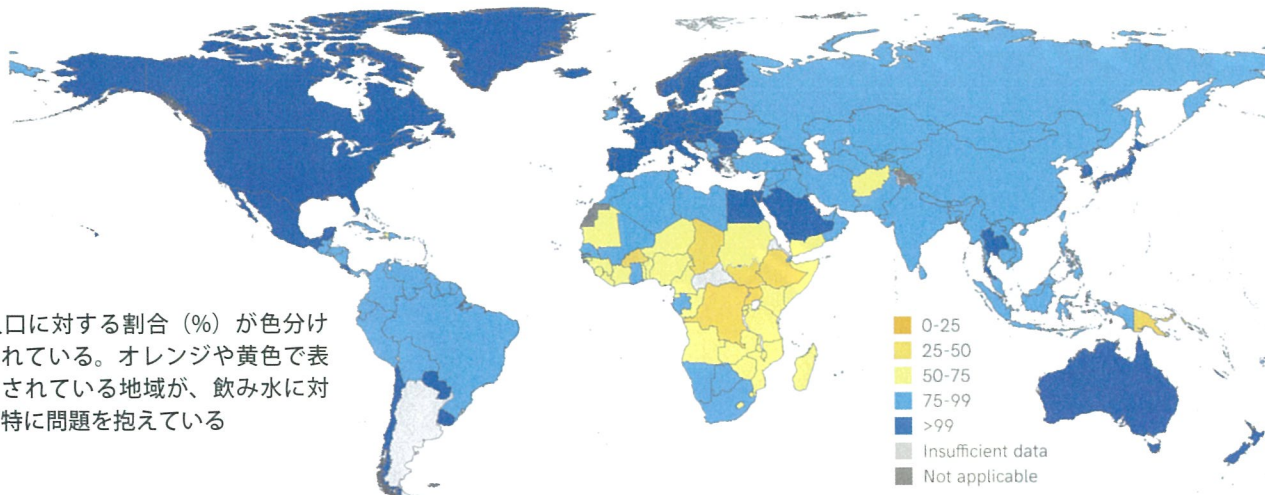
開発途上国の村落部では、給水施設の長期的で持続可能な維持管理に関する問題は共通しており、機能していない給水施設は、水道、井戸からくみ上げる給水施設の両方に見られます。サハラ砂漠以南のアフリカにおけるハンドポンプ付き井戸(外部支援の有無によらず)の約35%が機能していないと報告されており、国によって

は50%以上といわれています。要因はさまざまですが、ハンドポンプの部品が入手できないことがその一つです。アフリカで利用されているハンドポンプの約80%が南アジアで生産され、NGOや国連などの援助機関と政府機関により調達されています。従って、部品が必要になった時、製造国である南アジアからアフリカまで輸送するコストがかかる上、交換部品そのものが見つけられないこともよくあります。

以前より、「開発途上国の村落部の給水施設は、政府や民間セクターではなく、住民・コミュニティが主体となって給水施設の維持管理をすることが最良の方法である」として提唱、導入されてきました。しかしながら、これまでの数十年の活動経験から、地方の給水施設の持続可能な維持管理を実現するためには、住民・コミュニティだけでは持続性の確保が難しく、行政や民間セクターなど、外部からの関与が必要になることが分かってきました。

民間の力を加えた産業復興がカギ セルフサプライの導入も進む

部品の供給網や直接的な修理サービスなどの民間セクターの役割は、村落部の給水施設の維持管理・運営における重要性を増しています。民間セクターは給水施設に関連する人材を確保して、地域の企業を連携させ、維持



「基本的な給水サービス」を利用できる人々の割合（％）

出典：『Progress on household drinking water, sanitation and hygiene 2000-2017』

●トイレのない生活をする人々

ユニセフのレポートによると、トイレのない生活（屋外排せつ）をする人の数は、世界人口76億人の9%にあたる約7億人。この数字は2000年から17年にかけて半減したものの、急速に人口増加が進む地域ではトイレの設置が追いついていない状況が生まれています。

●子どもたちが犠牲に

安全でない飲み水と不衛生な生活は下痢などの病気を引き起こし、毎日700人を超える子どもが亡くなっています。5歳未満ではエイズ、マラリア、はしかで亡くなる合計数と同等です。また、肺炎など、他の病気にかかるリスクもより高くなります。

管理と修理の手段を提供することも可能です。そうした特長を生かし「セルフサプライ」という、住民が自らの資金の一部または全額を負担して給水改善を行う考えが出てきました。私が見てきたエチオピアでは、行政がロープポンプの製造・設置技術を標準化し、セルフサプライによる給水施設の拡大を進めています。一方、製造業者などの民間業者の育成を行うことで、地方部で一定の品質のロープポンプを製造・流通させる環境を整えています。また、村の住民がロープポンプを購入・設置しやすくするために、金融機関と連携して小口融資（マイクロクレジット）の導入を行っています。

このように、村落部の給水事業に政府、製造業者や金融機関を巻き込み、持続可能な維持管理体制を整えています。このセルフサプライの概念は、援助機関や政府が支援して建設する従来の給水施設を補完する概念であり、アフリカのほか、ラテンアメリカなどにも採用が広がっています。

また、ICT（情報通信技術）を取り入れた新しい試みとして、2011年にイギリス・オックスフォード大学が研究開発した「スマートハンドポンプ」があります。これは、従来のハンドポンプ付き深井戸に、専用のトランスミッター（送信機）を付けて、ハンドポンプ故障時に携帯電話などに故障を知らせる仕組みです。このシステムにより、故障時から修理対応者が故障を知るまでの

【SDGs】

持続可能な開発目標（SDGs）とは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくろうと、2015年の国連サミットで採択された、2030年までに達成すべき国際目標のこと。「17のゴール」と「169のターゲット（具体目標）」で構成されています。

持続可能な開発目標

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

6 安全な水とトイレ
を世界中に



時間が大幅に短縮できます。現在、国連児童基金（UNICEF）やドイツ国際協力公社（GIZ）などの援助機関がスマートハンドポンプの導入を支援しています。将来的には開発途上国のハンドポンプ修理業者が地域内のハンドポンプの修理を一括して担うことも期待されます。

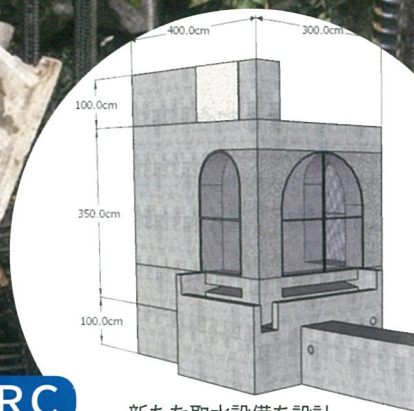
開発途上国の水分野では、これまで住民・コミュニティが主体的に給水施設の維持管理を行っていましたが、水と衛生分野の目標達成のためには、行政のほか、製造業者、金融機関、修理業者などの民間が連携・協力をしていくことがカギなのではないでしょうか。

*車輪とロープで滑車を作り、人力で水をくみ上げる取水装置

3 ロータークラブの活動



広島北RC・広島陵北RC



新たな取水設備を設計



記念碑の前で台北松山RC・花蓮中区RC会員らと

住民主体の計画を立案

村に「発展協会」を立ち上げて村民一体の事業に。水源の水質調査は現地大学に依頼。協力クラブ推薦の現地工事業者の手で設備を施工

水の安定供給で村へ若者を呼び戻し発展に寄与したい

森 直基（広島北RC）

過去の経験を生かして台湾を支援

2018 - 19 年度グローバル補助金事業として、子クラブである広島陵北RCと、その友好クラブの台北松山RCと連携し、台湾で水と衛生分野の奉仕事業を行うことにしました。

台湾東部は西部と比較して経済格差が大きく、先住民の居住も多い地域です。近代的なインフラ整備が行き届いていない部分もあり、まずは情報収集に取り掛かりました。6つの重点分野のうち、水と衛生分野を選択したのは、当クラブが過去数年にわたり、タイの小学校へ浄水器設置、カンボジアの私設学校のトイレ改修、ネパールの小学校へトイレ設置など、支援活動の実績があったからです。活動経験豊富な会員から知恵をもらうことも期待できました。

現地クラブを通してニーズを知る

2018 年の 5 月中旬から台北松山RCと頻りに連絡を取り合い、情報を集めた結果、先住民（アミ族）の居住

区である、^{ミイサン}米棧村が水不足に悩まされていることが分かりました。

米棧村はもともと豊富な湧き水が水源でした。^{かれん}花蓮県の行政は限られた予算で簡易的な取水システムと貯水タンクを設置していましたが、度重なる豪雨により岩や土砂が流出、堆積して、取水口が度々損壊。住民への水の供給が止まり、農業をはじめ、村の産業発展が阻害されていました。

このような状況が分かったところで、6月、現地クラブの会員が村を訪れ、その報告をもらいました。7月には、現地調査のため当クラブから5人、広島陵北RCから4人、台北松山RCから4人が訪問。他に、県から水資源担当者、米棧村の村長および村民にも立ち会いをしてもらい、課題を聞き取り調査しました。現地の人から直接話を聞くことで問題点を洗い出し、ニーズをしっかりと確認することができました。

また、現地に一番近い花蓮中区RCの協力も取り付けることができ、4クラブ共同による枠組みが完成。抜本的な取水設備改善計画を立案し、村の産業発展につなげ



豪雨災害で取水口が破壊されて水がたまらなくなっていた貯水設備

る目標ができました。

行政・大学・地元のクラブを巻き込む

その後、この支援を持続可能なものとするため、県、郷、村にどのように関わってもらうのが良いのか、効果的な仕組みについて台北松山 R C と協議を重ねました。

まず何よりも住民の積極的関与が重要と考え、村長を中心とした組合のような組織をつくることにしました。これが「米棧村発展協会」です。県や郷の協力を仰ぎ、住民に対しては県の技官による技術指導や、メンテナンスの方法などのトレーニングを計画。この他、県から現地の業者選定に関わる情報提供を受け、現地クラブが立ち会って入札によって業者を決定。水質調査は正修科技大学に依頼するといったアイデアが出ました。

また、当初の計画では、より安価な取水施設を設置し、2カ所で工事をする予定でしたが、それでは今までと同じように、災害により損壊が繰り返される可能性があることから、工事を1カ所に絞り、過去に経験のないような鉄砲水でも取水施設が守られるように、強化コンクリートによる設備の設計を業者に依頼しました。

このようにして事業の骨格が固まったところで、ロータリー財団にグローバル補助金を申請し、12月に承認が得られました。春節の長期休暇や、3～4月の長雨などの影響で作業が思うように進まず、5月初旬に完成予

Data

ミイサン 米棧村

人口：約300人

住民：半数以上がアミ族。他に台湾人、客家（はっか）人、外省（がいしょう）人などで構成される

産業：米、トウモロコシ、ピーナツ、紫米などの栽培

環境：山からの湧き水が豊富。米棧古道は、古くは交通の要道で現在は遊歩道が整備。祭りではアミ族が民族衣装で出迎える

■ 問題点

簡易取水施設が自然災害により破壊。村民が石を重ねて仮の取水施設を造るも、送水管が泥でふさがり、貯水タンクに送れない状態。8集落の約300人に十分な水が行き渡らず、町まで水を買いに出ていました。

■ クラブの支援内容

- ・花蓮中区 R C、県、郷、村の役割を明確化。事業の橋渡し
- ・住民主体の組織（米棧村発展協会）の設立
- ・強化コンクリートによる取水施設の建設支援
- ・送水パイプを換装し、浄化水槽・貯水タンクへの送水の正常化

■ 支援後の状況

現在も水が安定的に供給され、メンテナンスは村長任命の発展協会のメンバーが中心となって行っています。県による6カ月ごとの点検も行われています。

定だった工事は、5月18日の完成式前日まで続けました。少し遅れはしたものの、無事完成し、クラブの創立50周年記念事業にもなりました。

住民の積極的関与を促す

強化コンクリート製の取水施設により、従来の春季豪雨や台風が来ても損傷することなく、きれいで安全な水の安定供給が可能になりそうです。また、この地域にはもともと豊富な水源があり、今後は近隣の村への送水も検討していくとのこと。われわれの支援を元に、さらなる発展が期待できそうです。

心配していたメンテナンスについても、県の監督官の研修に、発展協会が選抜した村民が参加。その後、村で開かれた集会で村民全体への指導が行われ、施工中も業者からその都度メンテナンスの方法を教わるなど、村民が自ら保守していくための意識と知識が定着しました。

完成式当日はあいにくの雨天。そのため取水量が多く、貯水タンクのバルブを開いて川に放水する作業が必要でしたが、住民自ら手際よく作業している姿を見て、地域に根付いた設備となっていることが確認でき、うれしく思いました。

今後、この施設が当初の目的である米棧村の産業の発展を促し、若者の定着や観光（産業）の発展などにつながっていくことを願っています。

（第2710地区 広島県）

神埼RC・佐賀南RC・佐賀西RC・大村RC

ネパール地震被災地で衛生教育

学校を拠点に衛生教育を実施。トイレや手洗い場を整備するほか、教材テキストも配布するなど、衛生概念の向上に努める

住民たちの力で問題解決ができるようになってほしい

隅 康二（佐賀西RC）

被災地ネパールから入った情報

2017年、ネパールが大地震で被災（2015年）した後も、復旧のめどが立たない地域が散在していると、現地のパタンダルバールスクエアRCから支援要請が入りました。そこで災害復興支援の一助とすべく、特に「水と衛生」の問題に焦点を当てて取り組みを始めました。

まず情報の収集と整理を行い、翌年に現地調査を行った上で事業計画を作成。現地クラブと地区内4クラブ（神埼RC・佐賀南RC・佐賀西RC・大村RC）合同によるグローバル補助金を申請しました。ロータリー財団より9万1,875ドルの資金使用の許可が下りたので、資金の80%をトイレ、手洗い場、浄水に関する設備工事の費用とし、残りの20%を教育プログラムの費用とすることにしました。教育にも力を入れたのは、その効果が時間とともに広範囲に波及することが期待できるからです。

設置しようとしている設備は2020年3月頃の完成に向けて工事を進めていますが、完成に先立ち、9月

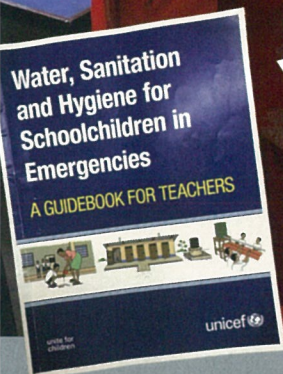
21日から1週間、衛生教育プログラムをダーディン地区およびラトリプル地区の6つの学校において実施しました。また、活動を西郷正道ネパール大使に視察してもらい、大使公邸にも現地の会員と一緒に招きいただき、意見交換の機会を得ました。

●教育目的

- ・ 学校が地域の「水と衛生」問題の改善と向上を担う拠点になるようにする
- ・ 災害に遭っても住民が復旧の中心的役割を担うことができるようにする
- ・ 教育を受けた子どもたちが地域の人々を啓発するよう“小さな先生”を育成する

●教育内容

- ・ 先生向け衛生教育用テキストを配布する
- ・ ネパールの各学校を会員が訪問し、直接先生へ講義を行う
- ・ 先生と会員が、子ども、保護者、地域住民と共に衛生教育体験講座（ワークショップ）を行う





ワークショップでせっけんを使って手洗いを実践する

テキストの準備と工夫

衛生教育用のテキストは、ユニセフから配信されている冊子（PDFデータ）を基にしています。とてもよくまとめられた内容ですが、電子データだけで印刷物はなく、ネパールの貧困層の人々にこのテキストが活用される可能性はほとんどありませんでした。ユニセフに使用目的を説明し、ダイジェスト版を作りたいと申し出たところ、製本化と使用について快諾が得られました。印刷して参加者7人のスーツケースで250部を持ち込みました。

数百人が参加した大規模な衛生教室

ダーディン地区は首都カトマンズから遠く、道路状況が悪い山岳地域にあるため、1カ所の学校に子どもたちと先生、地域住民に集まってもらい、ワークショップを行いました。ラリトプル地区は5つの学校から、バスで野原に集まってもらい、数百人規模でのワークショップを行いました。

衛生教育の講師役は、薬剤師である吉岡義治会員（佐賀南RC）が担当し、水の性質（酸性・アルカリ性）についてや、シャボン玉を用いたせっけんの作用を説明す

問題点

以前から衛生設備が未整備で、水源の汚染による健康被害が心配されていましたが、2015年の大地震による被災が拍車を掛けていました。

クラブの支援内容

- ・ トイレ、手洗い場、浄水設備などの設置支援
- ・ ユニセフのテキストを基にした衛生教育の実施
- ・ せっけんを用いた手洗いの方法などの実演講習

支援後の状況

自発的に継続されるかは不明ながら、ロータリアンと同等以上に積極的な現地ローターアクターの存在も含めて、参加者らの自発的啓発活動を期待します。新たな設備は3月までに完成予定。クラブでは次年度もネパールの支援を継続します。今回得られたことと、反省点は以下のとおりです。

- ・ 学校を核としたことで、先生、子どもらが自ら啓発活動を行うことが期待できる
- ・ 現地の人たちの支援慣れを防ぐ目的で、繰り返し自力改善の重要性を訴えるのが重要と再認識
- ・ 地域で保たれているバランスを崩さないよう計画段階で現地文化の理解が重要（今回はカースト制度が生活様式と直結している点など）
- ・ 活動計画時から現地ローターアクターらとも連絡を取り合えば、より力になってくれたかもしれない

る科学の講習、爪切りなどの衛生習慣の講座、せっけんを用いた手洗いの実践などを丸1日かけて行いました。

子どもたちは当初緊張した面持ちでしたが、講義を受けたり、遊んだりしているうちに仲良くなることができました。教育プログラムとしては大変効果的な事業ができたと思います。

（第2740地区 長崎県・佐賀県）

Data

ネパール

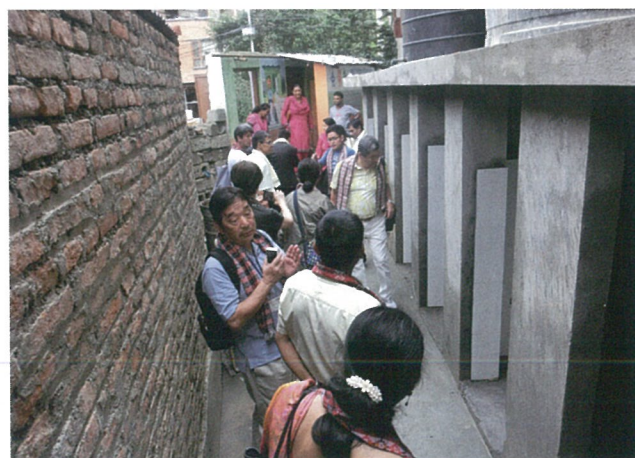
人口：2,930万人

民族：パルバテ・ヒンドゥー、マガル、タルー、タマン、ネワールなどから構成される多民族国家

言語：公用語はネパール語だが教育機関では英語が多用されている

産業：人口の6割ほどが農林業に従事しながらも、GDP比は3割弱と低い

環境：急激な人口増加で、水道のある首都カトマンズでも供給量不足で断水が多く、大腸菌汚染も問題。下水システムも少なくトイレ普及率は2割と、不衛生な環境。水を介する感染症が雨季に流行する



今回の支援による下水式の新設トイレの工事状況を視察。現地はため込み式（浄化槽タンク式）やピット式（穴掘り型）がいまだ主流

鴨島RC

40年以上 支援活動を継続

戦争を経験してつながった縁。
現地ニーズに耳を傾け続けてきた支援を、若い世代にも引き継ぎ、より強固な関係に

先住少数民族への支援は内容を慎重に検討

麻植 康夫（鴨島RC）

フィリピンとの古くからの関係

太平洋戦争で50万人近い日本兵が戦死したフィリピン。当クラブ会員でフィリピンからの帰還兵である故・赤松信乗氏が、1973年に遺骨収集活動を行っていた折、ロータリーバッジのおかげで、現地のロータリアン、ルフィーノ・マカピンラック氏と出会い、フィリピンの人々との交流が始まりました。この縁がきっかけで、1978年、マカピンラック氏の所属クラブであるセントラルタルラックRCと姉妹クラブを締結。のちに赤松氏は「ロータリアンでなければ、遺骨は円滑に収集できなかったろう」と回顧しています。その後、途切れることなく相互にクラブ訪問を継続しています。

フィリピンに対しては、10年前までは道路整備、教育などへの支援が大半でした。しかし、近年は急激な経済発展に伴って中間層が増加。伝染病などへの対策から、生活環境インフラに対する関心が高まり、水の大切さが重要視されるようになりました。

フィリピンのトイレはため込み式が多く、それに伴っ

て地下水を汚染。上水道のパイプの腐食により、飲み水が汚染されるケースもあります。他の東南アジアの諸国も同じような状況で、水のインフラへの支援や対策が急務となっています。

先住少数民族への飲料水確保事業

そのような状況下で、今年度はタルラック市内から車で1時間余りの山岳地帯に暮らすアエタ族への水支援を実施しました。彼らは1991年6月のピナツボ火山の噴火により、家や畑を失い、州内の山麓に移住を余儀なくされました。その陣頭指揮を執ったのは、セントラルタルラックRC会員で、当時のタルラック州知事だったため、姉妹クラブのつながりを通してこれまでに小学校に文房具を提供したり、医師による村人の健康状態チェック（内科および歯科）を実施してきました（同様の活動が現地のロータリークラブや海外のクラブからの支援もあり活発に行われています）。

今回はそれに加えて、現地の水確保のための資材を提供しました。山の湧き水をパイプを伝って中継タンクに



子どもたちへ文房具を提供

ためられるようにする計画です。資材は直径 5cm の強化ゴムホースを 100m 用意。貯蔵タンクのほか、工事や農耕用にスコップ、おの、ロープなども準備しました。しかし、現地の男性は出稼ぎに出ており、不在のことが多いため、作業はなかなか進まないようです。

視察・モニタリングを何よりも重要とする

支援内容は、セントラルタルラック R C からの打診、または現地からの直接の要望もあります。困っていることを聞き、希望に沿うように内容を決定します。また、会員が実際に現地に出向き、確認を行います。そして、支援後にはプロジェクトのモニタリングを行い、成果を必ず確認するようにしています。開発途上国は、識字教育、食料不足、貧困とさまざまな問題があります。それについて、「支援をしてやった」とか、「こちらの意に沿わなかった」などと言ってははいけません。また、視察やモニタリングができないのであれば、支援はすべきでないと考えます。私たちの好意が必ずしも相手に伝わらない場合もあるからです。

世代が交代しても継続支援できる体制を

セントラルタルラック R C とは、たびたびの訪問によりすっかり仲良くなり、会員同士がニックネームで呼び合うほどの関係です。日本のロータリアンは高齢化していますが、フィリピンでは 40 代の会員が中心で、その他にローターアクター、インターアクターがたくさんおり、地元で積極的に支援活動を展開しています。私たちは訪問するたびに寄付をしますが、それらを有益に活用



■ 問題点

生活水を山の沢の水に依存してきましたが、水脈が移動したため、飲料水の供給ができなくなりました。

■ クラブの支援内容

- ・ 配水用ゴムホース
- ・ 貯水タンク
- ・ その他、設置作業に必要な道具など

地方では井戸や共同水栓による給水が主。安全な水の確保は容易ではありません。より安全な湧き水を山の中腹からホースをひいて、中継タンクで貯水するようにしました。

■ 支援後の状況

週末に少しずつ土木作業が進んでいます。現地の人の労働力に頼っているため、村民のモチベーションも高く保たれています。今年 1 月末の完成予定は遅れており、今年中に現地に出向いて確認予定です。

してくれているので、うれしく思います。

また、セントラルタルラック R C とのこれまでの交流の中で、佐々木久氏が名誉会員として登録されており、このたび、伊勢英利会員と私も推薦されて合計で 3 人になりました。

この 5 年間は国際奉仕活動の後継ぎを育成しようと、毎年、クラブ内で海外ロータリアンとの付き合いの重要性を語り掛けてきました。特に 40 代の会員を現地へ連れて行き、他国のロータリークラブの温かさ、心情に触れさせ、国際奉仕の楽しさを経験してもらっています。連れて行った会員は、「良いことをしている」と理解してくれました。

今後も末永くフィリピンとの友好関係が続いていくことを願っています。

(第 2670 地区 徳島県)

Data

フィリピン

人口: 約 1 億 98 万人

民族: マレー系が主。他に中国系、スペイン系。その他少数民族。

経済: 経済成長率 6.2% (2018 年)

環境: 降水量が多く水資源は豊富。水道料金に比較して業者販売の飲料水は数十倍の高コスト。下水設備の整備は比較的遅れており、マニラ湾の汚染が問題になっている



セントラルタルラック R C の会長就任パーティーにて。フィリピンでは女性会員の活躍も目覚ましい

ロータリアンと共に奉仕する ローターアクト

2019年の規定審議会では、国際ロータリーの加盟クラブになることが決まりました。現在、ローターアクトクラブでは18～30歳までの若者が活動しています。彼らはロータリークラブと協力し、地元や海外などでさまざまな奉仕プロジェクトを実施し、リーダーシップを発揮しています。その活動の一部をご紹介します。

アクトキッズタウン

釧路北RAC／根室RAC
／帯広RAC ▶

9月10日のアクトの日に合わせて、9月8日、釧路市で小学生を対象に、仕事体験イベント「アクトキッズタウン」を釧路北RACの協力を得て開催。名刺作り、自分の名前が入ったタオル作り、カフェ店員の3つの仕事を地域の子どもたちと一緒に体験。たくさんの笑顔と感謝の言葉をもたらした会員たちは、子どもたちだけでなく仲間たちとの親睦を深めると同時に、やりがいや今後の活動に対する意欲の向上にもつながりました。ローターアクトのPRをしながら地域に根差した奉仕活動となりました。（第2500地区 北海道）



アクトの日とは…アクト(9)ト(10)にちなみ、9月10日前後の休日を中心に、日本全国でさまざまな活動が行われる日です。ローターアクトの仲間意識を高めるとともに、ローターアクトを広報することを目的としています。

◀ 地元で交流を深める

日田中央RAC

10月13日、日田中央ローターアクトクラブ(RAC)の設立35周年記念事業を行いました。当クラブの会員は7人ですが、福岡や熊本、島根などからのローターアクトにも集ってもらい、約80人が参加しました。午前は「アクトゲーム」。ローターアクト活動の一年間をボードゲームで再現。午後は豆田町(まめだまち)町歩き。江戸時代の古い建物や街並みの残る日田市豆田町をグループごとに散策し、感じた魅力・気づいたことなどを模造紙にまとめて発表。おいしい飲食物や昔ながらの街並みについてなど、さまざまな発表があり、豆田の魅力を多くの仲間と共有でき、会員一同とても喜び合いました。（第2720地区 大分県）



月経カップを国内外に普及 大阪西南RAC ▶

月経カップをフィリピンで普及するプロジェクトを3月に実施するに当たり、10月23日、助産師の会員が中心となり、月経について知識を深める例会を行いました。第3の生理用品といわれる月経カップは、医療用シリコンで作られ、10年間使用が可能。発展途上国では生理用品を購入する費用がなく、不衛生な布や葉っぱなどで代用したり、学校を休んだりする子どもたちがいます。月経カップを普及させることで国内外の女性の健康と社会進出への支援をしていきます。

(第2660地区 大阪府)



◀ 東北復興鍋フェス 第2530地区

9月23日、青森、岩手、宮城、山形、福島のリーターアクターが福島市のさんかく広場で、福島県産の食材を使った東北各地区の郷土鍋を市民に食べてもらう復興イベント「東北復興鍋フェス」を開催しました。たくさんの方が来場する中、ローターアクターたちは福島県産食材の安心安全・おいしさを十分にアピールしました。同時開催のハイゼックス（高密度ポリエチレンの一種）を使用した「災害時に役立つ炊飯方法」ブースも好評。次回も盛り上げていく予定です。（福島県）



ロータリー家族そろって街をきれいに 松本RAC ▶

9月29日にロータリーデーを兼ねた環境美化活動「水清き町の町美化プロジェクト」を松本南RAC、松本工業高校インターアクトクラブ（IAC）と合同で行いました。当日はグループに分かれ、松本市内の井戸周辺のごみ拾いや、井戸の水あかを取りました。高圧洗浄機などの道具も使い、普段は見逃してしまうような細かい汚れにも注意しながら作業。1時間程度の清掃でしたが、松本市内をきれいにすることができました。（第2600地区 長野県）



◀ 海岸清掃で地域の人々とつながる 鶴岡RAC

社会奉仕活動の一環で、1997年から毎年秋に鶴岡RAC、鶴岡東高校IAC、鶴岡市内の児童養護施設の子どものたちと海岸清掃を続けており、今年度も9月29日に市内にある湯野浜海岸の清掃を実施。総勢63人でペットボトルや空き瓶、花火の燃え殻などのごみを拾い集めた他、近隣の除草作業も行いました。終了後は、皆で芋煮を食べて親睦を図りました。会員たちはこの清掃を、ロータリー家族や地域の人々とつながりを深められるとても貴重な場だと感じており、今後もこの活動が続けることで環境美化の意識が広がることを願っています。（第2800地区 山形県）



|| for the record ||

ビジネス カジュアル

外見を若々しく見せることがロータリーを活性化するための唯一の方法ではないものの、出発点にはなります。ホルガー・クナーク R I 会長エレクトにとって、機会は無量大です。

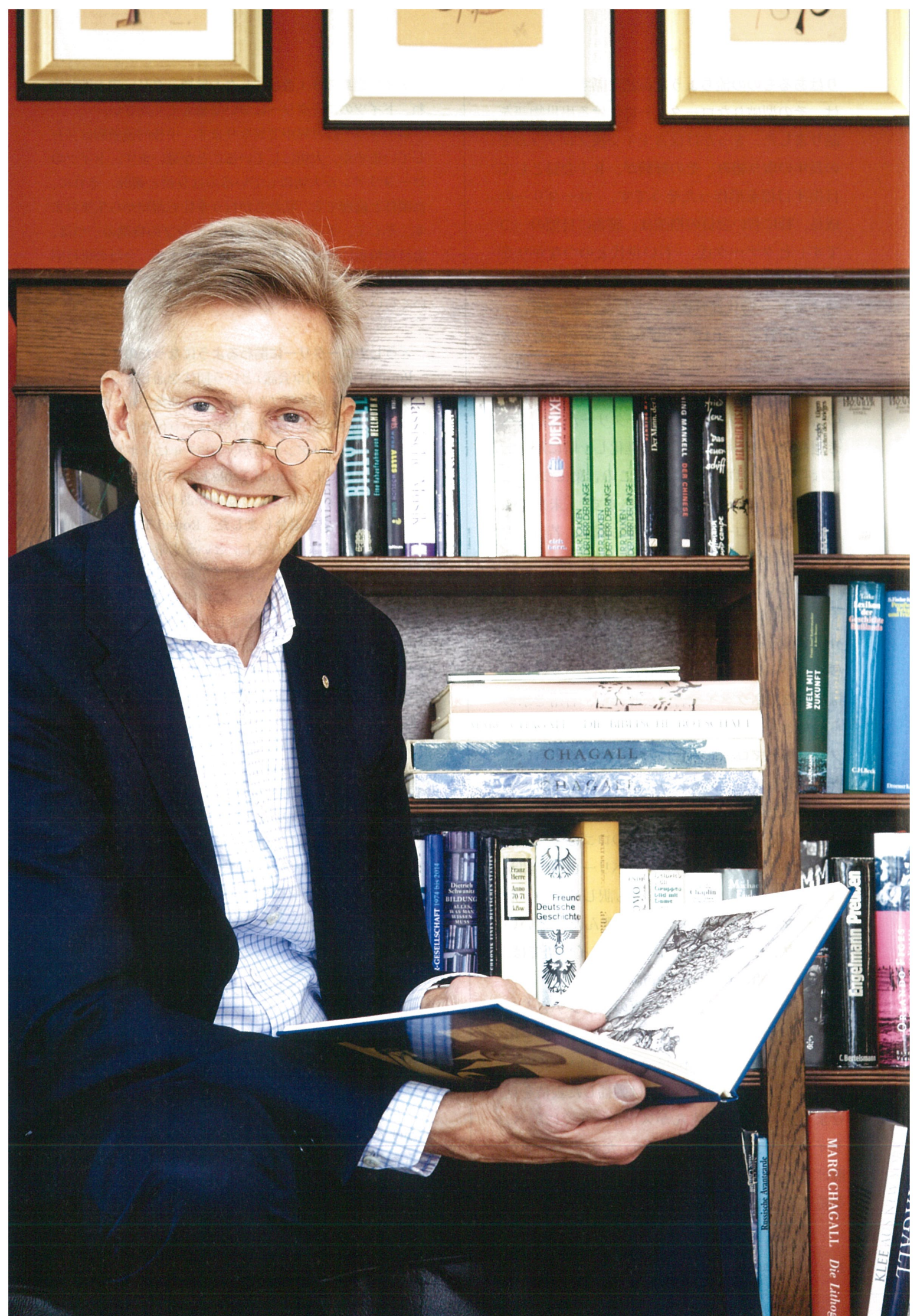
国際ロータリー（R I）世界本部の外は、10月の曇り空が広がり、ミシガン湖は鋼のような灰色に沈み、紅葉した樹木も心なしか色あせて見えます。

しかし、R I 会長エレクトのオフィスの中は明るい別世界です。これは何もホルガー・クナーク R I 会長エレクトの青いブレザーの胸ポケットからのぞくペイズリー柄のハンカチ一つのせいではありません。しかし、その鮮やかな色合いは、クナーク氏の陽気で楽観的な未来の展望にマッチしています。これは 67 歳（インタビュー当時）のクナーク氏の若々しさの表れの一つにすぎません。

クナーク氏へのインタビューは、『The Rotarian』誌のジョン・レゼック編集長、そしてジェニー・ラクマニ編集主任と共に、2 度にわたり、2 時間をかけて行われました。ドイツ語なま



PHOTOS BY SAMUEL ZUDER



りはあるものの流ちょうな英語を話すクナーク氏は、その型破りなロータリーにおける出世物語を語りました。きっかけは青少年交換プログラムでの長年の取り組み。その経験が、R I 会長として目指す目標を形作ったそうです。「ロータリーの成長、特に若い会員の増強は、確実に目標の一つです」とクナーク氏。「若い世代とのつながりを失えば……」と、両手を挙げて肩をすくめ、こう続けます。「時代遅れになってしまいますから」

話の流れで、2018 年国際協議会での自身のスピーチが話題に上りました。クナーク氏はこのスピーチで、ロータリーを創設したポール・ハリスの言葉を引用しました。「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に進化し、時に革命的にならなければなりません」。この言葉について、クナーク氏は自分の見解を述べます。「未来に備えるために、ロータリーは変革し続け、若者の力を信じなければならないのです」

その他にも「ロータリアンになるのにふさわしくない年齢はない」など、クナーク流の金言を紹介、会長テーマ入りネクタイは金銭的な事情で必要だという話もしてくれました（クナーク氏自身はめったにネクタイを着けませんが、着用を求められたときに備えて、デスクの引き出しにマーク・ダニエル・マローニー会長のテーマ入りの青いネクタイをしまっておりそうです）。また、「ロータリーは機会の扉を開く」という会長テーマについても語ってくれました。テーマのロゴは、青、ゴールド、ローターアクトのクランベリー色の、開かれた3つのドア。「どの言語にも訳しやすい」からテーマにふさわしいと思って選んだ、といいます（クナーク氏の母国語であるドイツ語では、「Rotary eröffnet Möglichkeiten」）。

1 回目のインタビューでは妻のスザンナさんが同席し、説明を補足してくれました。「何ごとにも動揺しない（unflappable）人」という評判について尋ねると、クナーク氏は動揺した表情を見せました。スザンナさんがスマホですぐに調べ、ドイツ語で「unerschütterlich」だと説明。謎が解けると、クナーク氏はいつも通り落ち着いて話を続けました。

ドイツ出身の R I 会長エレクトはロータリー史上初ですね。ドイツのロータリーについて教えてください。

ロータリーは世界中で異なります。中核的価値観は共有していますが、大切にしていることが違います。ドイツのロータリアンが大切にしているのは友情と親睦、それに、高潔性と倫理です。私たちが行う奉仕も親睦から生まれます。そして、ドイツのロータリークラブの特徴の一つは、会員を慎重に選ぶということだと思います。会員の維持率が高いんですよ。会員維持については対策を考えてもいないくらいです。

どうしてロータリーに関わるようになったのですか。

Round Table (円卓会議) という団体を通じてです。ヨーロッパで何百ものクラブを有している団体です。驚いたことに、この団体はいつも年寄りとはばかり付き合うのに嫌気が差したロータリアンたちが、1927 年にイギリスで設立した団体なんです。Round Table には 40 歳になったら脱退しなければならないという規則があります。私は 30 歳で入会し、39 歳で退会しました。Round Table には「受け入れよ、適応せよ、改善せよ」という素晴らしいモットーがあります。私は奉仕活動に興味があったのですが、人脈づくりにも興味がありました。この団体で知り合った友人の多くがロータリーに入会しました。その理由は、特にロータリーの職業分類による人脈づくりの機会でした。さまざまな人がいなければ、面白い組織をつくり、思ってもみない方向に転がるような議論をすることはできません。

私はヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ（RC）に入会しないかと誘われました。すごい名前でしょう。（2013 - 14 年度 R I 会長の）ロン・パートンさんが理事の時、私のことを「ドイツの（口ごもって）“なんとかロータリークラブ”のホルガー・クナーク氏です」と紹介したことがありました。自宅のある町ラツェブルクで新しいクラブが会員を募集していたのですが、そのクラブには既に知り合いが多かったので、古いクラブの方に入会することに決めたのです。おかげで全く違う人たちと知り合う機会が得られました。

R I 会長への道筋はどのようなものでしたか。

ガバナーになる前に、地区で務めたリーダー職を全て挙げてください、と言われたことがありますが、ないんです。一度も。ガバナーになる前は地区でリーダー職に就いたことはなく、任命されたこともありません。青少年交換プログラムへの取り組みが知られているだけでした。でもそのおかげで、人々に私のことやロータリーへの情熱を知ってもらえました。R I 理事になった時も同じです。当時のゾーンでのリーダー職に任命されたこともありませんでした。R I 理事エレクトの研修でエバンストンに来た時が、初めて R I 世界本部に足を踏み入れたときなんです。

青少年交換プログラムが優れたプログラムだと思うのはなぜですか。

青少年交換は私にとってロータリーへの道筋をつくってくれました。青少年交換でスザンナと共にホストファミリーを務めて、ロータリークラブと地区が世界中から学生を迎える青少年交換キャンプの開催に関わるようになりました。そうして、こういった経験がどれほど私たちの人生を豊かにしてくれるかを知りました。私たち夫婦には子どもがいないので、青少年交換は私たちにとって最高のプログラムでした。若さを保ってくれるんです。

クナーク氏は何事にも動じないという評判です。いつも落ち着いていると。そんなことが可能なんでしょうか。

妻は知っていますが、ささいなことで戸惑うこともあります。しかし、重大なことに直面したり、重要な決定を下さないといけないときは、いつもより冷静になるんです。それに、私はいつも他の人たちに頼りにしていますから。何事も一人ではできないと分かっています。実際に動いている人々——ただ活動をしているだけではなく、情熱を傾けている人のことを、心から尊敬しています。そういう人々を尊重するべきです。ずい分前に学んだことですが。

会長としてどの分野に重点を置くつもりですか。そして、どういったことを成し遂げたいとお考えですか。

何も奇抜な新しい考えはありません（笑）。ロータリーはポリオ根絶を誓いましたから、この約束を守るためにできることは全てするつもりです。成功すれば、世界におけるロータリーの評価は上がることでしょう。もちろん、2番目はロータリーの成長です。これは何も会員増強だけを指しているわけではありません。あらゆるレベルでロータリーを成長させる、ということなのです。ロータリーを強くすること。ロータリークラブの新しいモデルを通じて会員を維持し、増やすこと。ロータリーは世界中でも変化が最も遅い団体の一つだと思います。行動を起こすのに時間がかかります。もっと迅速にならなくてはなりません。

ロータリーが変わらなくてもいい点は何でしょうか。

これまで、私たちが何をするにも中核的価値観がその土台にありました。親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ、奉仕——これらの理念が時代遅れになることは決してありません。しかし、これらの価値観を表現し、実践する方法は変わっていきます。昼食を共にする例会という伝統は、この100年間はうまくいっていたかもしれませんが。しかし、もはやそうではない。昼食が一日の中心ではなくなっていますから。若い人々が関心を持てる形を探すべきです。私たちの中核的価値観を分かち合うために、どういうロータリークラブに入会したいかを、若い世代に決めてもらうべきです。ロータリーは、皆の場所です。若者にも、年配



者にも、古いモデルのクラブにも、新しいモデルのクラブにも、誰にでも居場所があるのです。厳密な規則は必要ありません。一番合ったところで楽しみましょう。

ロータリアンの平均年齢が上がり続けていることを憂慮していますか。

年配のロータリアンがロータリアンであり続け、高齢者がロータリークラブに入会してくれることを非常にうれしく思っています。クラブやR Iにとって大きな価値をもたらしてくれますから。しかし、クラブには、未来について考えてもらいたいのです。年に2回は戦略立案会議を開くべきです。未来について真剣に考えるなら、大きな世代間ギャップがないことは大事です。あらゆる年齢層の会員がいれば、大きな隔たりはなくなります。これまでとは変

わらずに、それでも若い職業人の興味を引くというのは大事なことです。「これでうちの人数は完璧だ。50人、60人、70人、それ以上の人がいるから。今のところもう新会員はいらない」というロータリークラブは危険です。ギャップが急速に広がったりします。いつも言っていることですが、ロータリアンになるのにふさわしくない年齢などありません。18歳で入会する、素晴らしいことです。80歳で入会する、それもまた素晴らしいことなのです。ロータリアンになるのにふさわしくない年齢というものはありません。それに、ロータリークラブに適正な規模の会員数というのありません。

ネクタイはあまり着用されないようですね。会長テーマのロゴ入りのネクタイはどうされますか。

会長テーマのロゴ入りネクタイやスカーフの売り上げが年に130万～140万ドル（約1億5,000万円）あることを知りました（笑）。これはつくるだけの理由がありますよね。ネクタイは好きです。たくさん持っていますよ。

新品同様の状態で、でしょうね、きっと（笑）。ご自身の会長テーマのロゴ入りネクタイはつくられるのですね。会長テーマは何ですか。

「ロータリーは機会の扉を開く」です。ロータリーの成長という目標を支えるものです。というのも、ロータリアンになれば、これまでになかった新しい機会が得られますから。

もちろん、その一つは奉仕する機会です。これにはもう一つの側面もあります。安全な水を提供したり、通学する機会を提供したり、私たちの奉仕を必要とする人々に機会を提供しているわけです。奉仕の機会は双方向のものです。

クナークさんは考え方がとても若いと言われますね。会長に就任後、そのことがリーダーシップのスタイルにどのように影響すると思いますか。

自分のスタイルが変わらないといいのですが。R I 会長らしく見えないと言われますが、それは構いません。大切なのはリーダーシップであって、威厳があるように見えることではありません。それに、この世界で価値を持続するためには、若いリーダーを重点的に扱わないとなりません。退職者には技能があり、時間があり、貢献したいという情熱があるので歓迎しますが、私が重点を置くのは変革的なクラブ、新しいクラブのモデル、新しいクラブのアイデア、それに若い会員です。私は、若い世代を勧誘すべき時にふさわしい会長になれると思います。

若い世代をロータリーのリーダー職に就かせる機会を、どのように創り出すつもりですか。

まず、彼らを頼りにして、信頼しないといけません。彼

らはいろいろなこと——ほとんど何でもできますから。私たちは彼らがリードする機会を与えるべきです。2014年にベルリンでロータリー研究会の計画を始める前に、ローターアクターと打ち合わせをしました。何か新しいことをするためのアイデアが聞きたかったのですが、彼らは素晴らしいアイデアを持っていました。彼らは全ての分科会を担当してくれて、大成功でした。ですから、若い世代を信じて、頼りにしましょう。

リーダー職に就く女性の割合を増やすスピードのを上げるにはどうすればいいのでしょうか。

ボランティアの団体では、無理強いはできません。うまくいきませんから。ロータリーは草の根運動の団体です。全てはクラブから始まるのです。クラブがガバナーを指名する委員を正しく選ぶようにするべきです。正しい委員を選べば、女性のガバナーは増えるでしょう。不可能なことなどありません。私が議長を務める2020 - 21年度のR I 理事会には、6人の女性がいますよ。

女性が増えると雰囲気が変わると思いますか。

変わることはないはずです。性別にかかわらず、私たちは皆ロータリアンなのですから。大事なものは情熱とリーダーシップです。求めているのは最高の人材です。女性が何人いるか数字が大事なわけではありません。とはいえ、今そういう変化が起こっていることには心躍ります。ロータリーの素晴らしいところは、まさに多様性なのですから。

世間でのイメージを向上させるには、どのようにロータリーのことを伝えていけばいいのでしょうか。

世間のイメージを変えるには、長い時間か、たくさんのお金がかかります。2つの大事なことがあります。時間がかかる覚悟と、正直であることです。ロータリーが変わらなければならない理由は、宣伝のためではありません。私たちがなぜこういう活動をしているのか、真実のストーリーを伝えなければなりません。真にロータリーの一部になるためには、この団体、そして私たちの活動を誇りに思わなくてはなりません。自分が何をしているかではありません。それでは自己中心的になってしまいますから。

ロータリーはもっとクールになる必要がありますか。

若い世代にとって魅力ある存在になることは必要です。私は今あるロータリークラブを誇りに思っています。しかし、ローターアクターや若い職業人にとって魅力がないのであれば、彼らを引きつけるクラブモデルをつくることを奨励するべきです。それが、今後数年間で私たちが行っていくことなのです。





パキスタンの ポリオ根絶を支える旅

チームポリオジャパンメンバー 大和 豊子（岡山南RC）

■ポリオ拡大を防ぐNIDS

ポリオ（小児まひ）は人にも感染する病で、特に5歳未満の子どもに感染しやすい疾患です。感染すると、200人に1人の割合でまひが起きます。

天然痘は1980年に世界保健機関（WHO）によって根絶が宣言されました。これに続いて全世界でポリオを根絶しようと、88年以来、ロータリーはWHO、米国疾病対策センター（CDC）、ユニセフと手を携え、世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）に取り組んできました。2009年からビル&メリンダ・ゲイツ財団、19年からワクチンと予防接種のための世界同盟（Gavi アライアンス）が加わっています。

症状が現れる天然痘は全ての感染者を特定できますが、90%以上が不顕性感染であるポリオでは、まひ患者が一人いれば周囲に100人程度の無症状のウイルス排せつ者が存在するということになります。集団に対し、できるだけ短期間のうちにワクチンを行き渡らせるには、全国予防接種日（NIDS）によるワクチン一斉投与は最も有効な方法といえます。NIDSは、設定した接種日に、国内の5歳未満の子どもたち全員に生ワクチンを内服させるキャンペーンです。



ポリオ根絶まで「あと少し」のポーズを取る参加メンバー

■インド、そしてパキスタンへ

チームポリオジャパンは、2001年から関場慶博氏（第2830地区2000-01年度ガバナー）をチームリーダーとして、青森県内のロータリアンを中心に、全国の有志が集まり結成したチームです。私もこれまで、何度もインドでのNIDSに参加してきました。11年に野生株ポリオ発症がゼロとなり、14年にはインドポリオ根絶セレモニーがありました。ポリオフリー後のNIDSでは、インドのポリオワーカーたちから「モチベーションを持ち続ける力をもらった」と、うれしい言葉も掛けてもらいました。

一方で、いまだにポリオ根絶を間近に感じられないパキスタンを支援する必要を感じ、16～17年にはチームポリオジャパンの事務局を務める、第2770地区・春日部西ロータリークラブ（RC）の永田雄治氏が一人でパキスタンNIDSに参加。18年には6人、今回は19年12月16～17日に南部の都市・カラチで行われたNIDSに日本のロータリアン13人が参加しました。

■パキスタン1日目

朝、地元紙を見ると、NIDSの記事があちこちに載っており、地域を挙げて周知に取り組んでいることが分かりました。ホテルで現地スタッフと合流しましたが、トルコのイスタンブールから参加したガバナーエレクトの女性と一緒にいくことになりました。

まずは、ポリオサポートセンターを視察しました。ここにはロータリーの支援を受けた、ソーラーシステムを使った水のフィルター設備がありました。きれいな水を供給することで住民の信頼を得て、NIDSの重要性を受け止めてもらう計





高速バスの中で、ポリオワクチンを投与



小指に投与済みのマークをつけて完了

画だそうです。

次にカラチのスラム街、ガルシャン・タウンで戸別訪問活動に入りました。ここは比較的穏やかで、ワクチン投与の拒否も、あまり目立ちませんでした。

次は高速道路での投与活動です。高速道路の要所に、ロータリーが開設を支援したP T P（Permanent Transit Post）という、予防接種のための常駐所が設けられていました。ここに遠距離高速バスを引き入れ、警護兵とポリオワーカー、ロータリアンがバスに乗り込み、5歳未満と思われる子どもがいたら、ワクチン投与済みを示す小指のマークの有無を確認。なければワクチンを投与するのですが、強い口調で投与を拒否したり、怖い顔で「済んでいる」と言い張る父親が多くいました。良いアイデアだとは思いますが、さらに理解を得る必要があると感じました。

■ 2 日 目

翌日は港近くのスラム、マチャー・コロニー地区での戸別訪問から活動を始めました。最底辺といえるスラムで、アフガニスタンやバングラデシュから来た人々も住んでいました。ここでも「接種を受けない」と強く前面に立って言うのは男性でした。

この日も水供給施設を視察しました。ワクチン投与への理解を得るためには、ロータリーによる水供給施設がまだまだ必要であると説明されました。バスの中で、イスタンブールのガバナーエレクトから「水供給施設の設置を、日本の地区やクラブと協同で支援したいが、どうか？」との提案があり、支援の輪が広がる可能性を予感しました。

その後、パキスタンで2番目に創立されたカラチRCの例会に出席。ここはパキスタン・ポリオプラス委員長のアブドゥル・アジズ・メモン氏の所属クラブでしたが、私たちが当日戸別訪問したスラムには「行ったこともない」という会員がほとんどでした。

例会後、カラチ・カントンメントン駅で投与活動をしました。あまりに多くの人が行き交い、活動がスムーズにできない印象でした。それでも、駅にはロータリーが設置した予防接種のための設備が見られました。

2日間とも戸別訪問の際には、2～4人のロータリアンとポリオサポートセンターの職員1人、ポリオワーカー2人、警護兵1～2人でグループをつくり、スラムに入っていました。

■ ポリオを根絶するために

接種率向上と、二次感染リスクのない不活化ワクチン（IPV）普及が今後の課題ですが、IPVは免疫力が弱く、4～5回の投与が必要です。1回の注射にかかる費用も4,000～5,000円と高く、生ワクチン1回分の約60円と比べ、かなりの費用が必要であることと、投与が医師にしかできないことが難点です。

19年現在、野生株ポリオの発症が報告されている国はアフガニスタン、パキスタンの2カ国ですが、17年まで減少してきた年間新規発症者数は18年から再び増加し、19年には100人を超えてしまいました。それは、今まで調査や投与活動に入れなかった地域に入れるようになったことが症例数増加の大きな理由の一つで、ここから感染者を増やさないことが重要です。

今回初めて活動に参加したロータリアンが、「人の心を動かすものは、ほんのわずかな経験なのかもしれません。そのきっかけを与えてくれたチームポリオジャパンの皆さんに感謝です」と話していました。その言葉を聞いて、ポリオ根絶活動にのめり込んだ当初の気持ちを思い出しました。

ポリオを根絶するためには、ロータリアンの力がまだまだ必要なのだと、改めて感じる旅でもありました。

（第2690地区 岡山県）

ロータリアンの復興支援は続きます

2011年3月11日の東日本大震災以降も、日本各地で自然災害が続いています。さらにはそれ以前の阪神・淡路大震災を含め、ロータリアンたちは全国各地で被災地の復興を助ける活動を続けています。一方では災害に学び、今後の備えにも協力しています。

雄勝石再発見プロジェクト

仙台RC 西條 清和

当クラブは東日本大震災後、さまざまな復興支援活動を続けています。その中で前年度から始めた「雄勝石再発見プロジェクト」は、石巻市の特産「雄勝石」を材料にして、被災地の小中学生たちが世界に一つしかない「マイ硯^{すずり}」を制作するものです。

昨年10月18日、仙台市立錦ヶ丘中学校の生徒166人は卒業制作として挑戦。雄勝硯生産販売協同組合の職人の指導を受けながら、自分で選んだ手のひらサイズの雄勝石を彫刻刀で削り、自分好みの形状にくぼみをつけていきました。最後は同組合に託し、職人が仕上げて完成となります。

同校の校長は「伝統工芸品や町の復興への理解を深めてほしい」。同組合事務局長は「自分が作った硯で、墨をする機会が増えるきっかけになれば」と語ってくれました。

この事業は地区補助金を活用しており、今年度は小中学校5校（約500人）を目標に進めています。会員たちが各校を訪問し、「マイ硯」を作る児童・生徒たちと一緒に地域の復興を考え、同時に伝統工芸に触れることで地場産品の振興を図る活動です。（第2520地区 宮城県）



台風被災者支援のチャリティーバザー活動

川崎百合丘RC 鈴木 清

当クラブでは昨年11月2～3日、会員が所属する昭和音楽大学の学園祭とコラボレーションして、チャリティーバザーを実施しました。



会員と大学教職員が協力してバザー用品を調達。当日は、クラブ社会奉仕委員会のメンバーや、同大学4年の米山奨学生・張楽君の他、留学生たちが運営に携わりました。売り上げの5万5,100円は、昨年10月の台風19号による被災者の支援に役立てようと、川崎市災害対策本部の寄付窓口を通じて寄付しました。

このバザーは、地域や社会のための活動をしようと3年前から始めたもので、初年度はポリオ根絶のため、前年度は地域の児童養護施設に楽器を贈るなど、会員の職業の特性を生かした社会貢献活動を続けています。運営を担当する会員にとっては、学園祭で繰り広げられる演奏会、パフォーマンスを見聞きしたり、模擬店を楽しんだり、普段はなかなか立ち入ることのない音楽大学の雰囲気味わう、良い機会にもなっています。クラブとして今後も引き続き、地域の特性を生かした活動を行っていきたいと思っています。（第2590地区 神奈川県）



つながるプロジェクト

岡山東RC 富山 直司

当クラブは10月12～14日、香川県の神戸YMCA余島野外活動センターで「リフレッシュキャンプ～大規模災害被災地児童 つながるプロジェクト 地域と日本の未来のために」を実施。平成30年7月豪雨で被災した倉敷市真備地区と、福島県の若者とを結び、つながりから生まれる価値を共有する事業です。支援を受けた側が支援する側に回る、この循環を生み出すことで、大規模災害が想定される地域と日本の未来に貢献したいと考えました。

真備地区の被災家族80人の健康診断を会員医師が行った後、同地区の小学生35人と福島の中学生3人を伴って余島へ。大規模災害からの再出発を経験した子どもたちをつなぎ、循環させる第一歩とすることができました。

(第2690地区 岡山県)

災害の教訓を今後のために

志木RC 上原 実

昨年10月、東日本を中心に甚大な被害をもたらした令和元年台風第19号。台風が過ぎた直後の16日、当クラブでは埼玉県朝霞県土整備事務所の鈴木隆史副所長を招いて例会卓話を行いました。

台風接近の12日から14日まで不眠不休だったと鈴木氏。埼玉県は建設業協会と協定を結んでおり、不測の事態の折は、県職員と共に活動をしているそうです。荒川では平常時4mのところ、13mまで水位が上昇し、秩父地方では降水量が600mm、朝霞管内では321mmと、これまで経験したことのない数値だったと、緊迫した状況を語ってくれました。

洪水対策・治水対策はハード・ソフト面の両輪で進めるべきですが、ハード面には膨大な予算がかかります。県としてはまずソフト面からきちんと整備していく方向、とのことでした。

埼玉県は河川面積が日本一。いま一度、災害時に地区内クラブの連携でできることなどを考察すべく、タイムリーな例会となりました。

(第2570地区 埼玉県)



HUG体験講座

美濃RC 市原 孝雄

当クラブ提唱の武義高校インターアクトクラブは、同校生徒会全員がメンバーであり、各種活動に協力してくれています。昨年11月7日には同校の1年生約80人を対象に、前年度に続き2回目の避難所運営ゲーム(HUG)体験講座を開きました。

被災時の避難所運営を想定したカードゲームで、高校の体育館が避難所になったと仮定し、「避難経路をどうするか」「どのように被災者の安全・安心を確保するか」「どの教室を使用すれば効率よく収容できるか」など、一般的な避難訓練とは違った視点で災害時の対応を考えることができます。

前回、われわれがゲームの内容をよく理解しておらず、質問に答え切れなかった反省を踏まえ、今回は事前に勉強会を開くなど、万全な態勢で臨みました。

生徒たちは覚えが早く、予定より早く終了するほど。彼らの進学先や就職先で万が一の時にも十分役立つのでは、と意義を感じました。毎年、生徒は入れ替わるので、今後は恒例事業として開催していこうと考えています。

(第2630地区 岐阜県)

東日本大震災支援と絆

第 2830 地区 青森

沼田 廣ガバナー (青森 R C)

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で、特に東北地方太平洋沿岸部は未曾有の大惨事となりました。震災直後から、私の所属する青森 R C は震災復興支援委員会を立ち上げ、活動を開始。5 月には青森 R A C と共に、岩手県山田町を皮切りに宮古市田老町などへ、数次にわたってリンゴや津軽そば、ショウガみそおでんの提供に行き、被災地の方々に喜ばれました。「ありがとう」「おいしかったよ」「がんばってね」と声を掛けられ、逆に被災者の方々から元氣や励ましをいただきました。ロータリーに入っていたおかげで、このような活動に参加することができ、多くの人々に喜ばれたことが、私のロータリー・モメントと言えるでしょう。

また、現地の児童館や保育所では、絵本や物語の DVD などがほとんど流失して困っていると聞き、(社福)岩手県社会福祉協議会の協力を得て、10 の児童館、33

の保育所へ希望の絵本や DVD を寄贈しました。このプロジェクトには、姉妹クラブである京都南 R C の賛同を得て共に現地入りし、「絆文庫」と名前を付けて贈呈してきました。これに対し、被災地の子どもたちから喜びいっぱいの絵手紙や写真がたくさん届き、感動しました。子どもたちの未来に、少しでも明るさが届けられたのではないかと、思いました。

さらにこの翌年には、同じく姉妹クラブの函館 R C も参画してブランコ、シーソーなどの遊具や積み木なども寄贈しました。こうして、姉妹クラブとの絆も深まった支援活動を、数年にわたり展開し続けています。

(水産物加工販売)



2013年10月、田老町の保育園を訪ねて(右から3番目がガバナー)

ただただ感動

第 2570 地区 埼玉西北

鈴木 秀憲ガバナー (吹上 R C)

「自分の子どもがポリオ感染者だと分かった瞬間に、私の母は、その場で卒倒してしまいました。私は母のような思いを他の方には絶対させたくない、と強く思いました……」。第 2770 地区(埼玉南東)ガバナー小林操さんのスピーチを聞いた私は、否、会場にいた全員は、



お隣の地区の多彩な根絶活動報告にも引き込まれました

拍手も忘れ、静かな、しかし力強い感動に打ちのめされました。昨年 11 月 10 日の第 2770 地区の大会で、72 全クラブが発表した「10 月 24 日世界ポリオデーで行ったポリオ根絶キャンペーンの紹介」後のスピーチでした(『友』誌 2019 年 10 月号横組み P38 ~ 39)。

まず 72 クラブそれぞれが、個別に 1 ~ 2 分で事業を発表。独自に行った募金活動や広報活動について、動画やコメントなどを駆使した報告が次々と行われ、大変楽しく拝見していましたが、夢中で聞いているうちに正直、終わり近くにはくたびれてきて……(クラブの皆さん、本当にごめんなさい)。そこへ、前述の小林ガバナーのスピーチ。目が覚めたというより、もっと強烈に感情を揺さぶられ、ただただ、感動に浸っていました。

氏自身がポリオ感染者であること、そしてその根絶に強い意志を持って、ガバナーに就任したことは十分に分かっていました。であるからこそ、件の 10 月 24 日には、氏の地区と私の地区とが協同で、新聞一面広告も打っています。私自身、この紙面作成にかなりの時間と熱意を込め、全国の皆さまの参考になるよう作成したつもりでした。

けれども、そのインパクトは、氏の前述のスピーチの足元にも及びませんでした。(旅客運輸業)

ホストファミリー お願いします

第 2580 地区 東京・沖縄

新本 博司ガバナー（那覇RC）

青年会議所を定年退会後、しばらくして先輩から勧められ、那覇RCに入会し24年目になります。その間、仲間と歩んだいろいろな思い出が脳裏をよぎります。

入会後数年して、アメリカ・シカゴから青少年交換学生 John Williams 君をホストファミリーとして受け入



沖縄の光の中で。右端ガバナー、その隣が Aranza（2013 年 10 月）

れるよう要請され、即答で快諾するも家族全員から反対が。でも強引に押し通しました。その後 John 君は家族にも学校にも慣れ、休みには同年の息子と出掛けました。しかし第3、第4のホストファミリーが見つからず、John 君はクラスメートの父に「僕のホストファミリー、お願いします」と懇願、引き受けてもらいました。

2度目はメキシコの Aranza Penichet Aguilar さんで、息子家族が快く受け入れました。嫁にはスペイン留学経験があり、難なく溶け込みました。Aranza は明るく社交性に富み、一躍クラスの人気者に。帰国時、空港では大勢のクラスメートがお別れのハグ攻め、孫も号泣して別れました。写真は那覇大綱挽（「世界一のわら綱」としてギネスブック認定）で、綱引きをした時のスナップです。首に巻いた綱は縁起物なので、持ち帰りました。

青少年交換プログラムは、青少年奉仕の中で最も成功しているロータリーのプロジェクトと言われています。ホストファミリーの引き受けに困難はありますが、数多くのロータリアンが深く関わってそれを乗り越え、全く異なる文化、そして言葉に触れ合う機会をつくります。彼らの成長にこれからも大きく関わっていきたいですし、社会人として大きく成長した彼らに、いつの日か再会できることも楽しみにしています。（健康食品）

D1830・ドイツからの 青少年交換学生

第 2590 地区 神奈川

轟 淳次ガバナー（川崎マリーンRC）

2015 年 8 月 11 日、羽田国際ターミナル。前年、川崎西北RCからドイツに派遣した青少年交換学生・多田光輝君に通訳を務めてもらって、シュツットガルト・ソリチュードRC派遣の、15 歳 6 カ月のニクラス・エリアス・コップ君をカウンセラーらと迎えに出ました。初印象は背の高い（193cm）好青年。当日は特に猛暑で蒸し暑く、ドイツはもっと涼しいと嘆いていました。

「なぜ、こんなに自販機?」「なぜ、バスの運転手は白い手袋?」と多田君を質問攻めにしつつ、ホストファミリー宅では、靴のまま家に入ろうと……。全ての日本文化に興味津々。学校を休みたがるのは、英語と体育の授業以外は理解できないからと分かったものの、ロータリーの行事は皆出席、特にスキーは喜んで参加。クラブ訪問での日本語スピーチの練習を重ね、4 カ月ほどで意思の疎通ができるように。わがクラブ恒例の鎌倉散策では、

海を見てはしゃいでくれました。帰国時、見送りに来たタイとブラジルの交換学生と抱き合って別れを惜しんでいたのが、今も日に焼き付いています。

2019 年のハンブルク国際大会では、18 歳になった大学生の彼との再会を、当クラブ 8 人は楽しみにしていました。自宅のあるシュツットガルトから 600km 以上自ら運転、4 時間近く遅れた搭乗便をベルリン空港で待っていてくれました。物事の考え方も、人との接し方も、だいぶ大人になって。その後わずか 3 日間でしたが、楽しく、懐かしい時間を過ごすことができました。見知らぬ世界のひとと、顔を触れ合わせる青少年交換学生の事業は、世界平和につながります。（自動車用計器類販売）



すっかり頼もしくなった 18 歳と（2019 年 6 月）

多くの出会いと感動に 支えられて

第 2600 地区 長野

古川 静男ガバナー (松本西南RC)

ロータリー歴は 30 年を超えていますが、私をロータリーに目覚めさせたものは、2014 年のクラブ会長エレクト時代を受けた、ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) だと思います。自分のクラブしか知らない人間が、ここで他クラブの活動を知り、ディスカッション



松本東RC主催のコンテストでモンゴルの留学生と (2019 年 11 月)

リーダーを務めロータリーを深く理解することができました。そして今度は、ガバナーとしてクラブ公式訪問することでクラブごとに歴史を刻んだ奉仕活動を知り、ロータリーの素晴らしさを再認識している次第です。

私のクラブでは 1996 年から「植樹」を奉仕活動の柱とし、2019 年もハナモモ・ヤマツツジ・オオヤマザクラを合計 100 本植え、累計は 1 万 1,517 本となりました。松本東RCは「留学生による日本語スピーチコンテスト」を 30 年間続けており、今年度は 30 人が応募、書類選考により 6 カ国の 9 人が発表。30 年で応募者は 900 人以上ということで、一つのクラブがこれだけの国際交流を長年行ってきたことに、感銘を受けました。

また、会員 11 人前後の白馬RCでは「交換学生スキーの集い」を 32 年間続けており、昨年度は 10 地区から 250 人の留学生と関係者がゲレンデに集いました。参加した学生の中には「日本に来て一番の思い出になった」という人もいて、意義深い交流の場となっています。

「一燈照隅 萬燈照国」の言葉通り、ロータリーの燈火は地区の津々浦々に輝いていました。ガバナーとなり、ロータリーの魅力を再発見する毎日が続いていますが、この魅力をロータリアン全員に広げていけるよう、残りの任期を全うしていきたいと思います。(司法書士)

タイの米山奨学生から 始まった

第 2610 地区 石川・富山

松本 耕作ガバナー (金沢RC)

私にとっての「ロータリー・モメント」。それは以前、『友』誌の記事で紹介されたことがある試みです (2016 年 11 月号縦組み P 14 ~ 15、17 年 1 月号横組み P 30 ~ 31)。

それは、私たちのクラブが 1993 - 95 年度にお世話をした、タイからの米山奨学生テムラック・チャオさんが、2012 年、タイのポーサテッドナコンシーRCの会長になって、クラブを再訪問してくれたことから始まった「浄水器設置事業」。

ロータリー財団の制度が変わり、グローバル補助金事業を模索していた中で、立案されました。最初はオンラインでの申請から、タイ側での「承認」のクリックをもらうためだけに現地を訪問するなど、苦難の連続でしたが、2016 年、1 回目が見事に実現しました。

小学校で多数の児童に日の丸を振って歓迎してもら

い、保護者が私たちに感謝する姿を見て、「よいことをした」との実感で、思わず涙が出そうになりました。

その後、2 回目の事業に私はクラブ会長として参加。そして当初から約束していた 3 回目の事業を 2019 年 2 月に終え、ガバナーとして参加できたことに感無量です。

一つのモデルとして完遂はしましたが、事業の「持続性」を担保するためには、現地のロータリアンの業務が煩多であることも気になります。

この事業は、今回でいったん終了を予定しておりますが、この地域で次なる事業の展開を考えるのか？ 新しい出会いを求めて、別の地域に出掛けるのか？ 悩み多い今日この頃です。(調味料製造)



金沢クラブが贈った「安全な水」を掲げて (2018 年 10 月)

ロータリアン・Rファミリーが主役の地区大会

第2620地区 静岡・山梨

安間みち子ガバナー（浜松ハーモニーRC）

地区内外から多くの皆さまの参加を得て地区大会が開催され、今年度は、ロータリーファミリーの皆さんに大活躍してもらいました。

過去に当クラブがお世話した米山学友、2020年1月、サンディエゴの国際協議会に招待されたロータリー・



舞台からも感動の地区大会ウェーブ（2019年11月）

地区代表、2019年にデンマークから帰国した青少年交換学生、その3人の発表はどれも素晴らしく、感動の声が多く聞かれました。そして、ロータリー・アクターや米山奨学生、米山学友、青少年交換学生、ローテックスら60人の皆さんと舞台上でウェーブを披露したのは、大きな思い出です。

彼らは皆、未来を担う若者たちであり、ロータリーファミリーの一員です。これらのプログラムはロータリーでなければできない奉仕活動であり、各事業の素晴らしさを改めて実感しました。1人ではできないことでも、ロータリーを通せば行うことができると、今さらながらうれしく思いました。

振り返れば、この地区大会を開催するための企画・構成・演出・司会・プログラムの作成に至るまで全てが、地区大会実行委員会、地区幹事、姉妹クラブのパワー浜松RC、そしてわが浜松ハーモニーRCの力が結集して実現したものです。「ロータリアンの友情」とはよく聞く言葉ではありますが、この地区大会は、まさにその言葉の上に成り立っています。皆で思い描いた大会を現実のものとした「手作りの地区大会」であった、と深い感動に包まれ、この大会は私にとっての大きなロータリー・モメントとなりました。

（不動産仲介業）

日本語を忘れてしまうような2週間

第2750地区 東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ

浅田 豊久ガバナー（東京六本木RC）

当地区は他地区と大きく異なる横顔を持っています。それはパシフィックベイスングループ（グアム、サイパン、ポンペイ、パラオ、トラック、チューク）という南太平洋の島の仲間たちが地区内にいる、ということです。

さる9月12～24日、これらの諸島を回ってガバナー公式訪問をしてきました。例会前の懇談会では率直に現下の問題点を情報共有、その解決策をどのような手法で行うか、について活発に意見を交換。体験に基づく手法で筋道を見いだす、この点については言語が異なるだけでほぼ日本と同じ「共有」「交換」「段取り」を実行できました。ロータリーは文字通り、「国際的に奉仕を進める団体」であることを再認識する日々でした。

行程は、各島ごと1日1クラブ訪問を原則とし、航空機で隣の島に移動、という繰り返しです。午前1時出発、早朝4時目的地に到着、ホテルで一服する間も

なく懇談会は11時開始。島によっては2日に1便だったり深夜に到着し出発は2日後の深夜発便……と。ほぼ、日本語を忘れてしまうような2週間。幸い、担当幹事が付きっきりで諸々の段取りしてくれ、今となっては懐かしく思い出される日々となりました。

不肖の拙いイングリッシュスピーチをどこまで理解してくれたか、神のみぞ知るところ。英語はあくまでも外来語であり、島ごとの言語文化が存在し、食材はほぼ輸入に頼っていること、日本でも話題のカジノによる開発予定もあることなど、南太平洋の島々ならではの体験を積んできました。ぜひロータリアンの皆さまも訪問していただき、この体験を共有できれば幸いです。（日本料理）



最前列でテープカット！ロータリーの友情は日本も南太平洋でも変わらず（2019年9月）

**CLOSE
UP!**
学友会⑫



スリランカ米山学友会

亡き会長の思いを乗せて

設立への働き掛けは日本から

現在、海外には9つの国・地域に米山学友会がありますが、設立のためには①20人以上の米山学友を集める、②会則・役員組織を定める、③年1回以上の会合を開く、④ロータリー米山記念奨学会常務理事会の承認を得る、といった条件と手続きがあり、特に①の学友を集めることが最大の関門となります。

そもそも学友会の存在がこれほど重要視されるようになったのは、板橋敏雄氏が理事長に就任した2007年以降のこと。それまで海外には台湾と韓国にしかなかった学友会が、中国（09年）、タイ（12年）、ネパール（13年）、モンゴル（14年）と次々に設立され、母国に戻った米山学友たちの“その後”が、日本のロータリアンの目に触れる機会も多くなっていきました。

2009年から第2530地区（福島県）の福島グローバルロータリークラブ（RC）創立会員となり、同地区米山学友会の会員の一人であったチンタカ・クマール・ウィジェシンへさん（1997－98／郡山安積RC）は、各国にできた米山学友会が紹介されるたびに、「母国ス



2016年6月の設立総会にて

リランカにも……」という決意を固めていきました。

当時、同地区にはスリランカ出身の学友が4人、九州にも仲間がいました。日本を拠点とする彼らが母国と日本を行き来しながら、また、東京の米山記念奨学会事務局に足を運んで説明を受けながら、少しずつ仲間を増やしていったのです。設立への仕掛け人がスリランカ在住の学友ではなく、日本にいる学友という点で、やや特異な滑り出しでした。

ラビンドランRⅠ会長年度に設立を

一番の苦労は「連絡先が分からない学友が多く、連絡が取れても半数以上が学友会設立の必要性を理解してく

れなかったこと」とチンタカさんは言います。

連絡先について、米山記念奨学会には奨学生や学友がウェブ上でログインし、各自の情報を入力できるシステムがあります。誕生日など折に触れてメールを送り、更新を呼び掛けていますが、更新しない学友も多いのが実情です。探し当てた一人一人に、「日本とスリランカの国際奉仕活動をつなぐのは米山学友の使



私は応援します！



第2530地区
米山記念奨学会
学友委員会委員長
磯目 基嗣 氏

「スリランカに学友会をつくり、その活動を通してロータリーに恩返しをしていきたい」というチンタカさんの熱い思いを受け、地区として応援すべく、スリランカ米山学友会設立準備委員会が設置されたことを思い出します。記念事業と

して、当地区国際奉仕委員会から小学校へテレビシステムを、中高一貫校へパソコンを2台提供し、その後、第2620地区米山学友会とスリランカ学友会が行う医療支援活動に当地区学友会が便乗する形で参加しました。

日本のロータリアンによる国際奉仕事業の橋渡し役として、海外の米山学友会の役割は、今後ますます大きくなるでしょう。私たち日本のロータリアンが積極的に海外学友会へ働き掛け、奉仕の機会を模索していくことが、海外学友会の活性化へつながると確信しています。

スリランカ初の国際ロータリー（R I）会長となったK. R. ラビンドラン氏の年度のラストを飾るかのごとく、2016年6月25日、スリランカ米山学友会は設立されました。きっかけは日本にいるスリランカ出身の米山学友と、彼らの熱意に動かされた第2530地区のロータリアンらの尽力によるもの。しかし、組織としての活動が軌道に乗る前に、会長の急逝という不幸に見舞われました。昨年6月から新体制となった同学友会は、ラビンドラン氏の会長テーマ「世界へのプレゼントになろう」を合言葉に再出発を誓います。



命。そのために学友会が絶対に必要となる」と説得して回りました。

当時、第2530地区米山奨学委員長を務めていた加藤義朋氏も彼らの夢を応援したと、2016年3月にコロンボR Cなどスリランカのクラブで例会に出席し、日本のロータリーがつくり育てた米山記念奨学事業について力説し、協力を仰ぎました。

そして16年6月25日、スリランカ初のR I会長、K. R. ラビンドラン氏の会長年度に間に合う形で、海外7番目となるスリランカ米山学友会が設立されたのです。

会長の急逝

初代会長には、首都コロンボから車で1時間ほど離れた町で幼児教育に従事するラクナース・ガマゲさん（1993 - 95 / 宇部西R C）が就任。設立総会には学友約30人の他、スリランカが所属する第3220地区のガバナー夫妻（当時、以下同）、在スリランカ日本国大使、米山記念奨学会から小沢一彦理事長、第2530地区や第2700地区（福岡県）のロータリアンが駆けつけ、ラビンドランR I会長からの祝辞も披露されました。

設立後は、スリランカを訪れた日本のロータリアン、また、第2680地区（兵庫県）や第2620地区（静岡県・山梨県）の学友会との交流や、母国での豪雨災害被災地の支援や中高生への講義など、個々のメンバーの専門を生かした活動を続けていましたが、国内外の学友が一緒



学友が若者たちに向けて講義

に参加する機会はなかなか設けることができません。

さらに約2年が経過した18年の夏、ラクナース会長が急逝したとの連絡が入りました。旅行先での突



医療キャンプで健康診断を実施



視力を測定し、必要なら眼鏡を提供

然の死でした。まだ50歳の若さ、誰もが信じがたく、学友会の活動は休止せざるを得ませんでした。

「世界へのプレゼントになろう」を合言葉に

19年8月、ラクナースさんが経営していた幼稚園に、人があふれていました。6月に久しぶりの総会を開催し、ニシャンタ・ロハン・サマラシンハ会長（2002 - 05 / 飯塚R C）をはじめとする新しい顔ぶれで再スタートを切ったばかりのスリランカ学友会が、ラクナースさんの一周忌に合わせて医療キャンプを実施することになったのです。医師として活躍する学友が中心となり、近隣の貧しい村の住民に声を掛け、身体測定、血液検査、視力検査、問診をした上で、必要な薬や眼鏡を渡しました。ラビンドラン氏の会長テーマであった「世界へのプレゼントになろう」を具現化する活動。壁には、ラクナースさんの笑顔の写真を掲げました。

設立して4年。「会合や活動に来てくれる学友をもっと増やさなければならぬと感じています。それには、地道な活動を続けて、仲間を広げていくしかありません。将来は、日本のロータリアンから、海外で奉仕活動を行う時に、パートナーとして率先して選んでもらえるような学友会にしていきたい。なお、今年は6月20日に総会を開催します。日本のロータリアンの参加をお待ちしています」と、ロハン会長は語っています。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業、「よねやまだより」についてのご意見・お問い合わせは、（公財）米山記念奨学会まで。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp

フィンランド

カナダ

ハイチ

ガーナ

スリランカ

People of action around the globe

世界中で活躍
「世界を変える行動人」

ハイチ

オデット・コンスタントさんは16歳で家族と共にハイチの首都ポルトープランスからニューヨークへと移住しました。2010年1月12日にハイチ地震が起きると、コンスタントさんは教育、健康推進、栄養指導、地域の衛生環境の向上を専門とする Haiti Health & Rehabilitation という団体の設立に助力しました。2017年後半にはハイチの仮設児童養護施設での活動に専念しましたが、そこで目にした子どもたちの状況は悲惨なものでした。そこで彼女は、子どもたちを新しい施設へと移し、責任者となりました。2019年に彼女を会員として迎え入れたフロリダロータリーEクラブでは、その児童養護施設の広報と運営を支援しています。

ガーナ

ごみが詰まった排水路から水があふれていることを知り、ホー・ローターアクトクラブ(RAC)が行動を起こしました。ガーナ、トーゴ、ウガンダのローターアクトクラブとトーゴのロメゼニス・ロータリークラブ(RC)から資金と人手の提供を受け、ローターアクターたちは2019年7月に市内の10カ所のごみ箱を設置。「130人のボランティアが参加してくれました」と会員27人のホーRAC会長プリンス・コトコさんは言います。その後、9月28日に清掃作業を行い、ボランティアが側溝から泥を取り除きました。コトコさんによると、この街で行われた最大規模の清掃で、参加したボランティアは300人近くに上ったそうです。

フィンランド

ヘルシンキ国際ナショナルRCの会員は、2017年以降、主にアフガニスタンやイラン、イラク、シリアからの移民・難民110人以上を対象に研修を実施してきました。その内容は、職業訓練や履歴書の書き方、新しい文化への適応など。

受講者たちは、ストックホルム商科大学のエグゼクティブ教育プログラムと提携してハンケン経済大学がアレンジしたプログラムを修了した後、フィンランドの企業で3カ月間の研修を受けることができる、と会員のサム・エリック・ラットマンさんは説明します。「プログラムのおかげで研修後、正規の仕事に就くことができた人が3人います」とラットマンさんは言います。

2017年、EU加盟国は82万5,000人の移民、難民に市民権を付与しました。



ROTARY CLUB OF KAMLOOPS WEST

カナダ

ブリティッシュコロンビアワイルドライフパークに何年にもわたり資金援助してきたブリティッシュコロンビア州のカンループスウエストRCの会員たちは、106エーカー（約43万㎡）の保護区内に、自分たちの活動場所を見い出しました。クーガー、オオヤマネコ、アカオオヤマネコ、ロッキービッグホーン、ホッキョクオオカミ、ヘビの生息地をさらに豊かなものにするために、クラブは庭を造り、花粉を運ぶハチドリやチョウ、ハチなどの生物を育むことにしました。

2019年5月にカンループスで行われた第5060地区大会では、ロータリアン、ローターアクター、青少年交換学生など、第5040地区と第5060地区の40人のボランティアが、キツネノテブクロ、チューリップ、ラベンダー、ウーリータイム、ロシアンセージ、コーンフラワーを植えました。「花粉を運ぶ虫に好かれる品種や、干ばつに強い植物を多く選びまし

た」と、第5040地区の直前ガバナーでカンループスウエストRC会員のシェリー・チェンバレンさんは、この2,300ドル（約25万円）のプロジェクトについて説明します。カンループスウエストRCの他に、公園を熱心に支援しているカンループスRCとカンループスデイトレイクRCも資金と人手を提供。「作業が終わった後、2つの地区が現地で交流会を開きました」。10月には会員たちが再び公園を訪れ、3,800ドル（約42万円）かけて花壇を整備、植物をさらに植え、フェンスとベンチを設置しました。

スリランカ

コロomboセントラルRACは、人間の友である犬のカーニバルを10月に開催、200匹の犬と飼い主が集いました。カーニバルの目玉は、ドッグショーと、ベストコスチューム賞やベストトリック賞、一番人気賞をめぐるコンテスト。主催者は、時代遅れとなっているスリランカの動物虐待法の改正を求める署名を募りました。署名を行ったのは参加者だけではありません。クラブ会員のプラモダ・ウィーラセカラさんによると、カーニバルへの参加と法改正の支持を示すために、参加犬も足型を押しました。改正案では、動物を故意に死なせた場合には、実刑判決などの重罰化を求めています。

-BRAD WEBBER

愛犬家団体・アメリカンケネルクラブが認定する犬種は193種です。



2019 - 20 年度 地区大会略報 IV



第 2630 地区

2019 年 11 月 16 ~ 17 日

サオリーナほか

ホスト 津 R C 登録者 1,692 人



辻 正敏ガバナー ホストクラブと交流のある台湾・第 3523 地区から朱健榮 R I 会長代理を、さらに姉妹地区の韓国・第 3600 地区、地区の事業で提携するタイ・第 3330 地区の会員を迎え、国際色豊かな大会となりました。記念講演は京都産業大学名誉教授・所功氏の「『令和』改元の画期的な意義」。歌手で女優の倍賞千恵子さんの「歌うこと、演じること、そして生きること」からは、つながりの大切さと、続けることの素晴らしさを学びました。全員参加の「総天然色」食堂ではお祭り気分の大昼食会、会員同士で親睦を図りました。



第 2670 地区

2019 年 11 月 23 ~ 24 日

アスティとくしまほか

ホスト 徳島プリンス R C 登録者 1,783 人



大島浩輔ガバナー 田中作次 R I 会長代理を迎え、徳島らしく阿波踊りや地元の歌手の歌声でオープニング。ロータリー平和センターホストエリアアドバイザー・山崎敬生氏の基調講演では、同センターの現況や展望が分かりやすく語られました。R I 会長代理晩餐会では、田中氏やガバナーが阿波踊りを披露する一こまも。2 日目は元内閣総理大臣・小泉純一郎氏の記念講演を一般公開し、約 1,800 人が聴講。「人とひと、地域をつなぐ」の大会テーマ通り、地区内外のロータリアンと地域の人たちをつなぎ、温かさを感じる大会となりました。



第 2660 地区

2019 年 12 月 13 ~ 14 日

大阪国際会議場

ホスト 大阪西南 R C 登録者 2,493 人



四宮孝郎ガバナー R I 会長テーマと地区スローガン「Stand by You ~あなたと共に~」を掲げ、R I 会長代理を招聘せずに開催。特に若者とのつながりを大切にしたいという四宮ガバナーの思いを反映したプログラムで構成されました。同地区がホストをした青少年交換学生アントニー・スロドコフスキーさんの講演や、元ラグビー日本代表の大畑大介氏と前阪神タイガース選手の鳥谷敬氏のトークショーは、ロータリーでつながる多様な世代の心をつなにし、ロータリー活動のモチベーションを上げる機会となりました。

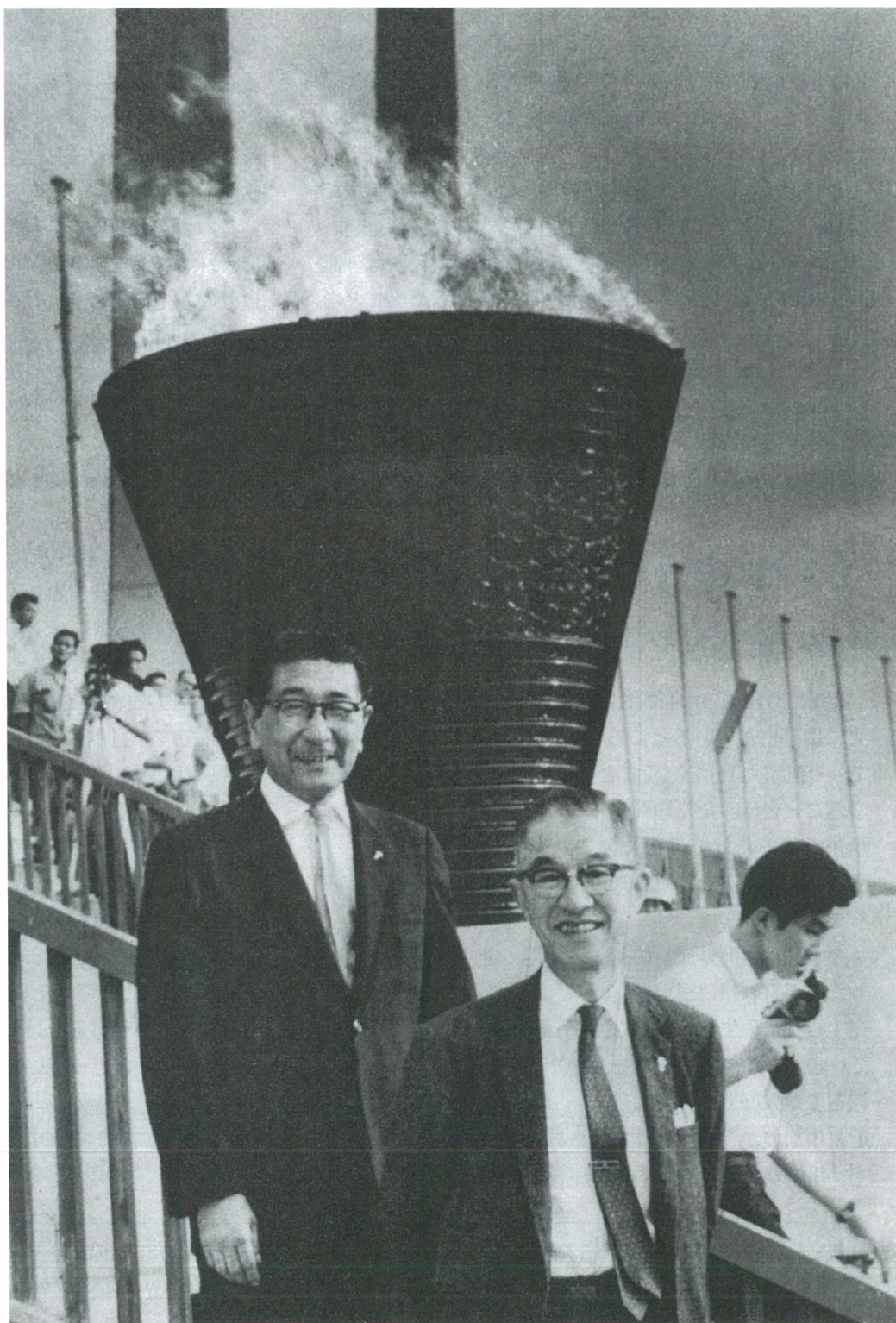
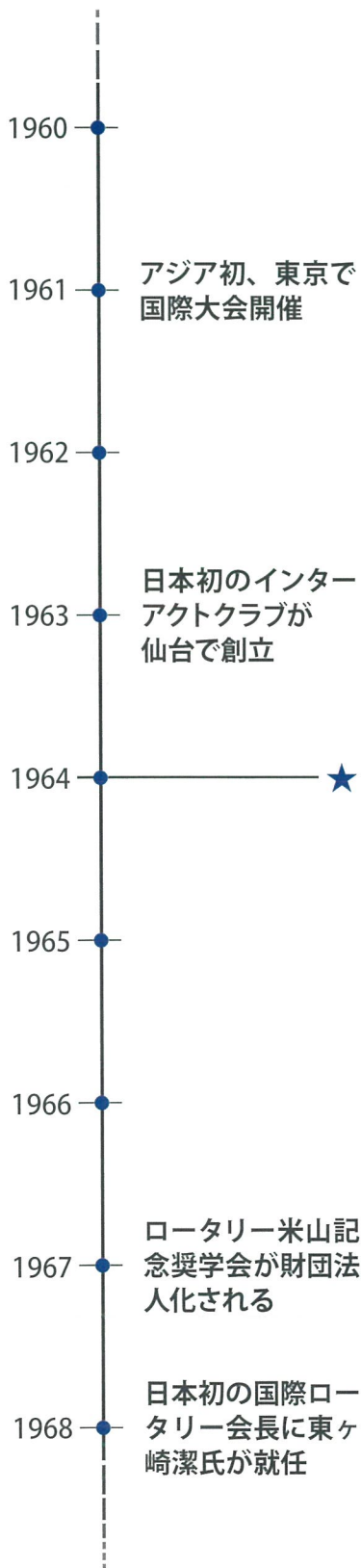
写真でつづる 日本のロータリー

100
年



★ 1964年10月「第18回オリンピック競技大会」が東京で開催されました。当時の国立競技場に設置された聖火台は都内のロータリークラブの協力で完成したもの。写真は前年8月の点火試験時に会員とともに撮影されました。

(写真提供：東京西北R.C.)



NEW GENERATION

ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

周りの人と切磋琢磨したい

ローテックス 河田 梨沙

私は、青少年交換プログラムに参加し、留学先のアメリカで多くの人との関わりを通して、日本では得られなかった、たくさんの経験をしました。現地の高校で授業を受けたことはもちろん、インターアクトクラブに参加して月2回のボランティア活動を行い、演劇にも挑戦しました。ネーティブの高校生に混じってスピーチコンテストに出場した時は予選で2位を獲得できました。

このように活動的になれた背景には、いつも最後まで応援し、助けてくれる誰かの存在があったと思います。「たった一人では何も達成できない」。言い換えれば「誰かの助けがあれば何にでも挑戦できる」。そんなことを学びました。

また、「環境が人をつくる」といいますが、私自身、留学中には同級生やロータリアン、ホストファミリーを

はじめとする高い志を持つ人たちに会うことができて、それが日々のモチベーションとなっていました。帰国した現在でも、そこで得た経験が、日々の勉強やさまざまな活動への原動力となっています。

これから進学して経営学を学びたいと思っているので、今は受験勉強に励んでいます。毎日がハードですが、自分の人生を諦めず、挑戦し続けていきたいです。

広島県三原市在住。尾道東高校3年。2018-19年度第2710地区青少年交換学生としてアメリカ・カリフォルニア州ダブリンへ留学。趣味はピアノを弾くこと、友達としゃべること。



その土地の文化が面白い

米山奨学生 リュウ ウンファ 劉 文華

私は2016年9月に来日し、現在、大学院で修士論文に取り組んでいるところです。3年間の留学生活の中で、「学問は自分を磨くこと」だと知りました。そして、学ぶこととは、ただ知識や単位を得るだけでなく、真理を追究することだと知りました。

余暇には、海外旅行に行ったり、読書をしたりして、充実した学生生活を過ごしています。中でも、ものを作るのが大好きで、特に最近夢中なのが手まり作りです。手まりを作るには、装



飾のためのいくつかの技法があります。あらかじめよく計画を練り上げることも必要で、制作には集中力や根気が必要になります。糸と針といった簡単な道具で文様を刺しゅうし、時にはやり直しもある、細かい手作業です。手まり作りを始めた理由は、日本の文化を体験したかったからです。日本に留学中、2018年の夏休みにさらにアメリカでインターンシップを体験しました。2カ月間という短期間でしたが、異文化交流の魅力をより深く理解できました。

このような体験から、私は将来、国際関係の仕事で活躍できる人になりたいと思うようになりました。これからの人生にも、必ずさまざまな困難や挑戦があると思います。しかし、「難しそうなことだからこそ、やりがいがある」という信念を持つ私は、何事にも前向きに取り組んでいけると思っています。

中国河北省出身。福島市在住。福島大学人間発達文化研究科修士課程2年。奨学期間：2018年4月～2020年3月、世話クラブ：福島中央RC。趣味はものづくり、旅行、写真撮影。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードできます。

家族と一緒に フィリピン・タグビラランRC

THE ROTARIAN 3月号から

創立：1970年
創立会員：25人
現在会員：44人

みんなの街

ボホール島の港湾都市タグビラランは、目の覚めるような美しいサンゴ礁に魅せられたスキューバダイバーに人気の町です。一方、陸地では、チョコレートヒルズと呼ばれる円すい形の丘が連なる、別世界のような茂みの中を、観光客がさんさんと降り注ぐ日差しを浴びながら散策します。タグビララン・ロータリークラブ（RC）はこの町と、農業や鉱業を中心とする近郊の地域のニーズに応えています。

ビクター・パントルさんは自分のことを「ロータリーの素晴らしい活動の熱烈な信奉者」だと言います。しかし、妻のルエラさんによると、当初は入会をためらっていたそうです。ビクターさんは、ミンダナオ島のロータリークラブの会員だった当時の上司に誘われ、1998年に入会しました。ビクターさんはエンジニアという仕事柄、別の島の鉱山を管理するために出張が多く、彼が入会するとルエラさんがロータリーに関わるようになりました。「夫が留守にする時にはいつも、クラブの例会やプロジェクトに代わりに出てくれと頼まれました。それでロータリーが大好きになったんです」。その後、彼女も入会、クラブ会長と第3860地区のガバナー補佐を務めるまでになりました。

ビクターさんはこれに感心し、感銘を受けました。「妻の活動はどんなことでも応援していました」とビクターさん。「妻のおかげで私も変わり、とても熱心な会員になりましたよ」。パントル夫妻の例があって、同クラブは家族に参加してもらう方法として、会員身分を家族でシェアできる仕組みを採用しました。

多くのフィリピン人は会費が理由でロータリーに入会できない、とクラブ会長のイレナ・ヘーベラーさんは言います。彼女によると、ロータリアンの配偶者を持つ入会候補者から、「2人分の会費を払うことはできない」と言われることが多いそうです。それが、クラブの新しい方針のおかげで、一家族は一人分の会費だけ払えばよいことになりました。

パントル夫妻はクラブの熱心な勧誘者になりました。「友人たちを例会に誘いました」とビクターさん。「プロジェクトを紹介して、社会的弱者とリソースを分かち合うことの重要さを感じてもらいました。入会した多くの人が、後

CLUB INNOVATION :

ロータリーへの入会を考えるタグビラランの住民にとって、最も大きなネックになっているのが、経済的、時間的な負担です。こういった人々の参加を促すために、クラブは会員身分を家族でシェアできるようにしました。

に頼れるクラブ役員になりました」

2013年10月にマグニチュード7.1の地震がボホール島を襲うと、先頭に立って活躍したのはロータリアンでした。ビクターさんは救出・復旧作業を行うチームを率いました。肉体的にも、精神的にも大変な仕事で

す。また、ロータリアンは道路と橋の復旧に当たり、被災者に救援物資が届けられるようにしました。

クラブは、10月のピンクリボンキャンペーンに合わせた乳がん検診を推進するためのシンポジウムなど、多数のプロジェクトを抱えています。他に継続して行っているプロジェクトには、衛生教育と学童のための道路安全講習などがあります。Philippine Gift of Life Foundationとは、治療を必要としている人々のために手術を施す医療ミッションを共に取り組んでいます。

観光業がメイン産業となってきた地域で、クラブが環境プロジェクトに力を入れています。「マングローブなどの植樹やサンゴの移植、海岸の清掃、プラスチックごみのないボホール島の推進などの活動を通じて、自然保護と環境改善を行っています」とヘーベラーさん。また、石灰石の採石場に友愛の庭を造りました。「いつか、この州の観光スポットになればと思っています」

会員は熱心に、楽しみながら活動しています。「会員の負担にならないよう、例会があまりまじめにならないように気をつけているんです。規則や規定を守りながら、活気がある面白い例会になるようにしています」とヘーベラーさんは語ります。

—BRAD WEBBER



上から：植樹とピンクリボンシンポジウムに参加する会員

クラブが新しく生まれ変わるためのアイデアを探している人は、my.rotary.org/ja/club-flexibility をご覧ください。また、あなたのクラブはどのような革新的な取り組みを図っていますか？
hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。



今月はクロスワード。パズルは一般的な問題で、ご家族の方でも楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

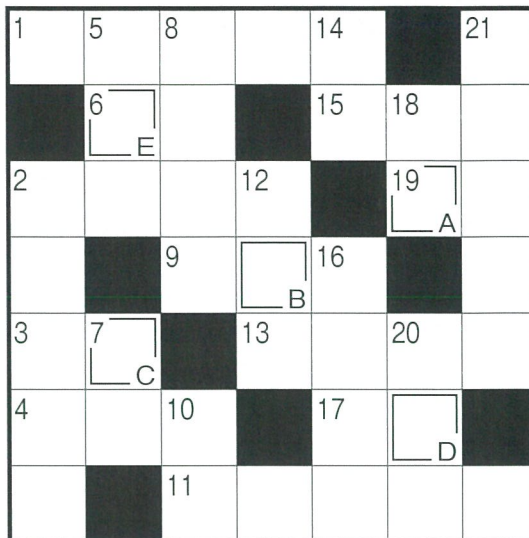
問題 二重枠に入った文字をAからEの順に並び替えてできる言葉は何でしょう？

ヨコのカギ

- 1 3月3日、桃の節句の行事
- 2 アルジェリアやナイジェリアがある大陸
- 3 ステッキやバットもこれの一種
- 4 大相撲三月場所中は大阪に結集する人たち
- 6 陽やアウトの反対
- 9 守るべきルール
- 11 小魚や牛乳に多く含まれるミネラル
- 13 手付けとして前もって支払う
- 15 フルーツがなる木々
- 17 乗車時に整理券を取る必要があることも
- 19 飲み物の容器の一種

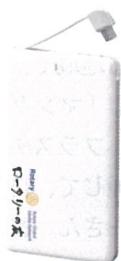
タテのカギ

- 2 薄クリーム色。英語で「象牙」の意味
- 5 フォークとセットで使ったりする
- 7 魚がエサを食べるとピクピク動く
- 8 ぎゅっと締め付ける道具
- 10 嘔吐と痛みが走るときはこのお医者さんへ
- 12 コスプレもこれの一種
- 14 スモモの木の下。冠を正さないほうがよい



答 A B C D E

- 16 鳥が物をついばむのに使う
- 18 間に何も介さない。ダイレクト
- 20 1、3、5、7、9…
- 21 今年の——の日は3月20日。これを過ぎると昼が夜より長くなる



毎月10人に
『ロータリーの友』
名前入り
「モバイルバッテリー」
をプレゼント!!



◆パズル de ロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに、①「3月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。④に関する回答は、WEB応募は下記のURL、または右の2次元コードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php

◆締め切り◆ 2020年4月10日（金）必着



●パズル de ロータリー（12月号）の答えと当選者は、横組みP47に掲載しています。

詰め将棋



出題

日本将棋連盟
伊藤 果 八段

ヒント

初手が肝心です
5手詰め 5分で2級

●詰め将棋の解答は、横組みP49に掲載しています。

（※詰め将棋にはプレゼントはありません）



『友』電子版

いつでもどこでも『ロータリーの友』

電子版 ロータリーの友

今お使いの
パソコン、スマホ、タブレットで
『ロータリーの友』がご覧いただけます。



POINT 1 いち早く『友』が読める

毎月1日午前0時に最新号が掲載されます。例会で配布される前に内容をいち早くチェックしよう！

POINT 2 雑誌がお手元になくても大丈夫

最新版だけでなくバックナンバー(2014年1月号～)も閲覧できます。過去の誌面を確認したい時にご活用ください。

POINT 3 外出先での空き時間を活用

スマートフォン(iPhone, Android)、タブレット(iPad, Android, Surfaceなど)で読めるので、雑誌を持ち歩かなくてもOK。

■ 電子版へのアクセス方法

①『友』のウェブサイトへアクセスします

<https://www.rotary-no-tomo.jp/digital/>
または、右の2次元コードを読み取ってアクセスします。

ロータリーの友



検索



②IDとパスワードを入力します

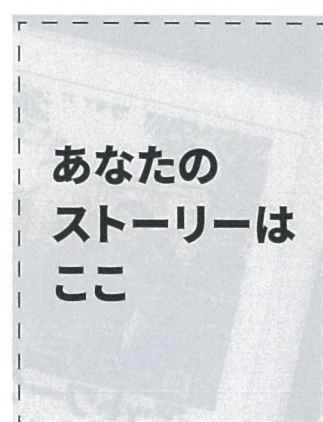
IDとパスワードはクラブ事務局にお知らせしています。



←スマホはこちらから

③電子版画面を開く

「閲覧する」のリンクをクリックすると別画面が開き、誌面を読むことができます。「発行年月」を選択するとバックナンバーがご覧いただけます。



クラブのこと、ロータリーが世界で行っていることを、地域の人に知ってもらおう

ロータリーでは、私たちが「**世界を変える行動人 (People of Action)**」であることを世界に広めるキャンペーンを展開しています。多くのクラブがこのキャンペーンに参加することによって、私たちのメッセージはより一層広まります。

ロータリーブランドリソースセンター(rotary.org/brandcenter)には、あなたのクラブのストーリーを伝えるためのツールが満載(ポスターの作り方は『友』6月号横組み P14 に掲載)。私たちのメッセージを世界に伝えていきましょう。

2020 - 21 年度R I 会長テーマは 「ロータリーは機会の扉を開く」

国際ロータリー（R I）会長エレクトのホルガー・クナーク氏（ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ所属）が、1月20日、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開催中の国際協議会で講演、ガバナーエレクトに向けて2020 - 21 年度R I 会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表しました。ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」であるとクナーク氏は述べました。

7月1日にR I 会長に就任するクナーク氏は、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための扉を開くのがロータリーであると力説しました。

「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている」とクナーク氏。また、「ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる」と述べます。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」

未来のための変革

クナーク氏はさらに、ロータリーの発展のために変革を受け入れるよう会員に強く促しました。会員を増やすために数字にこだわるのではなく、持続可能かつ有機的な形で成長できる方法を考えるよう求め、現在の会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることにクラブが注力すべきであると述べました。

「新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのはやめる必要があります」と述べたクナーク氏。「どの新会員も、私たちが少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらしてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学ぶことで、私たちはより強くなります」

ロータリーの行動計画はクラブの進化を導く羅針盤であると指摘したクナーク氏は、全クラブが戦略計画会議を開くことを勧めました。この会議で、5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考えるべきであると話します。

クナーク氏はまた、リーダー職にもっと多くの女性が就くこと、クラブの結成と運営にローターアクターが不可欠な役割を果たすこと、ロータリー会員であることの意味を考え直すこと、若い人たちに新クラブの設計者になってもらうことを提唱しました。

「新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解決策の一部にすぎません」とクナーク氏。「自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものかを、ローターアクターたち自身に決めてもらおうではありませんか。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです」

ロータリーの会員が変化を受け入れることの必要性を強調した上で、「時間は私たちのためにスローダウンしてくれない」とクナーク氏は訴えます。「私たちは急速な変化に負けません。この機会を捉えてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観に寄り沿ったロータリーとなるのです」

-Ryan Hyland

※国際協議会での主なスピーチ(PDF)は、R I のウェブサイトからダウンロードできます。

今後のR I 国際大会

2020年6月6～10日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

(以下予定)

2021年6月12～16日

台湾・台北

2022年6月4～8日

アメリカ・テキサス州ヒューストン

統計

全世界ロータリアン総数

1,204,996 人

クラブ数 35,907 クラブ

地区数 525 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 168,960 人

クラブ数 10,192 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 321,172 人

クラブ数 13,964 クラブ

国と地域 150 以上

2020年1月15日現在





ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

2019-20 年度ロータリー財団管理委員長

ゲイリー C.K. ホアン

RI 指定記事

国際大会へのカウントダウン おいしいツアーはいかが

かつて、「パイナップルと言えばハワイ」でした。一時期は世界のパイナップルの缶詰の80%以上がハワイ産ということもありました。ハワイ州最後のパイナップルの缶詰工場は2007年に閉鎖され、広大なパイナップル園は、大半が他のさまざまな農産物の栽培に変わりましたが、6月6～10日に国際大会でホノルルを訪れる際には、ぜひこのトロピカルフルーツ、パイナップルを味わってください。

ドールプランテーションではパイナップルトレインツアーでパイナップルの歴史と植物学的知識が学べます。例えば、パイナップルは小さな果実の集合体だということをご存じでしょうか。またツアーでは、ハワイのパイナップル産業を興したジェームス・ドールの歴史をひもときます。

プランテーションガーデンツアーでは、コーヒーやカカオ、レイによく使われる花（プルメリアやピカケ、プアケニケニ）の栽培方法を見学することができます。家族連れで国際大会に参加される場合は、約1万2000㎡の敷地に全長4kmの通路を設置したパイナップルガーデンの迷路が、お子さんに大人気です。無事に迷路を脱出したら、プランテーショングリルでパイナップル味のソフトクリーム、Dole Whip（ドールホイップ）を試されてはいかがでしょうか。 —HANK SARTIN

HONOLULU
HAWAII 2020

2020年ハワイ国際大会の
参加登録はこちら riconvention.org

ニーハオ、ロータリアンの皆さま。

私はよくロータリーの行事で孔子の言葉を引用します。それは孔子の考えはロータリーの考えと似通うところが多くあるからです。孔子が生きていればきっと偉大なロータリアンになったことでしょう。例えば、こんな金言があります。「子曰わく、徳の修まらざる、学の講ぜざる、義を聞き^うて徒^{あた}る能わざる、不善の改むる能わざる、是れ吾が憂いなり」

ポジティブな言い方に直せば、新しいロータリーの行動計画の一つ目の項目とそっくりそのままです。ロータリーがより大きなインパクトをもたらすことについて語る場合、人間関係に投資し、根拠ある決定を下し、問題解決策を生み出すためにリソースを活用し、常に経験から学ぶことを意味します。

ロータリー財団はこのことにたけており、行動計画を実行していく中で、より良い世界への投資として今後も最善の選択肢であり続けます。グローバル補助金は、地域社会が抱える真のニーズに応えます。それは、徹底した地域調査を行った上で承認されるものだからです。プロジェクトは、地域調査で判明した情報に基づいて立案されます。

財団は「大規模プログラム補助金」を通じて、これまで以上に大きな規模で変化をもたらします。大規模プログラム補助金は、地域が特定したニーズに応えることを目的とする、競争制の補助金です。大規模プログラムは広い地域で多くの人々に恩恵をもたらします。持続可能で証拠に裏付けられた介入を行い、測定できる成果と影響を生み出します。補助金はロータリーの重点分野の1つ以上に当てはまる活動を、3～5年にわたって支援します。

大規模プログラムはポリオ根絶活動における私たちの経験を踏まえていますが、ポリオを根絶させるにはまだ重要な仕事が残っていることを忘れてはなりません。11月にパキスタンを訪れた際には、数多くの若いロータリーリーダーがポリオ根絶のために尽力しているのを目にして感動を覚えました。

グローバル補助金は世界に素晴らしい変化をもたらしており、ロータリーの行動計画はこれまで以上の成果を生み出すことに役立つでしょう。今後も徳を修め、学を講じ、義を聞きて従り、不善を改めていきましょう。

Gary C.K. Huang
財団管理委員長



地区別クラブ数・会員数一覧表

(2019年12月末現在)

地区	R C 数	会員数	18年12月末 会員数
第2500地区	67	2,286	2,296
第2510地区	70	2,631	2,627
第2520地区	78	2,251	2,265
第2530地区	65	2,328	2,372
第2540地区	42	1,154	1,141
第2550地区	49	1,758	1,776
第2560地区	56	2,110	2,109
第2800地区	49	1,594	1,601
第2830地区	41	1,171	1,197
第2570地区	50	1,616	1,639
第2580地区	70	3,005	3,050
第2590地区	55	2,022	2,049
第2600地区	54	1,986	1,978
第2610地区	64	2,655	2,678
第2620地区	79	2,990	3,026
第2750地区	98	4,787	4,782
第2760地区	85	4,899	4,904
第2770地区	74	2,541	2,608
第2780地区	68	2,380	2,418
第2790地区	82	2,814	2,872
第2820地区	56	2,009	1,956
第2840地区	45	2,118	2,131
第2630地区	75	3,246	3,203
第2640地区	68	1,841	1,852
第2650地区	96	4,632	4,617
第2660地区	80	3,661	3,647
第2670地区	74	3,058	3,084
第2680地区	71	2,764	2,772
第2690地区	66	3,079	3,075
第2700地区	61	3,245	3,253
第2710地区	73	3,320	3,341
第2720地区	75	2,463	2,495
第2730地区	67	2,438	2,414
第2740地区	56	2,227	2,242
34地区合計	2,259	89,079	89,470

日本のロータリー

会員概数 88,810 人

クラブ数 2,250

(左の表中 34 地区合計から、
第 2750 地区の P B グループ
を引いた数です)

ガバナー月信より 2750 ク
ラブ数・会員数は、P B グ
ループ 9 R C 269 人 (北マ
リアナ諸島・グアム・ミク
ロネシア・パラオ)を含みます。
P 6「日本のロータリー」数は
34 地区合計から P B グル
ープを引いた数。18 年 9 月末
P B グループ 9 R C 会員数
266 人。

地区会員数修正 本誌 2 月
号横組み P 43 (11 月分月末)
表中、2750・4,859 人、34
地区合計会員数：89,851 人、
表外と P 6「日本のロータ
リー」最終行会員数 89,577
人。

ご案内 左記一覧表は、3
つのゾーン順で色分けしてあ
ります。表中の左端の色と、
横組み P 46 奥付の日本ロー
タリー分布図の色を対照し、
ご覧ください。

*友ウェブサイトの「ロータ
リー資料館」にデータ修正後
の表を掲載しています。

ロータリーの友 
Home Page www.rotary-no-tomo.jp

ロータリー衛星クラブ

高田さくら (2560・新潟県)

スポンサークラブ 高田

2020 年 1 月 8 日認可 会員数：13 人

例会場：高田 R C 事務所

事務所：〒943-0834 上越市西城町

2-10-25 大島ビル 201 号室

議長：西山要耕 幹事：庄山武志

新インターアクトクラブ

A S I J (2750・東京都)

提唱クラブ 東京米山友愛

結成：2019 年 10 月 24 日

*A S I J = American School in Japan

大成中学・高等学校 (2760・愛知県)

提唱クラブ 一宮・一宮中央・一宮北・

尾西

結成：2019 年 11 月 7 日

甲南高等学校中学校 (2680・兵庫県)

提唱クラブ 芦屋

結成：2019 年 11 月 1 日

インターアクト終結

富士見丘中学・高等学校 (2750・東京都)

提唱クラブ 東京西

結成：2019 年 12 月 5 日

2020 - 21 年度版 ロータリー手帳ご予約受付中

本体スタイルはそのままに、「ロー
タリー関連資料」など内容を更新。詳
細は 2 月 1 日付でロータリークラブ
にお送りしたご案内状をご覧ください。
お申込みは友ウェブサイト、メー
ル、F A X で承っております。

定価 600 円 + 消費税 (送料別)

◆訂正 本誌 2 月号縦組み P 16「私
の宝物」のお名前を平山秀樹様へ、お
わびとともに訂正します。

ロータリーの友

4 月号主要記事予定

横組み 母子の健康月間

特集 家族をロータリーに巻き込む

縦組み 21 世紀の子育て

玉川大学教育学部乳幼児発達学部教授 大豆生田啓友

この人訪ねて 坂本精志さん (名古屋東 R C)

Rotary



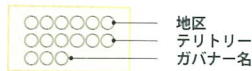
ご投稿・お問い合わせは —

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

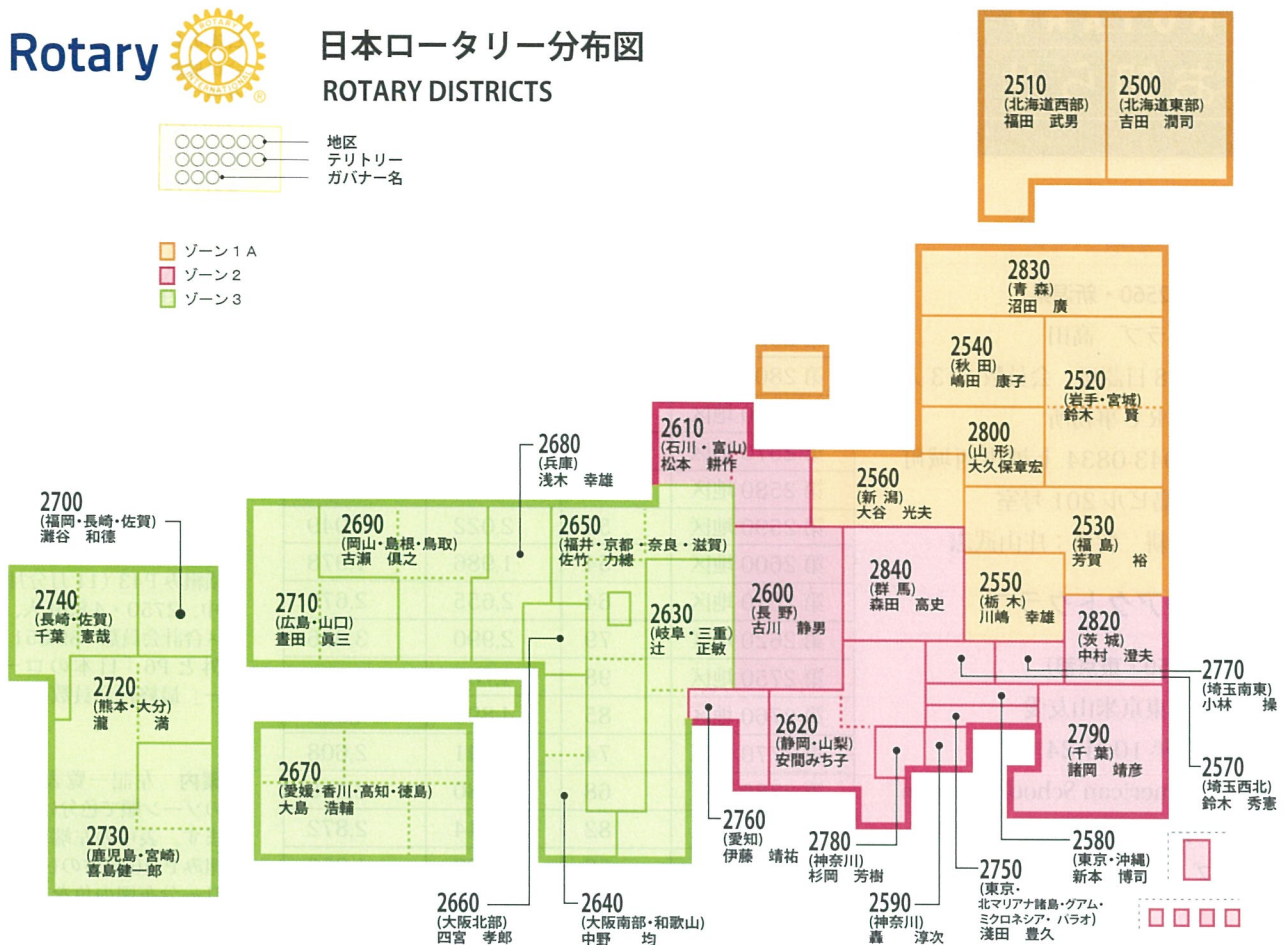
一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp



ゾーン 1 A
ゾーン 2
ゾーン 3



ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第68巻 3月号

2020年2月29日印刷 2020年3月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

社員 三木 明 (姫路)
辰野 克彦 (東京西)
新本 博司 (那覇)
浅田 豊久 (東京六本木)
轟 淳次 (川崎マリン)
四宮 孝郎 (大阪西南)

理事会

代表理事 片山 主水 (名古屋東南)
理事 鈴木 宏 (宇都宮北)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
田中 義史 (盛岡)
村井総一郎 (豊橋)
榎畑 直尚 (和歌山)
野生司義光 (東京小石川)
福原 有一 (東京銀座)
横山 武志 (東京北)
恵川 一成 (大宮シティ)
羽田 伊助 (東京目黒)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)
野崎 恭子
宮嶋 康明 (新千葉)
高野伊久男 (横浜西)

監事

職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 野崎 恭子
編集 稲川 やよい
黒野 稔二
山名 愛
飯田亜由香
熊谷健太郎
管理 富澤 美子
半田 弥生

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

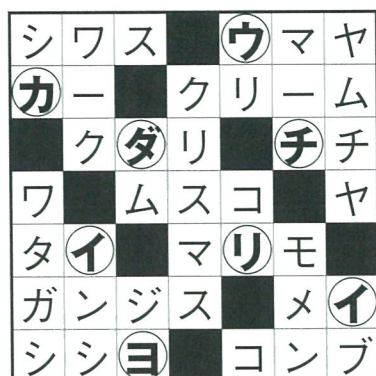
一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp
管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

「パズル de ロータリー」(12月号)の答え

12月号の答え「カイチョウダイリ」

答えは「会長代理」です。年に1度の地区大会には、国際ロータリー(RI)会長が任命する会長代理が出席することがあります。

会長代理は、その行動、品格、その他ロータリーに関わることに於いて、RI会長と同様の責務を負うとされます。大会で全プログラムに出席し、歓迎会が催されます。基調講演ではRIテーマに準じたスピーチや、ロータリーの最新状況について報告します。



大会後は、特に印象に残った講演者など、良かった点などを報告書にまとめ、RI本部に提出します。

その他、地区大会ではエイドと呼ばれる会長代理の補佐役の存在も重要です。大会の準備期間中の情報提供に始まり、会場までの送迎、ステージへの案内などの役割を担います。エイドはガバナーが任命し、会長代理の務めが滞りなく遂行できるようにサポートを行います。

今年度も地区大会が順次開催されています。会長代理の言葉に耳を傾けることに加え、エイドをはじめ、裏方を務めるホスト、コ・ホストクラブの皆さんの活躍にも思いをはせてみてください。

応募総数 230人 正解者 225人

当選者(敬称略・順不同)／近藤博貴(成田RC)、原敏之(川崎幸RC)、横山省三(壱岐RC)、泉亭俊徳(当別RC)、馬詰政美(津名RC)、奥田昌義(東大阪RC)、大澤力(新潟西RC)、古閑宏(阿蘇RC)、牧野敬充(名古屋宮の杜RC)、龍雅博(戸畑東RC)

内外よろず案内

古き良き時代に製造された美しいクラシックカーが埼玉を走る ポリオ根絶チャリティークラシックカーラリー

ポリオ根絶チャリティーイベントとして、1976年以前に製造された、普段見ることがない珍しいクラシックカーが一堂に集結します。

60台のエントリー車が埼玉の自然と歴史を感じられるコースを走り、いかに指定された区間を指定された時間どおりに通過できるかを競います。

展示ではなく、実際に走っているクラシックカーを見に来ませんか？

車両のエントリー費の一部が、ポリオ根絶活動のために寄付されます。



■開催概要

名称	ポリオ根絶 チャリティークラシックカーラリー
日程	2020年3月21日(土) 8時30分より順次スタート
スタート 地点	武蔵國一之宮氷川神社境内 さいたま市大宮区高鼻町1-407
コース	さいたま市、秩父市、川越市、都幾川町
見どころ	氷川神社の三の鳥居をくぐってスタートします。ゴール地点のソニックシティ前の鐘塚公園では大宮RCがイベントを開催しています。
参加台数	60台
協力	第2770地区、第2570地区、大宮RC、秩父RC、川越RC

◇お問い合わせ

ポリオ根絶チャリティークラシックカーラリー
実行委員会委員長 橋本和久(大宮RC)
携帯: 090-3108-6399
ウェブサイト: endpolio-rally.jp

ロータリアン展(絵画・写真)出品者募集

第2590地区ロータリアンの
美術親睦活動グループ

横浜で行われるロータリアンによる絵画グループ展「ロータリアン展」へ出品、参加しませんか？

今年で58回目。前回から地区の枠を超え、全国の作品を発表する場として開催しています。

出品内容は、絵画(油彩・水彩・版画)と写真など、日頃の趣味の発表の場として出品してください。皆さまの奮っての出展をお待ちしています。オープニングパーティーでは、地区音楽同好会の協力によりサロンコンサート(弦楽四重奏)を予定しています。

■開催概要

日程	2020年4月10日(金)～15日(水)
会場	ギャラリー・パリ 神奈川県横浜市中区日本大通14 KN日本大通ビル1F
出展数	F20号基準で2～3点まで
出品料	2万円 小品(F4以下)の場合1万円(2点まで)

◇出品の詳細についてのお問い合わせ先
第2590地区ロータリアンの美術親睦活動グループ
E-mail: t@igaprint.co.jp FAX: 045-353-0088
五十嵐正(横浜旭RC) 携帯: 080-3271-0011
締め切り 3月10日(火)

奉仕活動の現場の声を聞こう タイ・アカ族を支援する原田義之氏 講演会

タイ・チェンライRCの原田義之会員は、タイ北部の少数民族(アカ族)が公用語のタイ語を理解できず貧しい生活を強いられている実態を知り、識字率向上や、就学支援の活動を約12年間にわたって続けています。原田氏が活動を始めたきっかけ、アカ族に寄せる熱い思いを語ります。今回は、石川県加賀市で開催。

翌日には地元ロータリアンによる、金沢の街「ひ

がし茶屋町」散策に。「加賀の美食と美酒」で豪華昼食のオプションツアーも準備しています。

■開催概要

名称	第12回「輝く瞳に会いに行こう」 全国大会IN加賀
日程	2020年5月9日(土) 受付16:00～
会場	ホテル アローレ 石川県加賀市柴山町5番地1
内容	講演会: 17:00～(原田義之氏) 懇親会: 18:00～
登録料	1万3,000円(講演、懇親会費含む)
締め切り	4月30日(木)

◇申し込みお問い合わせ(加賀白山RC)
TEL: 0761-73-5222 FAX: 0761-73-5221
E-mail: hakusanr@po.incl.ne.jp
www.rotary2610.jp/kaga-hakusan/club/outline.html



タイ北部での活動を記した
『続・輝く瞳に会いに行こう』
原田義之 著

全国11のロータリークラブによる「全国被災地こどもDAGASHIリレー」

3月12日の「だがしの日」に合わせ、東京・上野動物園において、子どもたちを駄菓子で笑顔にするイベントを開催します。また、この日に先立って北は3月7日の北海道厚真町、南は3月6日の熊本県益城町を皮切りに、全国11のロータリークラブが協力し計8カ所の被災地を「駄菓子と笑顔」のバトンリレーでつなぐ予定です。最終地となる上野動物園では復興点火式も。ぜひ、遊びに来てください。なお12日7時30分頃から日本テレビ系列の情報番組ZIP!でイベント告知が放送予定です。

■開催概要

名称	だがしとえがおのこうかん UENO ZOO
日程	2020年3月12日(木) 11時～16時
会場	上野動物園内および表門正面広場
内容	駄菓子配布、スタンプラリー、キャラクター相撲大会、紙芝居など
主催	岡山南RC (一社)DAGASHIで世界を笑顔にする会
共催	東京上野RC、東京浅草中央RCほか

◇お問い合わせ(岡山南RC)
E-mail: okayama-south-rc@po.harenet.ne.jp

◆ P40 詰め将棋の答え ◆

▲ 1 四金△同角▲ 1 二飛△同玉▲
2 二角成、まで 5 手詰め。

この問題に関するお問い合わせは、往復はがきに、お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-39-9 (公社) 日本将棋連盟普及課ロータリーの友詰め将棋係までお送りください。

4	3	2	1	
				一
		馬	王	二
				三
		香	馬	四
	歩		歩	五

【持駒】なし

◆ 解説 ◆

初手▲ 1 二飛は△ 2 四玉で失敗です。また▲ 2 三金からの精算も逃がします。▲ 1 四金捨てが好打です。3 手目に 1 二飛が鋭く決まります。

表紙について



■横組みの表紙

「水音」

イラストレーター 佐久間真人

作者コメント

流れに逆らうもの、流れに身をまかせるもの。
どちらが長くここにとどまるかは分からない。
境界の上で昨日と明日を思う。

■縦組みの表紙

「東ヶ崎潔」

イラストレーター 後藤 文彦



1968 - 69 年度、国籍はアメリカながら、日本人として初めての国際ロータリー (R I) の会長です。テーマは「参加し敢行しよう! (PARTICIPATE!)」。

1895 年、移民として渡米した父の長男として、サンフランシスコに生まれました。愛称はジョージ。カリフォルニア大学バークレー校に進みましたが、在学中に第 1 次世界大戦が始まり、アメ

リカ人として従軍しています。

卒業後は貿易商の父の仕事を継ぐ中、1924 年、日米の行き来に障害となる移民法がアメリカで施行され、32 年にはさらに大不況が深刻化、ジョージは東京で生きていくことを決意。第 2 次世界大戦の間は、ジャパ・タイムズの編集局長を務めています。

41 年、軍部により日本のロータリーは解散を命じられましたが、東京 R C は「水曜会」と名を変え活動を続けました。ジョージはこの水曜会に入会します。「厳しい食糧配給下、会員は弁当持ち寄りで、例会を続けたものですよ」と、のちに当時を回顧しています。

戦後の 49 年、日本のロータリー

は R I に復帰し、ジョージは東京 R C 会員としてスタート。1957 - 58 年度第 355 地区ガバナーに、1963 - 64 年度に R I 理事に、そして 1968 - 69 年度 R I 会長に就任となるのです。教育を重んじ、国際基督教大学 (ICU) の創立者の一人でもあります。

生涯、日米の橋渡し役として生きた彼は 1992 年 2 月 6 日逝去。96 歳の長寿を全うしました。



東ヶ崎潔 (1895 - 1992)

ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定



私の一冊 ★

会員おすすめの本(入手可能な市販書籍)を紹介。書籍名、作者名、出版社、発行年と推薦文(320字以内)。

声 ★★

『友』誌についての感想・意見を200字以内で紹介。対象記事名を明記。発行月翌月の10日締め切り。

友愛の広場 ★★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

私の宝物 ★★

ペット、思い出の品、コレクション、家族などの宝物を紹介。50～100字以内の説明文と、宝物の写真。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

1カ月に1人はがき1枚に3句(首)まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。選者の方のご都合もあり、メール投稿はお受けできません。

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。写真(集合・記念写真不可)と150字程度の説明文。必ず活動日を入れ、活動後1カ月以内にご投稿ください。

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

内容は写真編と同じ。600字以内の原稿と関連写真を。

内外よろず案内

会員間の趣味の交換、催し物の案内など。200字以内。

パズル de ロータリー ★★

3種類のパズル(クロスワード、数独、シークワーズ)を毎号順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の10日。

★…友ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可

★★…友ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

侃侃諤諤しませんか！ 原稿募集

あなたのクラブの
例会自慢は何ですか？

締切：3月19日

かん かん がく がく ● kan kan gaku gaku



あるテーマを基にご意見を交換するコーナーです(掲載は不定期)。「他クラブはどうしているんだろう」「これって、ロータリーの常識なの？」といった素朴な疑問を、いま一度「侃侃諤諤(遠慮することなく議論)」しませんか？

テーマ	「あなたのクラブの例会自慢は何ですか？」。食事がおいしい、伝統と格式あるホテルが会場、卓話者の人選が素晴らしい、アットホームな雰囲気が魅力で、そのために△×な工夫をしている、などなど。皆さんのクラブの例会には、会員たちを出席したいと思わせる、どのような自慢(工夫)がありますか？また、「(実際には行っていないけど)例会のここが変われば(自慢できるようになれば)もっと良くなるのに……」といったご提案についても、お聞かせください。ご投稿をお待ちしています。
原稿	600字以内
投稿者情報	クラブ名、お名前、日中連絡可能なご連絡先(メール、電話番号)をお書き添えください。
締切	3月19日(6月号以降掲載予定)

送
り
先

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



声

12月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

【対象記事】

特集・元気にR活を続けよう! (横P 75~15)

【感想】 がんで亡くなったたり、抗がん剤治療をしている人が身近に結構いるので、「新12か条」を心掛け、がん検診をしなくてはと思いました。

鳥羽RC 池田 長示

【対象記事】

特集・元気にR活を続けよう! ◇札幌北RC・小林博氏の「子どもたちが創る健康的な未来」(横P 125~13)

【感想】 成人のがん予防から始め、スリランカで20年間も疾病予防の活動を続け、成果を上げたことに感銘を受けた。しかも「やる気基金」なるものをつくり、子どもたちの行動から大人たちに変化をもたらした。発想の転換で成果を導き出したことは、素晴らしい一語に尽きる。

東京保谷RC 田中 界治

【対象記事】

ノーベル平和賞受賞者 デニ・ムクウェゲ (横P 165~21)

【感想】 コンゴで今も続いている非人道的な危機の状況を、改めて認識しました。社会的、道徳的、倫理的な責任を皆が果たさなければならぬという氏の言葉に、ロータリーへの期待とともに行動することが強く求められていると感じました。

川崎RC 中山 紳一

【対象記事】

ロータリーからのプレゼント◇広島西南RCの「子ども食堂の設備」(横P 22)

【感想】 掲載写真の子どもの表情がうれしそうで、こちらもうれしくなりました。

柏崎RC 田辺 忠弘

【対象記事】

エバンストン便り◇国際大会へのカウントダウン (横P 44)

【感想】 毎回楽しみます。国際大会への初参加が楽しみです!

多久RC 陣内 弘子

【対象記事】

縦組み表紙◇福島喜三次 (縦P 1、横P 48)

【感想】 偉大な先輩が、当地・佐賀県出身とは。私たちがこうして今も意義ある活動ができるのも、先輩たちのおかげです。誠実に「利他即自利」の推進を心掛けたいと思います。

鹿島RC 山下 義則

【対象記事】

スピーチ◇東京大学医学研究所附属病院病院長・教授・東條有伸氏の「AIと先端医療」(縦P 45~8)

【感想】 人とAIが補完しながら診断することで、正確で素早い診断が可能になるということ、AI診断が主流になるとしても最終責任は人が負うという方向性は、AI活用の理想的な事例になるように思いました。AIを活用しても、最終責任は人が負うという感覚は、労働者を監督して最終責任をマネージャーが負うという経営者感覚にも似ています。短絡的かもしれませんが、AIが発達した未来において、人はマネジメント能力を磨くことが大事になっているように感じます。

高畠RC 梅津陽一郎

【対象記事】

この人 訪ねて◇博多イブニングRC・小山田浩定さん (縦P 95~12)

【感想】 会社の在り方の見本となるような考えが示されており、とても共感しました。

東京町田・中RC 後藤 雄二

【対象記事】

この人 訪ねて◇博多イブニングRC・小山田浩定さん (縦P 95~12)

【感想】 ロータリーには言葉や行動、考えをまねたいと思う会員が多くいます。毎月紹介される人たちの言動が揺るぎない信念に支えられていることに加え、表情が穏やかなことに驚いています。

佐伯RC 亀川 隆久

【対象記事】

「友愛の広場」◇福井西RC・中村敏雄氏の「ロータリーの将来は?」(縦P 135~14)

【感想】 最近の規定審議会での決定には、疑義を感じるものが多くあります。時代の変化に対応するためとは思いますが、受け入れられないものが多いです。

成田RC 近藤 博貴

●本文200字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」)、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または「友」ウェブサイト!



坂本龍馬の誕生祭を前に清掃活動

坂本龍馬生誕記念碑の清掃活動

高知中央ロータリークラブ
第2670地区・高知県

11月14日、当クラブ会員20人で郷土の英雄・坂本龍馬の誕生祭に合わせ、記念碑の清掃活動を行いました。

インターアクトたちにも手伝ってもらっています。

今年度は11月14日に全5回が無事終了し、多くの児童たちに喜んでもらい、先生たちからも感謝の言葉をいただきました。青少年奉仕の喜びを大いに感じることができたこのイベントを、今後も4クラブで協力して続けていきたいと思います。

(田沼RC 蓮見哲平・記)

幕末の志士・坂本龍馬は天保6(1835)年11月15日、現在の高知市上町の生まれで、命日も慶応3(1867)年の同じ日です。毎年11月15日の生誕祭には市内各地でイベントが開かれ、全国から大勢のファンが高知を訪れます。上町住民が生誕祭にかける思いは非常に強く、深く、当クラブも「龍馬の生まれたまちのクラブ」として、地域社会への奉仕活動を行っています。

クラブではこれまでも「龍馬の生まれたまち記念館」に彼の生涯を描いた木製の展示パネルを寄贈するなど、以前から龍馬にちなんだ活動を行ってきましたが、今年度は生誕祭への参加と共に、汚れの目立つ記念碑の清掃も行うことにしました。

清掃活動の実施日に先立っては、事前に高圧洗浄機で大まかな汚れを落とし、樹木のせん定や碑文の文字塗りを行うなど、数日を要する活動となりました。14当日は会員それぞれがブラシを手に取り、汚れた部分をこすり、雑巾できれいに拭き取り、文字塗りもしました。何年ぶりかで手が加えられ、文字もくっきりと鮮やかになった記念碑は、見違えるほどきれいになりました。周辺の案内板やベンチなども丁寧に清掃し、生誕祭に多くの人が気持ちよく過ごせるよう願いました。会員一

人一人が郷土愛を感じ、龍馬さんに思いをさせる活動となりました。

(浜崎日美子・記)

地元の駅に文化財の案内板を設置

和歌山東南ロータリークラブ
第2640地区・和歌山県

2006年に経営が引き継がれ、廃線の危機から再出発した和歌山電線は、ネコの「たま駅長」就任や「たま電車」「いちご電車」といったユニークな車両、デザイナー・水戸岡鋭治氏による「うめ星電車」の導入などにより、国内外から多くの利用者が訪れるようになりました。16年には黒字化しましたが、その後は乗客減少や台風の影響もあって苦しい経営が続いてい



日本語と英語で説明した案内板

ます。地域住民の支援と、従業員の努力により利用客も安定してきてはいますが、いまだインフラを整備する段階には至っていません。

同鉄道の伊太祈曽駅構内には、国指定登録有形文化財に指定された車両検査場とプラットホームがあります。車両検査場は1916(大正5)年の開業時に建造された木造平屋建て、長さ51・6m、幅7・6mあり、屋根は28連の木造トラス(複数の三角形による骨組み構造)で支えられています。床には検査用のビットが2本並行して掘られ、現在も電車の検査と修理が行われています。

プラットホームは開業当時の石積み姿をよく残しており、ホーム上には中古レールを骨組みにして建てられた上屋があります。これら貴重な文化財を、来訪者に分かりやすく紹介するため、当クラブではその案内板を制作、11月3日に寄贈しました。

案内板には写真に加え、日本語と英語の説明文を入れました。架台部分などはステンレス製で、子どもでも見やすいようにスタンドの高さを抑えたデザインにしています。和歌山に来る機会がありましたら、貴重な文化財と共に、ぜひ寄贈した案内板をご覧くださいと思います。

(市川正夫・記)

ROTARY AT WORK

運営方針の一つ「ロータリーを成長させる。奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させる」のうち、「さまざまな例会や奉仕活動の経験ができる新しいタイプのクラブ運営」を具現化した事業だと考えます。

青少年奉仕の立場からは健全育成、社会奉仕の立場からは今までに地域になかった大会を、この思いで実施しました。そして、対外試合がしたいというニーズと、大会の開催を希望するニーズとをロータリーがつなぐことで実現した大会です。また、参加チームはSNS（会員制交流サイト）などで募集し、対戦相手を決める抽選会をネット配信するなど工夫を重ねました。優勝カップや盾、メダルには全てロータリーのロゴを刻印しました。計189人の選手をはじめ、保護者など650人を超える人々が集い、ロータリーにとっては最高のイメージアップにつながったと思っています。

（服部融亮・記）

こどもたちの夢を未来につなぐ

瀬戸ロータリークラブ

第2760地区・愛知県

瀬戸市は市内在住・在学の高校生、専門学校生、大学生を対象に、「コン



表彰式に合わせ、パネルトークも実施

ピューターグラフィックス（CG）のプログラミング講座を開いています。なぜ瀬戸で？と疑問を持つ人もいることでしょう。当地は「せともの」の町として1000年以上の歴史があり、陶磁器産業で昭和期の瀬戸を支えたのはノベルティ人形（陶磁器製の人形）の製造であり、その職人たちでした。デッサン、造形を基礎として、粘土を張り付けて原型を造り、作品を仕上げていく工程は、現代の映像産業に欠かせないCGの制作過程そのものなのだそうです。

クラブは今年度、創立60周年記念事業として、その作品発表の場として、また、さらに制作意欲を高めてもらおうと、プログラミング講座参加者を対象に「Rotary Youth Computer Graphics Award」を創設。11月16日

には「こどもたちの夢を未来につなぐ」と題して表彰式を開くと同時に、講演会などを実施しました。

特別ゲストには、「巨人の星」の星飛雄馬役、「機動戦士ガンダム」の阿姆ロ・レイ役、近年では「名探偵コナン」の安室徹役で有名な声優・古谷徹氏を招き、パネルトークをしていただきました。

当日は一般観覧者を含め来場者300人以上がCGの世界に触れ、学生生徒たちの作品の完成度、技術力の高さに目を見張ることになりました。また、地域への奉仕活動としての企画でしたが、ロータリークラブが行政や企業、学校、学生生徒を「つなぐ」結果ともなりました。今後も継続事業としてCGプログラマーの育成支援を通じて、「CONNECT」していきます。

（刑部祐介・記）

地元の特別支援学級児に紙すき体験を

葛生ロータリークラブ

佐野ロータリークラブ

佐野東ロータリークラブ

田沼ロータリークラブ

第2550地区・栃木県

佐野RCの発案で、1973年から



紙すきに挑戦する子どもたち

毎年、佐野市内の特別支援学級の児童生徒を対象に、地域の伝統や文化、自然に親しんでもらおうと、「秋の自然に親しむ会」を開催しています。

47回を迎えたこの会は、当初は生徒と教員合わせて80人ほどの参加者でしたが、回を重ねるごとに参加者も増加。84年からは地区内の葛生RC、佐野東RC、田沼RCの3クラブも加わり、内容もブドウ狩り、リング狩りや栗拾い、ハイキングを行うなど多岐にわたリ、ここ数年は地元の飛駒和紙会館で紙すき体験を行っています。

参加者も市内25の小中学校に通う児童生徒300人、引率教諭100人を超える規模になったため、日程を5つに分けて各クラブで分担し、佐野日本大学高校さくらインターアクトクラブ（IAC）と青藍泰斗高校IACの

にある公園の清掃活動を計画しました。ところが、管理者の同市に意向を伝えたところ、利用者のモラルが良く、ごみはほとんどないとのこと。急きょ園内の木製ベンチの塗装へと計画を変更しました。

10月14日、参加した全会員がはげなご持ったことがない初心者ばかりでしたが、作業を進めていくうちに少しずつ塗り方も上達。きれいになっていくベンチを見て、楽しく、充実感も得られ、作業を終了しました。しかし、半分以上のベンチの塗装を残す結果に。すると、「せっかくだから全部塗ろう」との言葉が会員から出ました。

日を改め、11月4日に、初心者塗装クラブの活動再開です。前回とは違って手慣れた様子で、大きな面をローラーで塗る人、細かな部分は小さな



公園内のベンチを全て塗装

けで塗る人と役割を設けてどんどん塗っていききました。2日間をかけて、無事全てのベンチが見違えるほどきれいになりました。

公園で走り回る子どもたちが、これからはますます元気に成長し、それを見守る公園が、これからは和みの場所であってほしいと思いました。

(前川原亨・記)

芋掘りを終えて

大分1985ロータリークラブ

第2720地区・大分県

当クラブは少人数ながら、体を使い、コツコツと長く続けられる青少年奉仕活動に力を入れている。今年度も11月3日に地区補助金を活用して芋掘りを行った。児童福祉施設の子どもたち(小



芋掘りを楽しむ参加者たち

学生)と当地区の米山奨学生、地元の大学の留学生、ロータリアンとその家族との交流を目的に企画したものだ。交流を重ねることで育った環境や文化の違いを知り、自分の中の世界観を広げてほしいという思いがあった。

5月に植えたサツマイモは半年で大きく育ち、掘るたびに大きな芋が出てきて、喜びでテンションが上がる。土まみれになって大量に収穫した後はみんな調理。焼き芋をはじめ、豚汁、おにぎり、生春巻き、サラダとデザート。子どもや留学生が初めて作るおにぎりはいろいろな形に。確かに、必ずしも三角や俵形にする必要はなく、丸形やひし形、ダイヤモンド形……と、発想力が形となって現れた。

風も心地よい秋晴れの下、広い畑のど真ん中で自分たちが掘った芋を使ってお作ったおいしいご飯は、みんなを笑顔にさせた。別れ際、子ども2人が留学生に抱きついて泣きだした。国籍の壁を超え、子どもは素直な心で寄り添ってくれる人を見極める。「国際交流ってこうあるべきだ」と、大人の自分たちが学んだ瞬間だった。それはチャレンジしてみても良かったと思える瞬間でもあった。これからもこうした奉仕活動に細く長く携わっていききたいと思う。

(橋本亜紀子・記)

第1回飯能RC U-10サッカー大会

飯能ロータリークラブ
第2570地区・埼玉県

11月9日、飯能ロータリークラブ(RC)創立55周年記念事業として、地区補助金を活用し「第1回飯能RC U-10サッカー大会」を開催。青少年の健全育成を目的に、クラブ独自の事業として、飯能市や市教育委員会などの後援を得て実施に至りました。

参加チームを募集したところ、市内外から16チームの申し込みがあり、異なる地域の同年代の子どもたちが、サッカーを通じて交流する機会を設けることができました。

今大会は、鈴木秀憲ガバナアの地区



白熱した試合が続いた大会

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK 文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内。字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

未来への懸け橋
カロムでつなぐ日越交流

彦根ロータリークラブ
第2650地区・滋賀県

当クラブは今年度、クラブ社会奉仕委員会と国際奉仕委員会の合同で、日本とベトナムの子どものための交流事業を行いました。

まずは、9月下旬に地元の彦根市城東小学校の5年生の授業でベトナム講座を実施。滋賀大学に通うベトナム人留学生2人と当クラブがお世話するベトナム出身の米山奨学生グエン・クオ・バオさんも参加し、ベトナムの遊び「ダーカウ」と「バンブーダンス」などを、子どもたちに体験してもらいました。

後日、講座を受けた児童に、彦根に残るボードゲーム「カロム」に、絵を描いてもらいました。彦根城やご当地



カロムを楽しむベトナムの児童たち

キャラクターの「ひこにゃん」、富士山や桜の花にベトナムのハロン湾やハスの花を描いた子ども。完成後にお披露出し、実際に遊んでもらいました。

続いて11月25日、本庄秀樹会長を团长とする6人でベトナム・ソクチャン省の小学校を訪れました。校長先生や180人の児童に迎えられ、ダンスや歌の歓迎を受け、彦根市長からのメッセージや手土産とともに持参したカロムを手渡しました。

カロムの遊び方を説明し、実際に楽しんでもらいました。同時にスカイプ（インターネット電話）で彦根市城東小学校の児童とつなぎ、さまざまな質問を交換しつつ交流を深めました。ベトナムの児童からの歓迎は盛大で、会員はサイン攻めに合うという、うれし

今回は会員と留学生、両国の小学生の相互理解を深めるよい機会になりました。大手新聞各社、テレビニュースでも取り上げられ、大きな反響がありました。まさしく「カロム交流、海越えて」となりました。

（上田勝之・記）

フィリピンの小学校に
清潔な水環境を

大東ロータリークラブ
第2660地区・大阪府

国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の一助となるべく、当クラブはNPO法人の国境なき奉仕団と（公社）日本青年会議所と連携し、フィリピン・マニラ市のピネダ小学校で「SMILE by WATER」プロジェクトを実施。「安全で清潔な飲料水の持続的確保」と「感染症予防のための清潔な水洗トイレのインフラ整備」に向けた事業を行いました。

ピネダ小学校には約1600人の児童が通っていますが、6階建ての校舎全フロアには飲料水が供給されていませんでした。今回は地下水をくみ上げるポンプ、貯水タンクと浄水設備を設置、さらに給水用の蛇口の取り付けを対象にしました。これにより、小学校が飲料用に定期購入していた水の費用



子どもたちの出迎えを受ける会員たち

が節約され、安定した飲料水の供給が可能となりました。

トイレに関しては、貯水タンクとポンプの設置により、水洗トイレとして清潔な衛生環境が整い、汚物からの感染症予防に大きな効果をもたらすことになると思います。

贈呈式は11月14日に小学校で開かれ、クラブから中野秀一会員と中野隆二会員が代表として参加しました。

（空門満也・記）

ベンチ塗装はお手のもの
急きよ変更した奉仕活動

むつ中央ロータリークラブ

第2830地区・青森県

当クラブでは今年度、少しでも地域に貢献したいとの思いから、むつ市内

ROTARY AT WORK



桜の苗木を植樹
 〈木更津東RC／木更津総合高校1AC〉
 木更津市の太田山公園は緑豊かで桜のきれいな公園として市民に親しまれているが、近年桜が老木になった感があつた。そこで、地区補助金事業として、カワツザクラの苗木5本を寄贈し、インターアクターと共に植樹。地元の新聞社の取材を受けた。植樹した苗木はたくさん花芽を蓄えており、開花後に市民が大いに楽しんでくれることを願った。
 (11月13日 第2790地区 千葉県)



**20年間の懸け橋
 ネグロス島を訪ねて**
 〈小矢部中RC〉
 フィリピン・ネグロス島の貧しくて学校に通えない子どもたちのため、里親として1999年から5人、さらに2009年から5人の就学を各10年間支援した。また11年からは毎年、小矢部市内の小学生から集めた中古の靴を贈っており、今回は寄贈先の一つ、メグミ学園を訪問。元氣な笑顔に触れ、児童が一生懸命練習したよさこい踊りや「ふるさと」の演奏に会員は心を打たれた。まるで宝くじに当たったように靴を喜んでくれるそうで、この事業の継続を約束。
 (11月11日 第2610地区 富山県)

日本の食文化を知る
 〈京都西北RC〉
 5回目の「わたしたち日本の食文化を知る」を天龍寺友雲庵で一般公開で、開催した。「和食文化の原点は水」をサブテーマとし、京料理なかむら6代目の中村元計氏が講演し、小川漱生天龍寺宗務総長が雲龍図を解説。その後は精進料理を食べながら秋の嵐山を楽しんだ。多くの一般市民にも好評で、大切な食について考えるよい機会となった。
 (11月13日 第2650地区 京都府)



ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。



うしくWaiワイまつりで募金活動
 〈牛久RC〉
 牛久市で毎年開催されている「第29回 うしくWaiワイまつり」で、ポリオ根絶活動のPRに加えて、風疹の予防や薬物乱用防止を図るための募金活動を行った。会場内にブースを設け、ポスターやのぼり旗を準備し、ポリオ根絶活動の説明とともに、風疹予防についての解説および薬物乱用防止のチラシを配布。3万人を超える来場者でにぎわう会場で、6万4000円の募金協力を得た。
 (11月3日 第2820地区 茨城県)

ROTARY AT WORK



国際交流クッキング

〈富士RC〉

地元の日本語学校の留学生11人を招いて日本食の料理教室を開催。会員企業のクッキングルームで、スタッフの指導のもと、かつお節と昆布からだしを取り、みそ汁を作った。さらに慣れない手つきでおにぎり作りにも挑戦。お待ちかねの試食会は大盛り上がり。インドネシア出身のダニエルさんは「将来は自分の国で和食料理店を開きたい」と意気込みを見せた。

(11月5日 第2620地区 静岡県)



被災地を忘れない。

今年も復興支援 〈寄居RC〉

埼玉県寄居町の「ふるさとの祭典市」に参加し、宮城県・女川のサンマをこんがり焼いて町民に提供。さらに女川への復興支援の募金活動も行った。寄居は昨年、町のシンボルである県立の川の博物館をはじめ台風による浸水被害に遭い、被災の大変さを実感。そのため、サンマを焼くことにも一層気合が入った。

玉県

(11月10日 第2570地区 埼玉県)



「歌・踊・奏」発表会を開催

〈河内長野東RC〉

子育て支援事業の一環として、クラブ創立35周年記念事業「第14回『歌・踊・奏』発表会」を河内長野市のラブリールホールで開催した。市内保育園や幼稚園、認定こども園など5つの園の園児による体操演技や太鼓演奏などのパフォーマンス他、台風19号による災害支援チャリティーとして地元の高校10校の生徒による音楽が披露された。

(11月16日 第2640地区 大阪府)

マラソン運営ボランティアに参加
福岡東南RC／福岡東南RAC
地域に根差した奉仕活動をしようと、市民参加型の福岡マラソンのボランティアに毎年参加している。今回もコース設営、また誘導係としてランナーの邪魔にならないよう歩行者を安全に横断させるといった役割を担った。福岡東南RACの若者と一緒にランナーに向け精いっぱい声援を送り、多くの市民とも触れ合う活動となった。

福岡県

(11月10日 第2700地区 福岡県)



ROTARY AT WORK



アジ釣りに挑戦（成田RC）
クラブの釣り同好会で、アジ釣り大会を企画。浦安市猫実（ねこざね）の沿岸から船で約1時間の川崎沖にて会員とその家族ら十数人が参加した。最高の釣り日和で、全員満足の釣果。それぞれ自宅に持ち帰った魚は、刺し身、天ぷら、塩焼きにし、家族で食事を楽しんだ。釣り同好会は年に3回ほど、東京湾周辺にて季節ごとの釣りを楽しんでいる。
（11月9日 第2790地区 千葉県）



ボルダリング体験イベントを開催
（横浜港南RC・横浜港南台RC）
プロのフリークライマーの大場美和さんをゲストに迎え、港南区制50周年ボルダリング体験会を開催した。スポーツクライミングは2020年東京オリンピックで公式追加種目に採用されており、ボルダリングはその種目の一つ。当日は1000人を超える港南区民が競技に挑戦していた。
（11月2日 第2590地区 神奈川県）

**「たのしい家族の風景」
絵画コンクールを開催**
（大和RC）
「第1回やまと児童絵画コンクール2019」の展示会と表彰式を大和市内のギャラリーで開催。家族と楽しく話しながら、夏休みの思い出の一場面を描いてもらおうと、「たのしい家族の風景」をテーマに市内の小学校に応募を呼び掛けたところ、300点以上の作品が集まった。展示会には600人以上が来場し、表彰式では、テーマである楽しい家族の記念写真を撮影する姿が見られた。
（11月17日 第2780地区 神奈川県）



座禅例会で自分と向き合う
（熊谷東RC）
斉藤勝治会長が住職を務める東光寺で座禅例会を開催した。まずは座布（座布団）への入り方、座り方といった作法を学んで、座禅開始。耳に入る音や呼吸に意識を集中することで精神を統一。静寂の中、時折警策（きょうさく）で肩を打つ音が響く。会員の住職からは「座禅により清らかな仏の姿と自分の中の仏を発見し、自己の本質そのものを探ることが出来る」との話があった。この例会は年1回実施している。
（11月13日 第2570地区 埼玉県）



ロータリー アットワーク

ROTARY AT WORK

中学生が最新ITに触れて 地域の未来を考えた

福井北ロータリークラブ
第2650地区 福井県

2012年から毎年、クラブが中心となり、福井市教育委員会と協力して「中学生サミット」を実施しています。学校相互の交流促進と、地域に対する理解を深めてもらうことが目的。毎回テーマを設定して、議論します。

今回は地区補助金を活用して、12月24日に「自分たちが創り出したい福井の未来」をテーマとして開催。市内27校と永平寺町の3校から計58人の生徒が集まりました。内容は、①各校の特色や生徒会活動の発表と情報交換 ②プログラミング体験（LED点滅、距離・明るさセンサーなどの制御）。学んだことを基にアイデア考察と発表 ③NTT経営企画部門の担当者から5Gなどの次世代通信技術について解説を聞く、など。

議論には会員も参加。活発な意見交換が行われ、人工知能（AI）を使った観光案内、自動運転を使った観光地巡り、高速大容量通信技術を駆使した地図配信やライブ中継、地元プラネタリウムでの仮想現実（VR）を使った疑似体験など、ユニークなアイデアが多く出ました。

参加した生徒の8割はプログラミング未経験で、最新の通信技術に関しても初めて触れたようで、普段の学校生活では経験できないような機会を提供でき、良かったのではないかと考えています。開催後のアンケートには「新鮮で貴重な体験ができ、自分の考えを深めることができた」といった感想が多くありました。

クラブとしては今後も若い人たちに先進的かつ有益な機会を提供し、会員の経験や考えも伝えながら、青少年育成と地域の発展に寄与していきたいと考えています。（澤田佳夫・記）

湧き水に上下する砂水澄めり

兵庫・神戸西 村野 利昭

息白し登校の列に追ひ着く子

大阪うつほ 齊藤 隆二

おがくずの動きだしたるずわいがに

大阪・堺フェニックス 米田眞理子

読初を未だ読み終へず年終る

奈良 田伏 薫

夫婦して守る北限蜜柑山

富山南 升田 義次

枯葉ちる音無き音を一人聞く

愛知・新城 鳥居 栄一

寒風に抗ふこころ兎の眼

三重・伊勢渡会 村田 春喜

円居めく一族の墓山眠る

神奈川・横浜北 三ツ堀哲宗

佐助や鳥に教はる花一輪

埼玉・川口中央 阿部 游徹

軒下の濃き陽当りのつるし柿

埼玉・川口中央 細井善次郎

たまにはと別な径ゆく小春かな

北海道・登別 寺島きしを

枯蟬蟬途に迷うてゐたるらし

埼玉・日高 野口 明良

山崩れ河溢るるも紅葉晴

埼玉・蕨 中村 泰司

医の道は果てること無し去年今年

山梨・甲府西 太田 道夫

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

葉も落ちて 忘れ去られた 柿の実に
鳥も止まらず ただ冬を待つ

山形・河北 村田 精三

運動会園児の太鼓のフィナーレの
拍手の中に汗する笑顔

長野・佐久コスモス 中澤 道保

小松菜を茹でてさば缶上にのせ
熱燗でやる老友との至福

群馬・館林 新井 進

悪魔らの酒盛りのような音立てて
MRIはぐるぐる回る

埼玉・熊谷籠原 森田 光彰

うぶすなのわが家に書斎と庭ありて
老人ホームの案内を待つ

東京荒川 井上 久子

肱川の川面を照らす篝火に
鮎追ふ鶴等の嘴輝く

東京 新 欣樹

「運命」のシンバル奏者つつしみて
フォルテのタクト一拍をまつ

神奈川・相模原 佐藤 清一

友の呉れしごろりと大きな百目柿
皮むき干して正月を待つ

岐阜加納 鶴飼 武彦

直線に並ぶ惑星冬を射る
土星三日月金星木星

京都東山 池田 敏子

首里城の炎せつなし芭蕉布を
宮占上布を愛する吾は

奈良 寺田眞佐子

たわわなる柿も夏蜜柑もがれずに
冬日浴びをり地に帰るのみ

香川・高松 平峯 千春

秋の日に紅葉の小道歩いたら
飛び石の先にあなたがいたの

長崎出島 伊東 浩子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

くすぐってやるか遺影のすまし顔

新潟 小林 悟

ダイエット始めてみよう明日から

佐賀・鹿島 高松 茂信

無農薬庭のレモンをおすそわけ

埼玉・所沢西 大原 律子

大笑い言われた通りやる夫

東京日本橋東 井口 弘子

一周忘次は誰かと顔を見る

山梨・甲府北 土橋 幹夫

正確な時刻知りたくテレビつけ

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

こころにはここで返すシクラメン

大阪西 鴨谷瑠美子

折り込みの殺し文句は若返り

大阪大淀 長谷川孝華子

この年で能力主義という地獄

香川・高松 大平 昇

旅に出る田舎の期待背負いつつ

福岡伊ブニング 甲斐総治郎

万歩計万歩になった事が無い

福岡伊ブニング 菊池 文彬

茶柱の二本は飲めず嬉しくて

大分・中津 古田 聖二

雪景色頑張ることは面白い

神奈川東 青柳 紀

大音痴これだけ外れりゃかくし芸

神奈川東 山本 幹夫

忘れたい人の声ほど耳残り

神奈川東 吉田 隆男

柳壇のメ切り迫りボケ防止

新潟・吉田 佐藤 良一

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



長谷川 權 

血飛沫を上げる首里城末の秋

鹿児島西 長柄 英男

昨年十月に炎上した首里城。沖縄だけでなく日本中が心を傷めた。その痛みが血飛沫(ちしぶき)という言葉を選び出した。慟哭(どうこく)の句になった。

ラグビーの球より散るや泥しぶき

埼玉・川口中央 中村 嵩文

ラグビー場は緑の芝。しかし、シーズンのうちに芝生は剥がれ、雨や雪が降れば泥しぶきが飛ぶ。ボールに焦点を合わせた。

寒紅や女は女観察す

大阪北 三宅 侃

女を観察する女。観察という言葉に女心が表れている。原句は「女も」だが「女は」でなければ一句が成り立たない。

音もなく落ちて定まる桐一葉

愛知・名古屋錦 石井 弘子

舞い落ちてきて地上に乗る桐の葉。その過程を正確に捉えようとしている一句。「音もなく」で大きな句になった。

玄関へ吹かれて大き朴落葉

佐賀・伊万里西 田中 南嶽

朝、玄関を出ると一枚の朴の葉。その驚きの句である。どこかに朴の木があるのだろう。原句は「太き」だが、朴の葉なら「太き」である。



馬場あき子 

老いるとはどんなことかは解らねど
身の何処かが知らせてくれる

長崎・松浦 太田 晴康

たしかに、老人になるとはどういうことなのだろう。元気は変わらず、音声も変わらず、ただ、脚力や、仕事の速度や、酒量や、体力、食欲、どこかが折々に以前とはちがうと自覚させる。まだ、誰にもその差異は気づかれていない。「お元気ですねエ」とむしろ言われる。しかし、自分だけが知っているこの体調の衰えは、知られて労(いたわ)られるより少しさびしいものだ。しみじみと読める下句である。

「帰ります」と伝言板に書けなくて
二時間待ちしも今ははるけし

大阪天王寺 高見篤志郎

スマホがなかった時代、駅には伝言板があった。白墨(はくぼく)で互いに知る呼び名で、短く言伝てをかき残した。しかし立ち去るときは未練があつて、決然とは立ち去れない。大方が友人や恋びとへの不意な伝言なのだ。作者はそんな若き日、二時間も立って待っていたのだ。青春だなあと詠嘆(えいたん)される。はるかな時間的距離が、かつて存在した思いをよみがえらせてくれる。その二時間が今はすばらしい。

着ふくれて冬の道ゆく例会へ
今日の出会いにぬくもり求め

秋田・能代 成田 繁穂



てじま晩秋 

天 昭和平成みんな過去です皆整理

大阪・堺清陵 物種 唯修

過ぎてしまえば、長く感じていた昭和・平成の世も短く感じる昨今です。また懐かしい過去が輝いております。それを胸の中に大切にしまい込みます。大事にみんな整理します。心の底に、ぐつとしまっておきたい時の流れですね。

地 タレントの様でも困る代読者

群馬・伊勢崎 茂木 克美

代読を続けていくうち、徐々に気分が乗ってきて、プロのナレーターのごとき進行になってしまふ人っておられますよね。正直でいいと思うこともありますが、やはり持ち場を越えてしまつてはいけないと思います。

人 休場でお相撲さんの寿命伸び

埼玉・熊谷籠原 森田 光彰

大相撲初場所開催中(7日目)現在、8人いる三役力士のうち、勝ち星先行は2人のみです。しかも横綱は二人とも休場中。なんとしても寂しい場所です。専門家のご意見は、稽古不足が要因の一つとか。考えさせられますね。

かみしめて出た運勢欄帰途に捨て

青森北東 遠間 善弘

栄養のお話

東京慈恵会医科大学附属病院
栄養部 管理栄養士 赤石 定典

誰の手も借りずに健康で生きられる期間（健康寿命）を延ばすには、まず寝たきりを防ぐことです。風邪をひいたりして食欲が落ちると、免疫機能が低下します。すると、また風邪をひき、筋肉量が落ちて転倒・骨折して寝たきりに。これが低栄養の負のスパイラルです。痩せ過ぎず、筋肉量を維持し、骨粗しょう症を予防するために必要な栄養を取ることが大事です。

しかし、いくら栄養を取っても吸収できないと意味がありません。体に必要な栄養素は主に小腸で吸収され、大腸で不要なものを排出していきます。腸を健康な状態に保つには、腸内細菌を確保することです。腸内細菌には善玉菌と悪玉菌、日和見菌があります。善玉菌は悪玉菌の増殖を抑え、腸のぜん動運動を促します。悪玉菌は発がん性物質を作りますが、免疫力の向上やビタミンの合成など有益な働きもしています。日和見菌は優勢な方につくため、善玉菌を悪玉菌より多くすればいいのです。善玉菌を増やすには、納豆やキムチ、みそなど発酵食品を食べるといいでしょう。

また、食物繊維（特に水溶性）が大事です。そこでお勧めなのが大麦です。大麦に多く含まれるβグルカンは、正常な腸の機能維持や排便促進効果、食後の血糖値上昇の抑制、コレステロール値の低下、心疾患のリスク低減などの効果があります。

負のスパイラルを防ぐのにお勧めは肉豆腐。動物性タンパク質も植物性タンパク質も含まれます。動物性と植物性は1対1が理想です。肉豆腐に炊き込みご飯や、卵や野菜料理を添えると栄養バランスが良くなります。鍋料理も、具材を変えることでさまざまな栄養が取れます。外食が多い人は酢を持ち歩き、一日当たり大さじ1〜2杯を食事にかけるのがお勧め。血糖値上昇を抑え、血圧を下げるなどの働きがあります。カルシウム吸収率は10代で約40%ですが、60代になると約25%に落ちます。特に野菜からの吸収率がよくないため、ビタミンDや酢と一緒に取るとういでしょう。コンビニ弁当などは、枝豆を加えると栄養バランスが良くなります。フライパンで蒸し焼きにした枝豆は、ビタミンCが損失せず、味も良くなります。ピーマンのワタは捨てず、ゴボウも皮むきやあく抜きをせずに食べると栄養が無駄になりません。

（第2580地区・東京都・東京神田RCにて）

死ぬほど読書

和歌山北RC 森本 芳宣

私は月に10冊、年間100冊くらいは本を読むのですが、本書に書かれている内容で印象に残っている箇所を紹介します。

- ・「無知の知」を知る。読書はそのことを、身をもって教えてくれます
- ・読みながら考えないと身につかない
- ・本は人間力を磨くための栄養です
- ・仕事の姿勢を読書がたまたす

本で読んだちょっとした言葉が心に残り、何か行動するとき思い出すという。例えば、劉備が語った言葉「悪、小なるを以て之を為すなかれ 善、小なるを以て之を為さざるなかれ（どんな小さな悪でも、それはしてはいけないし、どんな小さな善であっても、それを実行する勇氣を持ちなさい）」は、著者が仕事をする上での大きな指針になっている。ロータリー活動にもつながるものがあるかと思いました。（第2640地区 和歌山県）



丹羽宇一郎 著
幻冬舎(幻冬舎新書)
2017年7月刊

●人生を変えた本、思い入れのある本、最近感動した本を紹介。320字以内。対象は入手可能な市販書籍（絶版、自費出版、応募者と直接関係する書籍は除く）。表紙は編集部で用意します。



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

セラピードッグ

音楽家 (一財) 国際セラピードッグ協会代表 大木トオル

セラピードッグはアメリカで60年以上の歴史があります。35年前アメリカから1匹のセラピードッグを連れて来た時、日本で犬が(人への)セラピーに役立つという認識はありませんでした。2002年に身体障害者補助犬法が制定され、日本でも人をサポートする犬が知られるようになりました。セラピードッグは、高齢者をはじめ、がんや精神疾患の治療を必要とする患者、障害のある人の体と精神の機能回復を補助します。この動物介在療法は、高齢者に多い認知症の改善にも寄与します。セラピードッグが患者と向き合い、リハビリに寄り

添うことで記憶を取り戻したり、動かなかった手足が動くようになるケースもあります。全国の高齢者施設や病院、がんのターミナルケアをするホスピス、刑務所や被災地などで幅広く活動しています。

セラピードッグになる犬の多くは捨て犬です。全国の動物愛護センターや保健所では、多くの捨て犬や捨て猫、そして東日本大震災の被災犬が殺処分されています(2018年の殺処分数は約4万匹)が、殺処分の対象となった犬たちを保護し、健康を回復させてセラピードッグに育成するのです。このことから、セラピードッグの普及は犬の殺処分をなくすことにもつながります。

保護した犬は、約2年半かけ、45を超える教育過程をマスターし、各施設での実習を十分に重ね、セラピードッグとして認定されます。犬種や年齢は問いません。体に障害があっても活躍する犬もいます。日本初の認定セラピードッグ名犬チロリは、子犬5匹と共にごみ捨て場に捨てられていた母犬で、後ろ脚に障害がありました。

病を持つ人のためだけではありません。今年のオリンピックではセラピードッグがアスリートの心のケアにあたる予定です。

(第2620地区・静岡県・パワー浜松RCにて)

私の一冊

世界地図を読み直す

協力と均衡の地政学

久留米中央RC 古賀 正高

国際貢献で日本の立つ位置がよく分かる本。著者は世界情勢が複雑さを増す中、JICA(国際協力機構)の途上国への衛生・教育・医療などの支援活動の現状から、これらの方向性を分かりやすく述べている。

支援国会議などでの政府要人の不参加、自衛隊のPKO(国連平和維持活動)早期撤収など、世界への日本のアピール不足を指摘。ODA(政府開発援助)はかつて世界一だったが、16年連続で減少している中、キラリと光る支援こそ、今後の日本の進む道だと説く。

JICAの新しい取り組みとしてポリオ根絶にも触れ、私たちの国際奉仕に多くの示唆を含んでいる。著者の長年の活動で築かれた世界的ネットワークに敬意を表し、途上国の人々への優しいまなざしとヒューマニズムが快い一冊であった。(第2700地区 福岡県)



北岡伸一

世界地図を読み直す

協力と均衡の地政学

北岡伸一 著
新潮社(新潮選書)
2019年5月刊

亡くされた悲しみが、若者たちへの支援、社会に奉仕する心をさらに大きくしたのではないかと、ということ。そして米山翁が没し、日本がR.I.に復帰した当時のロータリアンたちは、何よりも「日本の生きる道としての『平和』を世界に理解してもらうには、一人でも多くの留学生を受け入れ、世界平和を願う信頼関係を相互に築くこと」と考えた、ということでした。

その米山翁の思いと功績を伝えているのが、日本のロータリー独自の国際奨学事業（米山記念奨学事業）であり、これは世界に誇れる活動でもあります。当時のロータリアンたちの平和への強い思いを、私たちもしっかりと受け継いでいかなければならないと、強く感じました。

例会に出席した全員が、柴崎氏の卓話に魅了され、より人間味あふれる米山翁像に触れました。米山記念奨学事業への理解も、一層深まったのではないのでしょうか。

カンボジアで頑張る 青年に出会って

草津 伊藤 勝晤

過去に地区のインターアクト委員長をしていた時、夏期研修でアクターを伴い、カンボジアの孤児院を訪れていました。その後、個人的に年2回の割合で、その孤児院や現地で活動している知り合いの手助けに行っていたところ、トンレ・サップ湖を中心に淡水魚の研究をしている佐藤智之氏の紹介で、静岡県三島市出身の

青年、内田隆太君に出会いました。内田君はアンコール・ワットで有名な観光都市シエムリアップから60キロほど離れたリエンボン村に、学校を建てた青年です。

教師を目指していた内田君は、大学生の時にふらりと訪れたカンボジアで、電気もなく学校施設も不十分で、勉強ができない村の子どもたちの状況を目の当たりにし、何とかしたいと考えました。日本に帰ってチャリティイベントや寄付、クラウドファンディングなどを行い、1年で約200万円を集めました。そしてリエンボン村に小学校を建てました。

その後、さらに村の人たちの協力で、トタン屋根・壁なしの簡単な3教室の建物を造り、子どもたちが学べる場をつくったのです。また、就学を終えた女性や若いお母さんの自立を促すために、現在はバッグ作りの支援に挑戦しています。私が内田君に出会ったのは、彼がバッグ作り支援に取り組んでいる頃でした。いろいろな相



カンボジアで奮闘する内田隆太君

談を受けましたが、一人の力ではどうしようもありません。そこで、内田君の出身地である静岡県三島市の各ロータリークラブに手紙を書きました。三島市出身の若者が、カンボジアでこのような素晴らしい活動を行っていることを知ってもらいたかったからです。そして、うれしいことに、すぐにせせらぎ三島RCから返事が届きました。

当時（2017—18年度）の会長・山口辰哉氏からのメールには、「早速カンボジアへ行って内田君と出会い、クラブ事業として考える」とありました。お互いにロータリアンとして通じるものがありました。まさに、ロータリーの友情です。その後、せせらぎ三島RCは、クラブ事業として現地を訪問し、発電機やミシンを寄贈したそうです。

彼の目標は、女性の完全な自立と、子どもの就学の定着です。そのために今は女性スタッフ3人に裁縫の勉強をさせており、将来は市場などへの出店を目指しています。また、村の人たちが農業で安定した生活が送れるようにするための事業も計画しています。

このように、あまり人に知られていないところで、果敢に活動している若い人が、世界には多くいます。彼らは本当の意味でのリーダーシップを発揮しているといえます。私はロータリーの青少年プログラムは、若い世代にさまざまな可能性への挑戦を動機付けられるものだと考えています。これからもこのような若者を応援するとともに、青少年プログラムを通じて若者が大きく羽ばたくことを期待しています。

（第2650地区 滋賀県 海外交流団体）

「組織論」より もつと「運動論」を

呉 大之本精二

昨今、ロータリー運動（この言葉すら聞くことが少なくなった）を語る際の主流は組織運営論であって、本来優先すべき運動論の影が薄くなったような気がしてならない。

RIは、組織の巨大化による必然の結果として、組織の維持と統制しか眼中にないようだし、クラブはクラブで、会員減少による財政の逼迫と、会員の高齢化による活力の減退で、若者と女性を中心とした会員基盤の強化こそが喫緊の運営課題であると、判で押したように訴えている。

そもそも活性化を狙ったロータリーの戦略計画自体が組織論中心であって、肝心の運動論がどこかに追いやられているように考えるのは、私のようなオイタリアンの僻みであろうか。

ロータリーは運動体であるから、推進母体となる組織が強固で、柔軟性に富んだものでなくてはならぬことは論をまたない。ロータリーを取り囲む環境の変化が、それへの関心をやむを得ず過度に深めさせてしまったからといって、ロータリーの神髄である良質、かつ上質な原理原則への関心が、脆弱（ぜいじやく）になっていいというものもあるまい。

ロータリー運動とは何か、なぜ私たちはロータリアンであるのか、ロータリアンとして何をしようとしているのか、などの根本を理解して初めて、組織論の意義と目的が明らかになって

くると私は考えている。組織の維持発展を支える運動論を抜きにして、ロータリーの明日はない、と言いたいのである。

運動論が影を潜めた原因の一つは、例会と出席の軽視にあるのではないか。出席より参加を強調するRIの方針は、ややもすれば例会軽視とも見なされる恐れがあり、「例会出席こそがロータリー運動推進の基本中の基本である」との理念に水を差すものではないか、との疑念を抱かざるを得なくなる。

ロータリーは実践倫理運動であるがゆえに、社会に向けて倫理を提唱する私たちロータリアンが、例会で心を磨き、切磋琢磨（せつさくたくま）して自己の向上を図って初めて、ロータリアンとしての責任と義務を全うし、運動に貢献することができると私は確信する。

大事なことは、現在の例会が本当に私たちの心を磨き、倫理性を高める例会になっているか、との反省である。

残念ながら、多くのクラブではギャップがあるかもしれないが、だからといって悲観する必要は全くない。ロータリークラブはよりすぐられた良質の人間集団であるから、会員一人一人がその真意を理解し、その気になって努めるなら、クラブの雰囲気は次第に変化し、やがては倫理運動を推進する一分子としての存在感を発揮するようになるだろう。

「最近、ロータリーの話を聞いたり話したりすることが少なくなった」との愚痴をオイタリアンだけのものに終わらせないよう、現状を厳しく見直したいものである。

（第2710地区 広島県 木造建物販売）

『米山梅吉ものがたり』 著者を迎えて

横浜あざみ 小野邊 薫

昨年10月、米山月間にちなみ、同7月に発刊された『米山梅吉ものがたり』の著者・柴崎由紀氏に卓話を頂く機会を得ました。本書は米山梅吉生誕150周年、米山梅吉記念館創立50周年を記念して刊行されたもので、その著者から直接お話を聞けることに、胸躍る思いで例会に出席しました。

柴崎氏は、ノンフィクションを専門に執筆活動をされています。シカゴ郊外にあるRI本部にも表敬訪問されるなどして、実在の人物である米山梅吉翁の生涯を忠実にたどり、その背景を時代に沿って書き記すことにより、米山梅吉翁の人間像をよりリアルに、私たちに伝えてくださっています。



柴崎氏によると、米山梅吉翁の生涯を通じ、その根底に流れているのは「家族愛」であり、若い頃に最愛の息子さんお2人を



『米山梅吉ものがたり』
柴崎由紀著／銀の鈴社
(Tel.0467・61・1930)

スターであり、レジェンドです。この50周年の節目に、これまでのロータリー活動に対する思いと、今後の展望についてインタビューしました。

クラブ創立当時の話を伺うと、初代会長である加藤宗兵衛氏にほれ込み、人柄、人間力、行動力、発信力全てに感銘を受け、仕事もそっちのけで日本全国のみならず欧米諸国を共に奔走し、ロータリー活動を見てきたそうです。50年たった今もなお、初代会長への思いを熱く語られていました。また、東海大学で行われたクラブ認証状伝達式には1000人を超える関係者が集まったといいます。日本の高度成長期の熱気あふれる、古き良き時代がしのばれます。

伊勢原RCの現会員数は58人ですが、平均年齢は57歳と、高齢化が進んでいます。会員増強・維持は大きな課題の一つと認識して活動していますが、濱田氏は60人程度が一クラブとしては限界数であると認識しており、「新会員には若さ、人柄を求めよ。誰でも良いわけではない。また、会員数維持のためには会長、幹事の手腕で、仲の良いクラブをつくれ。さらには、一生懸命になり過ぎないこと、自分の仕事をしっかりと優先すること」と語りました。

伊勢原市のロータリーアン人口比率は1000人に1人と、他地域に比べて比較的多いようです。私はまだ入会6年目で、昨年度は広報委員長を務めましたが、ロータリークラブの存在や奉仕活動の内容は、50年たった今も市民に十分浸透していないように思います。仲間内だけで盛り上がるのではなく、地元市民に向けた価値のある情報発信、奉仕活動を通して、意義のある活動を続けていきたい、と強く思いました。

最後に「あなたにとってロータリーとは何か？」の質問に、濱田氏は「プライドである」と言い切りました。今回のインタビューを通して、今後も地元伊勢原市をより良い街にしたい、そのために襟を正し、上品に振る舞い、ロータリーアンとしてのプライドを示していきたい、と強く思いました。(第2780地区 神奈川県 獣医師)

私が奉仕で学んだこと

高松東 坂井 幸博

私はロータリークラブに入会してもう27年になる。入会当時は会員50人中、2番目に若かったが、今では古株の一人になった。当初は先輩の言っていることが理解できずに、ただ、言われたままに従っていた。

しかし入会3年目の時、阪神・淡路大震災が発生した。この時、友好地区の第2680地区(兵庫)のロータリアンたちが、自らの生活環境が壊滅状態であるにもかかわらず、身をていして青少年の指導者育成に尽力している姿を見た。改めて「奉仕とは何か?」「人生とは何か?」と考えさせられた。

時は過ぎ、5年前に自治会の会長を務めた。2年間の輪番制の会長だったが、以来、地元地域の他の奉仕団体の役員職も務めるようになった。今は「奉仕とはきれいなことでなく、社会に必要な不可欠な活動」と、実践の中で感じている。「ゲマインシャフト」という言葉がある。地縁、血縁、友情で深く結びついた社会、いわゆる

共生社会だ。この原始的ではあるが最も大切な「自然発生的な助け合い」の社会こそ、私たちがいつまでも心豊かに生存できる社会かもしれない。

人間社会には個々それぞれの考え方があり、生きる意味の捉え方、その方法も違うのは当たり前である。しかし、少しでも多くの人が、困った人を助け、苦しんでいる人の痛みを分かち合い、悲しんでいる人と共に涙を流せるような社会を創りたいものである。

これが人間の「社会創りの文化」であり、この「社会創りの文化」の進んだ国は必ず発展する、と固く信じるようになった。私はこれまでの人生における奉仕活動の中で、こんなことを学んだ。(第2670地区 香川県 建築)

私の宝物



クラブがある多摩の桜ヶ丘カントリークラブで子ギツネに遭遇。「えっ、まさかこんなところで! キツネにつままれているのでは?」と思いました。環境が激変していく中、オアシスのように残る多摩の豊かな自然こそが、私の宝物です。

石塚 悦信 (東京都・東京多摩RC)

2000年に来日、08・10年、米山奨学生（スポンサークラブ・東京麻布RC）として日本の大学で学びました。ご縁があつて日本人と結婚し、日本に帰化して子どもを育てています。日本という国を知るにつれ、日中の懸け橋になりたいとの思いを抱くようになりました。

米山記念奨学事業を通じて東京米山友愛RC特別代表の関博子さんに出会い、その後、同クラブの一員になりました。ロータリアンになってそろそろ10年、その間、日中の文化に関する相互理解を深めるため、自分には何ができるか考え続けてきました。そして昨年7月7日、ホテルニューオータニで、クラブ創立10周年特別協力事業として「第1回 日中伝統衣装・伝承（漢服・きものショー）」を開催しました。



色彩豊かな漢服と着物が日中友好の懸け橋に

当日は500人近い来場者に楽しんでいただきました。子どもも含め日中総計100人が、さまざまな時代背景の伝統衣装を身にまとい、人生の通過儀礼や季節の伝統行事をショー形式で披露。単なるファッションショーではなく、文化イベントとして意義あるものになったのだと思っています。

このイベントを思いついたのは、結婚式の披露宴や卒業式といった日本の行事で、美しい着物で着飾った方々を見るにつけ、私の中で着物に対する憧れが大きく膨らんでいったことです。多くの中国の方に、その素晴らしさに触れてほしい。同時に、中国の若い世代にも着られる機会が減った漢民族の伝統衣装（漢服）も、いつか着物と同じように、ここぞという時に着る身近な衣装になればいいなと、友人と話したことも重なりました。そして、着物も漢服も、お互いの国の人々が互いに着て楽しめるような存在になれば幸せだな、と思ったのです。

中国人来場者からは「多くの豪華な着物を鑑賞できただけでなく、人生と着物の関係や、日本の伝統文化のしきたりを知ることができて、とてもよかった」との声が聞かれました。日本人来場者からは「漢服を着るモデルの姿が美しく、またチマチヨゴリは、中国明代の漢服が韓国に伝わって発展したと知った」との感想も。事後アンケートでは「相互の文化を理解するのに、素晴らしい良い企画だった」とのコメントもいただき、企画者として感無量でした。

企画から実行までに1年以上かかりました。多くのロータリアンに、協力者・出演者の紹介、参加者への声掛け、準備・実行のサポートなど、

さまざまな形で多大な支援を頂きました。自クラブの会員からも当日、多くの協力を頂きましたが、さまざまな国の出身者が集う当クラブならではの活動で、ロータリーの国際貢献の理念に沿ったものとなったのでは、と思っています。

私の米山カウンセラー・片岡美江さん（東京麻布RC）にも見ていただき、NHKのニュースにも取り上げられるなど、生忘れられない、素晴らしいひとときとなりました。今後もこのご縁を大切に、日中の懸け橋という役割を一生懸命に果たしていきます。このような国際友好イベントを通じて、両国の距離が一層近くなるなら、これに勝る喜びはありません。

（第2750地区 東京都 武道美容）

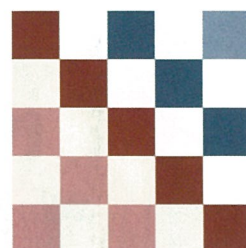
ロータリアン歴60年、 濱田勝彌の言霊

伊勢原 貝原 剛規

伊勢原RCは、令和元年に創立50周年を迎えました。昨年5月11日に小田急ホテルセンチュリー相模大野で来賓、関係者ら160人余の方々にお集まりいただき、盛大無事に記念式典を執り行いました。

当クラブには創立会員で初代幹事である濱田勝彌氏が現役で在籍し、ロータリアンとして60年超の活動が続いています。2代目の会長を務め、1989～90年度には第2780地区（当時第278地区）初代ガバナーを歴任。97歳の現在も毎週の例会を最前列で皆勤し、食事も自身の歯で完食される、わが伊勢原RCのモン

友愛の広場



FRIENDSHIP
PLAZA

エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

南三陸町復興支援の マイクロバス

倉敷東 遠藤 堯之

東日本大震災の翌年、2012年4月号『友』縦組み「ロータリー歌壇」のトップに、思いがけず私の短歌が掲載された。同欄への投稿はこれが2度目であった。入選句「被災地に 皆で贈りしマイクロバス 乗ってますよのひと言嬉し」には、選者の佐佐木幸綱先生から次のような評が寄せられていた。

『皆で贈りし』の『皆』は、たぶん、ロータリークラブの仲間の意味だろう。それぞれにお金を出し合って、相談しあって、マイクロバスを被災地に贈ったのである。それに対する感謝の言葉がきた。手紙だろうか。電話か、ファクスか、あるいはメールかもしれない。いずれにしてもあのマイクロバスが、活用されている現

在のようすが知らされてきたのだ。まさに『絆』を思った実感を、『嬉し』に読むことができる。

マイクロバスの贈呈先は、津波で壊滅的な被害を受けた宮城県本吉郡南三陸町である。2011年9月4日の河北新報には「日・伊・台 支援の思いつながる 車5台南三陸町へ」との見出しで紹介された。「寄贈したのは築館ロータリークラブ(RC)、倉敷東RC、台湾の草屯RCと雙和RC、イタリア各地のRC。ロータリー財団の国際親善奨学生だったナポリに住むオペラ歌手・角南有紀さん(岡山市出身)が、地元ロータリークラブの支援の申し出を倉敷東RCにつないだのがきっかけ。倉敷東から友好クラブの築館、さらに台湾、イタリア全土へと支援の輪が広がった。(中略)佐藤町長は『99台の公用車が流失し、復興業務に支障を来していた。皆さんの支援を力に変え、町民と心一つに復興に取り組みたい』と述べた」

短歌に詠んだ「マイクロバス」は、イタリアのロータリークラブからの寄付を基に、10万ドルのマッチング・グラントで贈呈したもの。29人乗りで、仮設住宅団地の住民の移動や、町の復興業務に使われて大活躍した。

また「乗ってますよのひと言嬉し」は、次の後日談から生まれた。2011年12月、南三陸町立志津川中学校の野球部の生徒20人と保護者数人が、4日間の日程で岡山県倉敷市を訪問。グラウンドに仮設住宅が設置されて野球ができなくなった生徒たちを、岡山大学の職員と学生ボランティアが招き、岡山県の中学生との親善野球試合を企画、激励したのである。

その歓迎夕食会の会場は、食堂を経営する当



2011年9月3日に寄贈。今も南三陸町で活躍中

クラブの会員が提供しており、私は会長として出席していた。そこに突然、野球部員の親たちが私のところ

にやってきて、「贈っていたいたマイクロバスに乗ってますよ」と言ったのである。彼らは、南三陸町のホームページや新聞記事で、当クラブのことを知っていたようである。感激の一瞬であった。私はその後、地域のコミュニティー図書館寄贈事業などで4回現地を訪れ、佐藤町長には2回お会いした。『友』昨年10月号(横組みP44)に佐藤町長が国際ロータリー(RI)日本事務局を訪れ、謝意を伝えたとの記事を読み、当時の感動を思い出した。あのマイクロバスは、今もスクールバスとして南三陸町を走っている。

(第2690地区 岡山県 環境コンサルタント)

日中文化の懸け橋に 漢服・きものショー

東京米山友愛 田中 貴恵(林芳)

私は中国出身ながら、家族の影響もあり、幼少時から日本文化に大変興味を持っていました。

記録的に雪の少ない1月の長井の街



「雄治は素直だしね。俺は頭も筋肉でできてますが、彼は違う。この若さで事業も成功して注目され、期待もされて大変ですが、職業奉仕にはずっと入るタイプのような気がします。うちのクラブは19人の少数精鋭。会長も40代で、平均年齢も50歳ぐらいと割と若い。彼のように常に外を見ている人間の意見は、ますます重要になるね」

市街地に戻ると、商店街のあちこちにけん玉のポスターがあつた。最上川の舟運で栄えた長井市のキャッチフレーズは「水と緑と花のまち」だが、最近では「けん玉チャレンジ」プロジェクトにも力を入れている。

市内の50以上の店舗が参加していて、「とめけん」が一発で成功すれば、居酒屋では生ビール、洋菓子店ではジェラート、食堂ではアジフライがサービスになる。「とめけん」とは剣先に玉を刺す技で、長井の人なら結構できる人がいる。

「長井駅前の『けん玉広場スパイク』にも行ってみて下さい。けん玉ができ、けん玉の情報スペースでもあります。『とめけん』のこと、英語でスパイクって言うんです」（梅津さん）

スパイクに行くと、昨日の大会でベスト8まで進んだ松本健さんがいた。地域おこし協力隊の一人で、市の商工観光課に配属されている。元自衛隊員で、出身地は宮城県仙台市。東日本大震災の時は石巻で支援活動をしていた。

「もう少し深い支援をしたい、町おこしに参加したいという気持ちになり、同時に自衛隊員の中にけん玉の達人がいたんです。ユーチューブを見ると、外国のプレーヤーがどんどん面白い技を開発している。町おこしとけん玉に興味が高まり、梅津さんと知り合って長井に住みたくなりまし

た」

スパイクには松本さんの先輩、秋元悟さんもいた。フリースタイルのけん玉の名人で、けん玉の国際的な動向にも詳しい。

「ハワイで大流行し、その後はシンガポール、ルーマニア、ラトビアなどで流行し、今はアメリカの西海岸です。外国のプレーヤーは競技よりもフリースタイルに人気がありますね。それにつれて海外のけん玉メーカーもでき、乱立した時期もある。今は中国製が増えていますが、日本製には及びません」

取材を終えて、佐藤カメラマンが言った。
「あとは雪景色を撮りたいですね」

小中企業社長と働き方改革 悩む先輩とは一味違う休日

もともと、暖冬だった。それから2カ月後の1月中旬、長井市を再訪したが、まったく雪がない。

「こんなこともあるんですね」

梅津さんが苦笑する。雪景色の撮影は難しい中、前回に会った手塚さんを含め、ロータリーの先輩たち6人が夜に集まってきてくれた。

「雄治が主役かい。俺じゃないの」

と、手塚さんが言う。集まった先輩たちはクラブの要職経験者で、梅津さんへの視線が温かい。

酒が進むと談論風発、さすがに山形は「飲みニユケーション」が盛んである。

「ここ10年でけん玉の街としての長井の認知度はずいぶん広まった。雄治はよく頑張った。でもけん玉を街のシンボルにしていくことに、ちょっと抵抗がある向きもある。それをどう理解してもらうかだな」

「気にするこ

とない。いっそのこと駅のあたりに大きなけん玉のモニュメントでも作ったらどうだね。ちゃんと職業奉仕にもなつてると思ふな」

梅津さんはだいたいの聞き役に回っている。

その後、働き方改革の話にもなった。集まっているのは全員社長さんである。

「中小企業の社長にはつらい話だね。俺らの仕事は増える一方だ」

という話が多い中、梅津さんが言った。
「結婚して子どもが生まれるまでは365日働いていました。今だって本当は働きたい気持ちはありますが、8歳、5歳、1歳の子どもがいますからね。週休2日を守っているし、守ります」
このときばかりは地元ホープ、気負うことなく、しかし毅然としていた。

◇梅津雄治（長井中央RC会員）（有）山形工房代表取締役社長。1985年、山形県長井市生まれ。中央大学経済学部卒業後に警視庁へ入庁。2008年に山形工房に入社。常務から09年、社長に就任。営業宣伝を担当し、同社の顔となる。3児の父、けん玉道四段。



梅津さんの隣が次期会長の村井春美さん。後列の右から2人目が元気な手塚さん



祖父・与三郎さん、兄・良一さん、数多くのけん玉とともに

長井市街から車で15分ほどにあり、山が近く、木々の紅葉が美しい。澄んだ空気の寺泉地区に本社と工場がある。競技用けん玉国内シェアナンバー1で、海外の四十数カ国に輸出をしているという。

梅津さんは、元からけん玉一直線だったわけではない。中央大学経済学部を卒業後、警視庁に入っている。

「けん玉作りは祖父が始め、兄が受け継いできました。関わるつもりはなかったけれど、けん玉をめぐると状況は大きく変わりました。兄が作ったホームページに、外国からのアクセスが増えていく。うちの商品は品質と精度の高さには定評がありました。良いものが必ず売れるわけではない。警視庁も魅力的でしたが、職人の兄がモノ作りを極め、私が販売や宣伝を担当し、世界に

アピールした方がいいかと考えました」

兄で会長の鈴木良一さん、創業者の祖父、鈴木与三郎さんが工場を守り、梅津さんが営業宣伝を任されている。84歳の与三郎さんが言う。

「門前の小僧がお経を唱えるようなもので、2人とも小さい時から木になじんでいた。けん玉作りは木が分らないきや、どうにもならない。その点兄貴は職人として大したもんだし、弟はいいものを売ることに一生懸命だ。この年で孫2人と仕事できるなんて、幸せだと思うよ」

さて、来客があった。同じ長井中央ロータリークラブ(RC)の手塚隆幸さん。建材会社を経営し、梅津さんをロータリーに誘った人である。

「自分もかなり若くにロータリーに入ったんです。2006(平成18)年、27歳で全国最年少のロータリアンということで『ロータリーの友』に載ったことがあります。ベテランの方2人に勧誘されました。最初は、駅前のロータリーの話かと思っただけで無知でした(笑)。入ってすぐ、誘ってくれた2人が辞めたのも驚いたなあ」

手塚さんは梅津さんの中学時代の野球部監督でもある。手塚さんは、日大山形時代に甲子園も経験した。1回戦で鹿児島実業と対戦、0対9で敗れている。

「1990(平成2)年です。1歳下にイチローがいて、彼の試合が長引いて、第4試合の僕らはナイターになった。僕はレフトで、カクテル光線で見づらい。おまけに相手の鹿実は福岡ダイエーホークスに進んだ内之倉隆志がいて、うちは軟投派。パンバンレフトに飛んできた。相手のピッチャーもすごかったよ」

恩師であり先輩だが、兄弟のように仲がいい。

品『大空』を持っていて、使いこなしてくれています。研究熱心な人が多いですね」

けん玉は「存じのように、大皿、小皿、中皿に玉を置き、剣先に玉を刺すゲームだが、競技用けん玉になると、バリエーションがある。

「いろいろな技があつて、とめけん、飛行機、日本一周、世界一周、宇宙一周、うぐいすの谷渡り、つるし一回転飛行機……。奥が深い世界で、こういう大会には、けん玉のレジェンドもいらつしやいます」

山木弘行さんを紹介してくれた。

日本けん玉協会の理事長で、9、10、12代の全日本チャンピオン、通算10回の全国制覇、けん玉道九段。大会には山木さんの教え子が多く来ていて、そろいのユニフォームには、「あせらず あわてず あきらめず けん玉道・福島」とあつた。基本的な技に「もしかめ」がある。

大皿に玉を乗せ、剣じりの中皿に移し、大皿に戻す。この往復を繰り返すが、一級は50回、初段になると200回、四段で1000回できるのが基準だという。山木さんの場合はどうか。

『「もしかめ」の継続時間で6時間57分という記録を作ったことがあります。しかし、戦った相手も7時間20分でした。途中で軽食を取ることもあり、私もアイスクリームを口に含ませることもある。トイレに行ってもいいんですよ。ただし、

トイレに審判がついてくる規則になっています」

7時間！ カメだつて余裕でゴールするだろう。山木さんの隣にいた六段、山形けん玉友の会会長の平山明さんも言う。

「けん玉は最後は心の技なんだね。大人はどうしても雑念が入り、土壇場になると震えがくる。でも子どもにはそんなものない。今日の大会も、最後は少年少女の争いになるよ」

確かに大人は次第に敗退、中学以上の部の決勝は、中学1年生の男女対決となった。2人とも小学生の時に全国大会で準優勝したことがある。

レベルが高いので、ちょっとした心理の揺れが勝負を決める。結局、紙一重で男の子が勝ったが、小学生の優勝者との決戦には敗れた。小学生強し。トップ選手姉弟の父親が言っていた。

「2人ともうまくなるまではずいぶん練習した

んですが、姉は今が部活などで忙しい。弟の方はゲームに夢中。仕方ないので、けん玉30分やったら、ゲーム1時間は許すようにしています」



真剣な表情と笑顔があふれたみちのくけん玉フェスタ 2019

お父さんの方が熱い感じだった。

その夜、長井市内のホテルのレストランに行くと、梅津さんにまた会った。大会関係者を慰労していて、途中で当方にも差し入れてくれた。長井特産の菊芋の天ぷらである。梅津さんが言う。

「食物繊維が多くて血糖値を抑える健康食品で、近年注目されています。長井で2番目の特産品をぜひお楽しみください」

1番って何でしたっけ？

「けん玉に決まっているじゃないですか」

梅津さんが爽やかに笑った。

「けん玉チャレンジ」商店街で世界と長井を結ぶ「スパイク」

翌日に山形工房を訪ねた。

この人訪ねて

UMETSU YUJI

梅津雄治

さん

● 長井中央ロータリークラブ

konohito・tazunete



もしかめ、とめけん、宇宙一周
競技用けん玉普及で町おこし

今やロータリーは「一業種一人」などという面白い時代だが、今回の主人公、「(有) 山形工房」代表取締役社長、梅津雄治さんと同じ業種の人にはまずお目にかからないだろう。山形工房は競技用けん玉生産量日本一を誇る会社で、国内外にも根強いファンを持つ。山形県の南部、最上川の流れる長井市に本社があり、電話を入れると、

「まず、けん玉の大会に来ませんか」

と、快活な声が返ってきた。

なるほど、まずけん玉を知るべし。去年11月末、山形市の大会をのぞいてみた。東北一を決める「みちのくけん玉フェスタ2019」という大会で、市立みはらしの丘小学校が会場。土曜の朝早く、山形、秋田、福島の強豪たちが続々と集まってくる。少年少女とその両親が多く、だいたい「マイけん玉」を持ち、着くとすぐに真剣な顔でカチカチ、カチカチ。体育館の天井にけん玉音がこだまする。

梅津さんは入り口近くでけん玉を売っていた。人懐っこい笑顔の35歳、若社長である。

「うれしいですね。皆さん、だいたいウチの製

事後対策には 災害のマネジメントが必要

一方、事後対策はいわゆる「地域防災力」で被害を緩和する方法がますます重要になってきました。これを「災害マネジメント」と総称します。

わが国は現在、世界で最も早いペースで高齢化社会を迎えており、今回の犠牲者の70〜80%も高齢者でした。しかし、現実問題として、あまりにも多い高齢者を「共助」「公助」だけで支援することも不可能です。高齢者を災害弱者とみなさない社会づくりが求められています。そのためには、社会サービスの定義に加え、「提供」「享受」の範囲をどのようにするのかを議論した上で、どのような社会づくりを進めていくべきなのか、真剣に考える時期が来ているのです。

最後に、長らく研究者として生きてきた者として、「タイムライン」という言葉を挙げておきたいと思います。例えば「水害タイムライン」。台風などが来る、となった時は事前に関係自治体間で「こういうふうにしておきましょう」ということを話し合っておくわけです。

研究者サイドとしては、「今やこんなに度々、災害が発生しているのに、何で逃げないのか、住民は」と感じるのに対し、住民は、なぜか危ないと思っていない、ということが往々にしてあります。いまだに「そんなのが来ますかね」という感じなのです。

これらは全て、防災に関しての言葉の特徴は全部あいまいだ、ということだからでしょう。このレベルは危険だ、と感じる感覚は一人一人です。

なっています。ロボットなら、「水位が3.5メートルを超えたら避難する」というプログラムを一度入れておけば、そのプログラム通りに動きます。しかし人は、3.5メートルの危険水位を超えたら避難する、とルールが決めてあっても、「まだそんなのは平気」「もう雨も止む」

アメリカで視察し、われわれはこの水害タイムラインという概念を持ち帰りまして、これを一級河川に導入しました。日本で初めて導入されたのは、三重県紀宝町でした。熊野川の一番下流にある町で、三重と和歌山の県境にあります。台風が来ると両県から警報は発令されますが、その発表時間と警報内容が県ごとに異なるので、同時に警戒レベルが異なった警報が発令されるという現象が起きていました。原則、自治体ごとに避難勧告、避難指示はばらばらですから。

水害タイムラインによって、台風が上陸する何時間か前に関係機関が連絡し合って、事前に話し合っておけば、顔の見える関係も作れます。住民組織や消防団なども役割を相互確認しますから、お手玉にならず、するべきことが抜け落ちた、ということがありません。「逃げなければいけない」ということが、住民の頭で理解できているということ。皆、なぜ避難指示が出たか、ということを知っているからです。熊本地震の時も有効に作用しました。もう20を超える自治体で、タイムラインを導入しています。例えば大阪府では今、大阪湾岸高潮、寝屋川流域水害、グリーンベルト土砂災害、地震・津波のアフタータイムラインを作ろうとしています。台風や土砂災害にはリードタイムがあるので、タイムラインが有効だということが知られてきています。

自然災害は繰り返されます。ぜひ、一步を踏み出してください。防災訓練も実行して終わり、ではなく、そこから学習することが大切です。9月1日は防災の日として、ほぼ全国の自治体で防災訓練が行われますが、消防車から放水などとして終わり、では意味がありません。

このようなデモンストラクションは訓練ではありません。消火器で消せる火は、人の背の高さくらいのものである、ということをご存じでしょうか。火災の第一発見者がすぐに火を消さないと、意味がないのです。水がなくても、火に植木鉢でも座布団でも、何か投げつけられれば消すことができます。炎の高さが人の背丈にならないうちに消火することが肝要、ということをおぼろげに、防災訓練の趣旨です。

すなわち、防災訓練とは学習・練習・演習、そしてそれがうまくいったかどうかという検証（振り返り）が大事。「検証」と言うとき誰かに責任が発生するので、私たちは「ふりかえり」という言葉を使っています。とにかく、防災訓練は失敗することが大切。失敗から人は学びます。訓練を繰り返せば繰り返すほど、スキルはアップします。

二度あることが三度ないように。具体的に何をやるのかを市民はよくイメージして、理解してください。もし被災されてしまったら、現状より進歩するチャンスと考えてほしいのです。記憶が薄れないうちに、タイムラインのような新しい防災システムを導入してください。

現実的に被害は減るのだということを主張していただけたら。未来の故郷が守られます。今の不幸な経験が将来の役に立つ、ということで、私の講演を終わります。

（ホスト 甘木RC）

インドネシアでは2005年の災害で15万人が亡くなりました。その後、海外から多額の支援金が集まり、その資金でこの国の海に津波早期検知用のブイを20個浮かべました。しかし、18年10月に再び地震が起きて津波が発生した時、2500人が亡くなったのです。

ブイは、全て故障していたそうです。インドネシア政府は、修理する資金がなかったと。被災した時、何千億円もの海外からの支援金が入ったのに、壊れてしまえば放置するしかなく、何の役にも立たなかったのです。国家的な防災システムを整備するためには、まず国の財政の安定を図ることが先決、ということです。

例のSDGs（持続可能な開発目標）は防災の概念から発生していますから、これが盛んに今、進められているゆえんですね。今や、世界的な災害多発の時代に入っています。わが国のような先進国では、知識・情報・教訓が命を助けてくれます。スマホが普及した結果、自分から知識・情報を取りに行くことが、日本では容易になりました。しかし世界を見渡せば、日本のような国ばかりではありません。自分たちは今、ぜいたくな環境にいるということを忘れてはならないのです。

18年、土砂災害で最大の被害が出たのは広島県呉市でした。しかし、1945年の9月の枕崎台風による土石流では、600人も亡くなっています。土石流は一度起こると流れる土石がなくなるために、少なくとも20年から30年間は同じ場所では起きません。ですから、土石流が発生した地に、早急に砂防ダムをつくる必要は必ずしもないのです。しかし、災害対策基本法は、被害が起き

たら二度とそこで繰り返さないことを目指す法律なので、その時しか、動けない。本当は、その地点ではないところにこそ必要なのですが。

19年1月、私は政府に次のことを指摘しました。災害対策基本法は1961年に定められており、今の日本の現状に即した対策ができなくなっています、と。また、この20年間で、防災担当大臣が26人も変わっているのです、全て、対策が先送りになっている、と。

熊本地震が実例でした。国は法に基づき、支援物資をすぐ送りましたが、現代社会の交通量の中では、渋滞で物資は届かなかったわけです。全体最適を目指すことが大切なのに。

さて、縮災。とにかく、災害が起こってからでは遅い。災害前の減災対策、日常防災によって被害を少なくします。自治体は被害額を少なくすること。そして、その被災にへこたれずに、復興を信じる。東日本大震災からの復興を見ていると、正直、うまくいっているところ、いつていないところがありますね。被災前の姿に戻す、というところに固執せず、進化する姿を志向するところ

は強い。市長などのリーダーと住民が、将来の目標を事前に用意できていたのでしょう。

何度も何度もワークシヨップを重ねて、とことん話し合わないといけないものは生まれません。その際、速やかな回復に当たっては、できるだけ被害内容を単純化することも大切です。企業としては目ごころから、自由な経営姿勢を継続しておくことです。対する国は、被災からの回復時間を早くすることでしょう。

ただ、事前対策として強調しておきたいのは、外から作用する力、すなわち外力を防災施設によって「制御」するのではなく、あくまで「緩和」すること。今回のような大きな被害をもたらす災害を、完全に制御することは不可能だからです。

そういう意味で、地球温暖化の進行に伴って、風水害の外力がますます増大する傾向が続くことを考慮すれば、どのレベルまで防災施設によって守るのか、についての「合意形成」も必要となってきました。その際には、人々の価値観の多様性を反映しなければなりません。



■ 京都大学名誉教授 関西大学社会安全
研究センター長

河田 恵昭

1946年 大阪府生まれ。69年 京都大学工学部土木工学科卒業。74年 同大学院工学研究科土木工学専攻博士課程修了、同大防災研究所助手。93年 同研究所教授。96年 同研究所巨大災害研究センター長。2002年 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長（兼務）。05年 京都大学防災研究所所長。09年 関西大学に移り、12年 同大学社会安全研究センター長。16年 関西大学社会安全学部特別任命教授。07年 国連SASAKAWA防災賞（本邦初）。著書多数。

真備地区市街地では5層を超える浸水で51人が犠牲になり、その約90%が高齢者でした。

ただ、決壊から家々への浸水まで8時間かかりました。避難時は誰しも慌てていますので、隣の寝たきりのおじいちゃんのこととは自分が避難所に着いてから「あつ、しまった」となります。一方、消防署では2500件も電話を受けていましたが、電話が来た時、車はもう走れませんでした。真備から学ぶこととして、住民の避難率を高めるため、三つのことが挙げられます。

①河川堤防の高さまで浸水すると考えた場合、高さが5層では2階でも水没する恐れがあるので、絶対に避難する（堤防が高いほど、一度決壊すると逆に被害は大きくなる）。②特に平屋の住民は早期に絶対に避難する。③自分勝手な理由を見つけないこと。皆さん、思い当たりませんか？「氾濫まではしないだろう」「昔からここは大丈夫」「昔、浸水したけど床下だった」「家財道具をそのままにできない」。信じられないかもしれませんが、2階に避難する時、1階に置いてある大型テレビを運ぼうとして、逃げ遅れた人がどれほどいたことか。モノに執着する人は案外いるものです。加えて「雨はもうやむかも」「もう少し、様子を見よう」。こうした理由付けは、逃げ遅れの最大の原因です。

大雨以外の災害として、今、南海トラフ巨大地震も指摘されています。想定される大きさとしてはマグニチュード9.0です。18年6月に大阪北部でマグニチュード6.1の地震が起きました。阪神・淡路大震災の64分の1のエネルギーです。全壊ではなく、一部損壊の住宅が多かったのですが、損壊していない家でも家具が倒れ、足の踏み

場もなくなりました。

現在、政府が考えている「避難」というのは、玄関を出てから避難所までの時間や、指定避難所までの距離です。しかしこの大阪の地震によって、高齢者や身体的弱者などが散乱した部屋の中、自宅の玄関まででさえたどり着けない、という現実を行政は初めて認識することになりました。10層を超える津波が、5分で来るところがあると予知されているにもかかわらず、です。

私は、被害を想定する政府の調査会の座長も務めました。東日本大震災の時と同様に30%の人が避難しないと、津波では22万人が亡くなると試算。家屋の倒壊などでは、8万人が亡くなると想定しました。しかし、先ほど申し上げたように、わが家の玄関まで逃げられない人たちが存在することを考えると、被災人数はさらに増えます。

とにかく、日ごろから事前に考え、準備していたことしか、役には立ちません。例えば安否確認。地震が起きた時に、スマホやパソコンで、伝言ダイヤルで確認できなかったら困る、と思いがちです。でも、きちんとした安全なところにいると事前に分かっていたら、安否確認はしなくてもいいのです。一番困るのは、家族がどこにいるのか分からない、ということ。安否確認は事前に準備できます。

水の確保。これも事前にできます。比喻になりますが今、日本全国で地震が起きたら、ペットボトルでいうと国民の11日分しかまかなえません。つまり、家で備蓄しておくことが必要です。

食料。今の日本で家庭の冷蔵庫に備蓄されているのはどれくらいだと思いますか？ 1・1日分です。南海トラフ規模の地震が起きれば、20日

分は必要といわれているにもかかわらずです。災害発生時は流通が全て止まり、避難所に行っても食料は十分にはないのです。

過去、何度も起きた大雨や地震などの大きな災害を、確かに日本はくぐり抜けてきました。でも、われわれは信じられないような自然災害を近年、体験しています。

災害を制御するのではなく 緩和する

大雨も地震も、自然災害には簡単な解決策はありません。自然災害は予知できませんし、完全に防ぐ手立てもありません。専門家としては、災害が起きることを前提とし、「縮災（Disaster Resilience）対策」を早急に実施することを政府に提言、受け入れてもらいました。政府は国土強靱化（National Resilience）と訳していますが、元の名は「縮災」です。

「縮災」の基本概念は、「災害が起きる前に対策を実施し被害を少なくする一方、災害が発生してからは早く復旧・復興することを目標とする」というものです。

レジリエンスという言葉には、①柔軟性、②適応性、③革新性、④強靱性、⑤迅速性、⑥ゆとり、⑦対応性、⑧人材など資源の豊かさ、という意味が含まれています。この言葉はもともと心理学用語として「精神的回復力」「抵抗力」「復元力」「耐久力」などと訳されてきましたが、一語で表しにくい言葉です。減災というレジリエンスの具体例を挙げると、まず国が豊かでないと、災害対策にまでお金が回らないということです。



© iStock.com Mono

防ダムの決壊、③ため池の決壊、④土砂や流木の橋梁での堆積による氾濫、⑤異常洪水時防災操作によるダム放流、⑥下流の水が上流に影響するバックウォーター（背水）現象、⑦施設の排水能力を上回る異常な水量増、があります。

18年7月は梅雨前線性豪雨でしたので、降水域の南北方向の幅が狭かったのですが、台風を伴うとそうはいきません。特に、秋雨前線が本州に停滞している時に台風が近づきますと、降雨域の南北幅が広がり、大河川が氾濫してしまいます。つまり、連滝災害が大河川の上流域から下流域まで発生する危険があるのです。

以前は、大雨が降ると川が増水し、堤防が決壊して氾濫するという単純なパターンの被害でした。しかし、現在は複雑な形で連滝災害が現れるようになりました。

具体的にいいますと、四国の野村ダムの放流操作では、死者が9人出ました。⑤のダム放流に当たります。ダムというものは、下流の住民の命や財産を守るために造ったものです。ところが、国土交通省としては満水になると、ダムを守るために放流をしなければならぬ。しかし、通常時の6倍の水量を放流し、結果として、放流を知らなかった下流の大洲市と西予市で、犠牲者を出してしまいました。市は事前に警告は出したと言いますが、私は、ダムの放流は避けるべきと考えています。放流する場合は、下流の全域が危険というのではなく、もっと地域を絞り込むことが可能なはずで、そのような努力を国土交通省はするべきでしょう。

倉敷市の真備町では⑥のバックウォーター現象が起きました。川の合流地点で堤防の決壊が発生、

変貌する自然災害と 縮災対策

あまりいい例えではないかもしれませんが、二度あることは三度ある。梅雨を迎え台風シーズンに入ると再び、大雨になってもおかしくはない時代に私たちは生きている、ということです。

京都大学名誉教授・関西大学社会安全研究センター長 河田恵昭

Yoshiaki Kawata

増加する災害 広がる災害

ご当地、福岡県甘木・朝倉地方は、昨年、一年と「平成30年7月豪雨」「平成29年7月九州北部豪雨」により大きく被災しましたが、この地域に限らず、これから洪水氾濫・土砂災害・地震などの自然災害は、さらに増えます。

特に、雨の降り方が異常です。1976（2015年）までのほぼ40年間の気象庁アメダスの記録を調べると、1時間に降った雨量の地点数は、50ミリ以上が1・35倍、80ミリ以上が1・66倍、100ミリ以上が1・95倍になっています。

1時間に50ミリ以上の雨とはどのようなものか。一般的な町の下水がパンクします。マンホールから雨水が路上にあふれて出てくるということです。同時に、1時間に50ミリ以上の雨ともなると、福岡管区気象台は大雨警報を出します。その時、ガード下やアンダーパスはもう、車は通行できないと考えなければいけません。

80ミリ、100ミリの大雨ですが、やはり前半

の20年、後半の20年の回数を調べてみると、後半は前半のほぼ2倍に増えていきます。ということは、地球の温暖化が進めば進むほど、激しい雨が降りやすくなるということです。

1982年から2018年の土砂災害発生件数の変化を調べてみました。1年当たり平均1015件、土砂災害は起きています。ところが16年から毎年平均を超え、18年には1年間に3451件も発生しています。これは例年の3・4倍ということで、「とにかく近年、自然災害が多い」という私たちの感覚は正しいわけです。

1978年から2019年のスパンで集中豪雨と土砂災害の発生件数を比べてみると、どちらもここ10年間で発生件数が増加してきています。気候変動の激化に伴い、土砂災害も増加・激甚化するという比例関係にあります。

また、広域災害という特徴も挙げられます。18年7月は梅雨前線が北海道から沖縄まで停滞し、広い範囲で、過去の記録を塗り替える長時間の大雨となり、犠牲者は14県で2000人を超え、大雨の特別警報は1府10県に発令されました。

これらの災害により、各地で断水や電話の不通といったライフラインに被害が発生、鉄道や道路が寸断されるなどの交通障害も起きました。

では、どのような洪水氾濫災害が起きたのか。福岡では17年、筑後川の支流から下流にかけて、いろいろなタイプの水害が発生しました。このような災害を「連続氾濫災害（Cascading Disaster）」カスケーディング・ディザスターといいます。15年ごろから研究論文に引用されるようになった、比較的新しい用語です。私は「連瀆災害」と略しています。

連瀆災害のタイプには、①土石流の発生、②砂

3 月は水と衛生月間です
3 月 9 ～ 15 日は世界ローターアクト週間です

Rotary Global Media Network

変貌する自然災害と縮災対策 4 77

◆ 京都大学名誉教授・関西大学社会安全研究センター長 河田恵昭

シリーズ この人訪ねて 9 72

梅津雄治さん 長井中央 RC (第 2800 地区)

記事・村井重俊 撮影・佐藤 敬

友愛の広場 13 68

南三陸町復興支援のマイクロボス 倉敷東 遠藤堯之

日中文化の懸け橋に 漢服・きものショー

東京米山友愛 田中貴恵 (林芳)

ロータリアン歴 60 年、濱田勝彌の言葉 伊勢原 貝原剛規

私が奉仕で学んだこと 高松東 坂井幸博

「組織論」よりもっと「運動論」を 吳 大之木精二

『米山梅吉ものがたり』著者を迎えて 横浜あざみ 小野邊薫

カンボジアで頑張る青年に出会って 草津 伊藤勝昭

◆ 私の宝物

卓話の泉 18 63

セラピードッグ 大木トオル

栄養のお話 赤石定典

私の一冊 18 63

久留米中央 古賀正高 / 和歌山北 森本芳宣

ロータリー 俳壇 ◆ 長谷川 權 選 20 61

ロータリー 歌壇 ◆ 馬場あき子 選 20 61

ロータリー 柳壇 ◆ てじま晩秋 選 20 61

ロータリー・アット・ワーク 22 59

中学生が最新 IT に触れて
地域の未来を考えた

福井北 RC

〈写真〉 横浜港南・横浜港南台 / 成田 / 大和

熊谷東 / 寄居 / 富士

福岡東南・福岡東南 RAC / 河内長野東

小矢部中 / 木更津東・木更津総合高校 IAC /

京都西北 / 牛久

未来への懸け橋 カラムでつなぐ日越交流 彦根

フィリピンの小学校に清潔な水環境を 大東

ベンチ塗装はお手のもの 急きょ変更した奉仕活動 むつ中央

芋掘りを終えて 大分 1985

第 1 回飯能 RC U-10 サッカー大会 飯能

こどもたちの夢を未来につなぐ 瀬戸

地元の特別支援学級児に紙すき体験を

葛生・佐野・佐野東・田沼

坂本龍馬生誕記念碑の清掃活動 高知中央

地元の駅に文化財の案内板を設置 和歌山東南

声 12 月号の感想 30 51

表紙 横組み 「水音」

縦組み 「東ヶ崎潔」

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆ 本誌中の RC はロータリークラブ、R は国際ロータリーの略です。

◆ 横組みの目次は、反対側の表紙を開いた 4 ～ 5 ページにあります。

◆ 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)

管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



“オハナ” (家族) と
アロハ
を見つけよう

米国ハワイ州ホノルル | 2020年6月6～10日開催
今すぐRICONVENTION.ORG/JAでご登録を

Rotary 



HONOLULU
HAWAII 2020

ロータリーの友

3

2020
MARCH

VOL.68 NO.3



東ヶ崎 潔 (1895～1992)

SPEECH

変貌する自然災害と縮災対策

河田 恵昭

この人 訪ねて
梅津 雄治さん